



Informatica® Intelligent Cloud Services  
October 2022

**監視**

本ソフトウェアおよびマニュアルは、使用および開示の制限を定めた個別の使用許諾契約のもとでのみ提供されています。本マニュアルのいかなる部分も、いかなる手段（電子的複製、写真複製、録音など）によっても、Informatica LLC の事前の承諾なしに複製または転載することは禁じられています。

米政府の権利プログラム、ソフトウェア、データベース、および関連文書や技術データは、米国政府の顧客に配信され、「商用コンピュータソフトウェア」または「商業技術データ」は、該当する連邦政府の取得規制と代理店固有の補足規定に基づきます。このように、使用、複製、開示、変更、および適応は、適用される政府の契約に規定されている制限およびライセンス条項に従うものとし、政府契約の条項によって適当な範囲において、FAR 52.227-19、商用コンピュータソフトウェアライセンスの追加権利を規定します。

Informatica、Informatica Cloud、Informatica Intelligent Cloud Services、PowerCenter、PowerExchange、および Informatica ロゴは、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。Informatica の商標の最新リストは、Web (<https://www.informatica.com/trademarks.html>) にあります。その他の企業名および製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。

本ソフトウェアまたはドキュメンテーション（あるいはその両方）の一部は、第三者が保有する著作権の対象となります。必要な第三者の通知は、製品に含まれています。

本マニュアルの情報は、予告なしに変更されることがあります。このドキュメントで問題が見つかった場合は、[infa\\_documentation@informatica.com](mailto:infa_documentation@informatica.com) までご報告ください。

Informatica 製品は、それらが提供される契約の条件に従って保証されます。Informatica は、商品性、特定目的への適合性、非侵害性の保証等を含めて、明示的または黙示的ないかなる種類の保証をせず、本マニュアルの情報を「現状のまま」提供するものとします。

# 目次

<b>序文</b>	<b>7</b>
Informatica のリソース	7
Informatica マニュアル	7
Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト	7
Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティ	7
Informatica Intelligent Cloud Services マーケットプレイス	8
データ統合コネクタのドキュメント	8
Informatica ナレッジベース	8
Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center	8
Informatica グローバルカスタマサポート	8
<b>第 1 章 : 監視ジョブ</b>	<b>9</b>
すべてのジョブの監視	9
実行中のジョブの監視	10
マイジョブの監視	11
監視サブタスク	12
ジョブのプロパティ	14
ジョブページのカスタマイズ	16
特定のジョブの詳細の表示	17
<b>第 2 章 : データ統合ジョブの監視</b>	<b>19</b>
マッピングとマッピングタスクの監視	20
ジョブのプロパティ	20
ジョブの結果	21
個々のソースおよびターゲットの結果	22
詳細モードでのマッピングとタスクの監視	23
ジョブのプロパティ	23
ジョブの結果	24
個々のジョブの結果	24
再処理ジョブの詳細	25
増分ファイルロードの詳細	25
詳細クラスタのサブタスクの監視	26
ジョブのプロパティ	26
ジョブの結果	27
ジョブの結果 (チューニング用)	27
Spark タスクの詳細	28
コードタスクの監視	30
ジョブのプロパティ	30
ジョブの結果	31
コードタスク API 実行パラメータ	31

Spark アプリケーションタスクの詳細. . . . .	32
動的マッピングタスクの監視. . . . .	33
ジョブのプロパティ. . . . .	34
ジョブの結果. . . . .	34
個々のジョブの結果. . . . .	35
同期タスクの監視. . . . .	35
ジョブのプロパティ. . . . .	35
ジョブの結果. . . . .	36
データ転送タスクの監視. . . . .	37
ジョブのプロパティ. . . . .	37
ジョブの結果. . . . .	38
個々のソースおよびターゲットの結果. . . . .	38
マスキングタスクの監視. . . . .	39
ジョブのプロパティ. . . . .	39
ジョブの結果. . . . .	39
アクティビティログの詳細. . . . .	40
レプリケーションタスクの監視. . . . .	41
ジョブのプロパティ. . . . .	41
ジョブの結果. . . . .	41
個々のオブジェクトの結果. . . . .	42
PowerCenter タスクの監視. . . . .	42
ジョブのプロパティ. . . . .	43
ジョブの結果. . . . .	43
タスクフローの監視. . . . .	45
開始ステップのプロパティ. . . . .	45
データタスクのプロパティ. . . . .	46
通知タスクのプロパティ. . . . .	47
コマンドタスクステップのプロパティ. . . . .	47
File Watch タスクステッププロパティ. . . . .	48
取り込みタスクステップのプロパティ. . . . .	50
サブタスクフローステップのプロパティ. . . . .	51
スローステップのプロパティ. . . . .	52
終了ステッププロパティ. . . . .	52
リニアタスクフローの監視. . . . .	53
ジョブのプロパティ. . . . .	53
ジョブの結果. . . . .	54
個々のタスクの結果. . . . .	54
マッピングとタスクインスタンスの停止と再起動. . . . .	55
タスクフローインスタンスの停止、一時停止、再開、再起動. . . . .	55
タスクフローの実行ステップからのインスタンス. . . . .	56
ステップからタスクフローインスタンスを実行するための変数の更新. . . . .	58

<b>第 3 章 : データ統合ジョブログファイル</b>	<b>60</b>
エラー行ファイルの表示	61
セッションログファイルのダウンロード	62
詳細クラスタサブタスクのログファイルの表示	62
<b>第 4 章 : Azure のデータアクセラレータジョブの監視</b>	<b>64</b>
ジョブのプロパティ	65
Azure のデータ同期ジョブの詳細の表示	66
Azure のデータ同期ジョブの停止と再起動	67
ログファイルのダウンロード	68
<b>第 5 章 : データプロファイリングジョブの監視</b>	<b>69</b>
ジョブのプロパティ	70
サブタスクタイプ	71
データプロファイリングジョブの停止と再起動	72
ログファイルのダウンロード	72
<b>第 6 章 : インポートとエクスポートの監視</b>	<b>74</b>
ログプロパティのインポートとエクスポート	74
インポートおよびエクスポートログのカスタマイズ	75
インポートまたはエクスポートの詳細の表示	77
エクスポートファイルのダウンロード	78
インポート/エクスポートログのダウンロード	78
<b>第 7 章 : ファイル転送ジョブの監視</b>	<b>79</b>
AS2 ファイル転送の監視	79
AS2 ファイル転送ログの表示	79
AS2 ファイル転送の詳細表示	80
SFTP ファイル転送の監視	83
SFTP ファイル転送ログの表示	84
SFTP ファイル転送ログの詳細の表示	85
HTTPS ファイル転送の監視	86
HTTPS ファイル転送ログの表示	86
HTTPS ファイル転送ログの詳細の表示	87
ファイルリスナの監視	87
ファイルリスナジョブの詳細	88
統合 API の監視	90
統合ログの表示	90
統合ログの詳細の表示	91
<b>第 8 章 : 詳細クラスタの監視</b>	<b>94</b>
すべてのクラスタの監視	94

クラスタのステータス.....	95
アクティビティログの監視.....	96
クラスタイイベント.....	97
ライフサイクルグラフの表示.....	98
設定の表示.....	99
クラスタ上のジョブの監視.....	99
<b>第 9 章 : ソース管理ログの監視.....</b>	<b>101</b>
アクションプロパティ.....	102
ソース管理アクションの詳細の表示.....	103
アクションのサマリ.....	103
アセットのサマリ.....	104
<b>索引.....</b>	<b>105</b>

# 序文

*Monitor*を使用して、Informatica Intelligent Cloud Services<sup>SM</sup>組織で実行中または実行済みのジョブ、インポート、およびエクスポートを表示および監視する方法を学習します。*Monitor*には、スケールクラスタおよびソース管理アクションの監視、およびエラーをトラブルシューティングするためのログファイルのダウンロードに関する情報も含まれています。

## Informatica のリソース

Informatica は、Informatica Network やその他のオンラインポータルを通じてさまざまな製品リソースを提供しています。リソースを使用して Informatica 製品とソリューションを最大限に活用し、その他の Informatica ユーザーや各分野の専門家から知見を得ることができます。

### Informatica マニュアル

Informatica マニュアルポータルでは、最新および最近の製品リリースに関するドキュメントの膨大なライブラリを参照できます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

製品マニュアルに関する質問、コメント、ご意見については、Informatica マニュアルチーム ([infa\\_documentation@informatica.com](mailto:infa_documentation@informatica.com)) までご連絡ください。

### Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト

Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト (<http://www.informatica.com/cloud>) にアクセスできます。このサイトには、Informatica Cloud 統合サービスに関する情報が含まれます。

### Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティ

Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティを使用して、技術的な問題について議論し、解決します。また、技術的なヒント、マニュアルの更新情報、FAQ（よくある質問）への答えを得ることもできます。

次の Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティにアクセスします。

<https://network.informatica.com/community/informatica-network/products/cloud-integration>

開発者は、次の Cloud 開発者コミュニティで詳細情報を確認したり、ヒントを共有したりできます。

<https://network.informatica.com/community/informatica-network/products/cloud-integration/cloud-developers>

## Informatica Intelligent Cloud Services マーケットプレイス

Informatica マーケットプレイスにアクセスすると、データ統合コネクタ、テンプレート、およびマップレットを試用したり購入したりできます。

<https://marketplace.informatica.com/>

## データ統合コネクタのドキュメント

データ統合コネクタのドキュメントには、マニュアルポータルからアクセスできます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

## Informatica ナレッジベース

Informatica ナレッジベースを使用して、ハウツー記事、ベストプラクティス、よくある質問に対する回答など、製品リソースを見つけることができます。

ナレッジベースを検索するには、<https://search.informatica.com> にアクセスしてください。ナレッジベースに関する質問、コメント、ご意見の連絡先は、Informatica ナレッジベースチーム ([KB\\_Feedback@informatica.com](mailto:KB_Feedback@informatica.com)) です。

## Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center

Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center は、Informatica のセキュリティポリシーおよびリアルタイムでのシステムの可用性について情報を提供します。

Trust Center (<https://www.informatica.com/trust-center.html>) にアクセスします。

Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center にサブスクライブして、アップグレード、メンテナンス、およびインシデントの通知を受信します。[Informatica Intelligent Cloud Services Status](#) ページには、すべての Informatica Cloud 製品の実稼働ステータスが表示されます。メンテナンスの更新はすべてこのページに送信され、停止中は最新の情報が表示されます。更新と停止の通知がされるようにするには、Informatica Intelligent Cloud Services の 1 つのコンポーネントまたはすべてのコンポーネントについて更新の受信をサブスクライブします。すべてのコンポーネントにサブスクライブするのが、更新を逃さないようにするための最良の方法です。

登録するには、<https://status.informatica.com/> に移動し、**[更新を購読登録]** をクリックします。その後、電子メール、SMS テキストメッセージ、Webhook、RSS フィードとして、またはこの 4 つを任意に組み合わせて送信された通知を受信することを選択ができます。

## Informatica グローバルカスタマサポート

電話またはオンラインでカスタマサポートセンターに連絡できます。

オンラインサポートについては、Informatica Intelligent Cloud Services の **[サポート要求の送信]** をクリックしてください。またオンラインサポートを使用して問題を記録することもできます。オンラインサポートを利用するには、ログインが必要です。<https://network.informatica.com/welcome> でログイン要求できます。

Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号は、Informatica の Web サイト <https://www.informatica.com/services-and-training/support-services/contact-us.html> に掲載されています。



# 第 1 章

## 監視ジョブ

実行中または組織内で実行されているジョブを監視できます。ジョブは、データ統合マッピング、タスクまたはタスクフローなどのアセットのインスタンスです。マッピング、タスク、またはタスクフローを開始するたびに、Informatica Intelligent Cloud Services は実行するためのジョブを作成します。

次のページでジョブを監視できます。

### 【すべてのジョブ】 ページ

実行中または組織内で実行されているすべてのジョブを一覧表示します。ほとんどのジョブタイプについては、このページでジョブを停止および再起動できます。一部のジョブタイプについてはログファイルをダウンロードすることもできます。

【すべてのジョブ】 ページを開くには、モニタで **【すべてのジョブ】** を選択します。

### 【実行中のジョブ】 ページ

実行中または過去 5 分間に完了したすべてのジョブが一覧表示されます。ほとんどのジョブタイプについては、このページでジョブを停止および再起動できます。一部のジョブタイプについてはログファイルをダウンロードすることもできます。

【実行中のジョブ】 ページを開くには、モニタで **【実行中のジョブ】** を選択します。

### 【マイジョブ】 ページ

現在ログインしているユーザーによって開始されたすべてのジョブを一覧表示します。ほとんどのジョブタイプについては、このページでジョブを停止および再起動できます。一部のジョブタイプについてはログファイルをダウンロードすることもできます。

【マイジョブ】 ページを開くには、ジョブを開始したサービスで **【マイジョブ】** を選択します。

### ジョブの詳細ページ

特定のジョブに関する詳細情報を表示します。完了または失敗したジョブの詳細を表示できます。ほとんどのジョブタイプについては、このページからジョブを再起動できます。一部のジョブタイプについてはログファイルをダウンロードすることもできます。

ジョブの詳細を表示するには、**【すべてのジョブ】**、**【実行中のジョブ】**、または **【マイジョブ】** ページでジョブ名をクリックします。

## すべてのジョブの監視

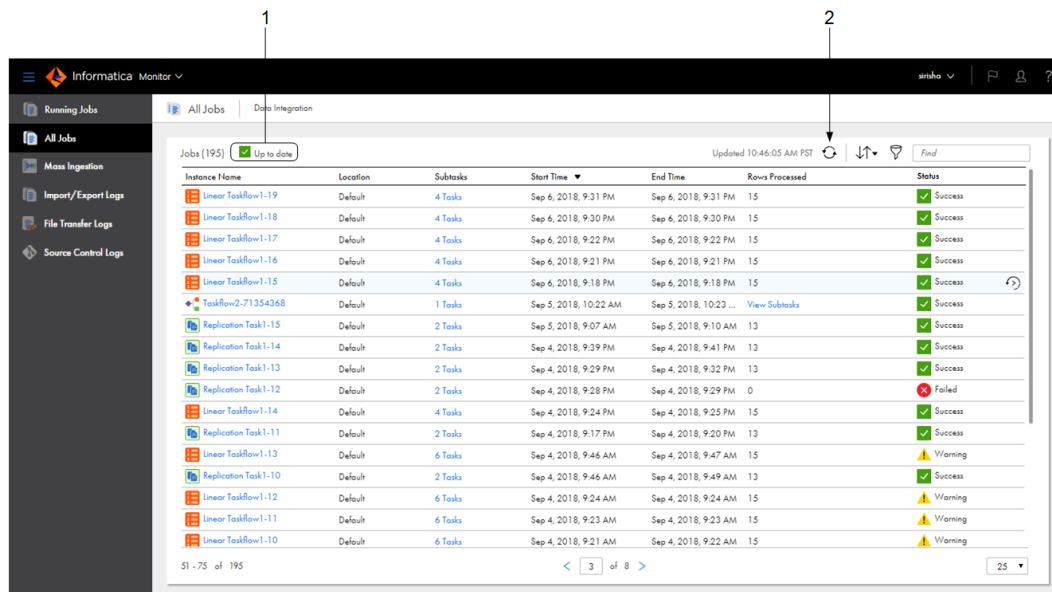
モニタの**【すべてのジョブ】**ページで組織内のすべてのジョブを監視できます。**【すべてのジョブ】**ページには現在実行中のジョブと完了したジョブが一覧表示されます。

**【すべてのジョブ】**ページを使用して失敗を分析し組織内のジョブのデバッグを行います。

[すべてのジョブ] ページでジョブを監視するには、次のいずれかのロールが必要です:

- Administrator
- デザイナ
- モニタ(M)

次の図は、[すべてのジョブ] ページを示しています。



1. このページの情報が最新であるか、更新が必要であることを示すステータスメッセージ
2. [更新] アイコン

[すべてのマイジョブ] ページには過去 3 日間に実行したジョブと 3 日以上前に実行された最近 1000 個のジョブが一覧表示されます。

このページの情報を最新の状態に保つため、モニタは Informatica Intelligent Cloud Services リポトリを 5 秒ごとにポーリングします。情報はジョブのステータスが変わったり、ユーザーがジョブを開始したりした際に最新ではなくなります。

ページの上部にあるステータスメッセージはこのページの情報が最新であることを示しています。情報が古くなると、「使用可能な更新」というステータスメッセージが表示されます。ページを更新するには、[使用可能な更新] メッセージまたは[更新]アイコンをクリックします。

ジョブが完了したら、ジョブをドリルダウンしてジョブの詳細を表示することができます。ジョブをドリルダウンするには、インスタンス名をクリックします。

## 実行中のジョブの監視

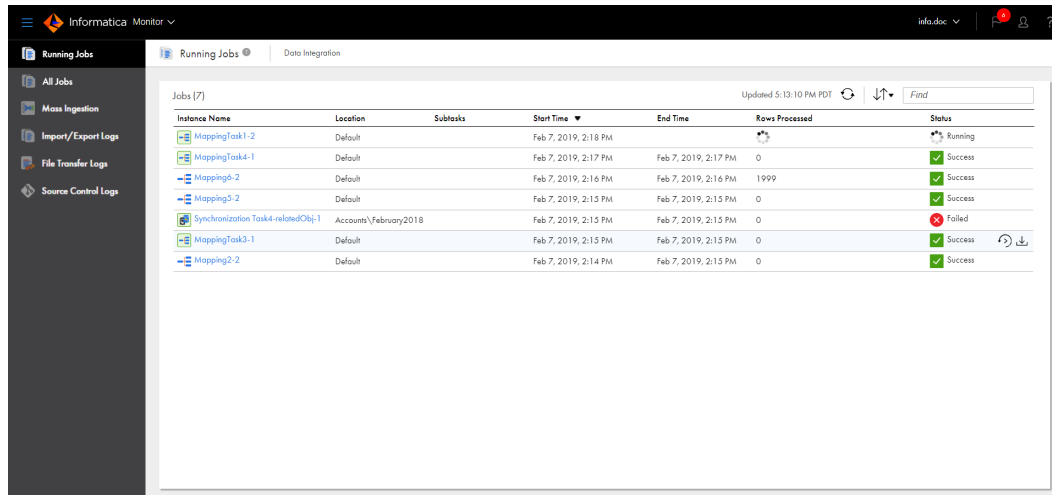
**Monitor** のモニタページですべての実行中のジョブを監視できます。[実行中のジョブ] ページには、開始中、キューに格納、実行中、および一時停止中のジョブが一覧表示されます。ページには、過去 5 分間に完了したジョブも一覧表示されます。

[実行中のジョブ] ページを使用して組織内で実行されているジョブを監視できます。実行中のジョブを表示した場合、終了時刻、処理済み行、ステータスなどのジョブプロパティが継続的に更新されます。

[実行中のジョブ] ページでジョブを監視するには、次のいずれかのロールが必要です:

- Administrator
- Designer
- モニタ(M)

次の図は、[実行中のジョブ] ページを示しています。



Instance Name	Location	Subtasks	Start Time	End Time	Rows Processed	Status
MappingTask1-2	Default		Feb 7, 2019, 2:18 PM		0	Running
MappingTask4-1	Default		Feb 7, 2019, 2:17 PM	Feb 7, 2019, 2:17 PM	0	Success
Mapping6-2	Default		Feb 7, 2019, 2:16 PM	Feb 7, 2019, 2:16 PM	1999	Success
Mapping5-2	Default		Feb 7, 2019, 2:15 PM	Feb 7, 2019, 2:15 PM	0	Success
Synchronization Task4-relatedObj-1	Accounts\Febuary2018		Feb 7, 2019, 2:15 PM	Feb 7, 2019, 2:15 PM	0	Failed
MappingTask3-1	Default		Feb 7, 2019, 2:15 PM	Feb 7, 2019, 2:15 PM	0	Success
Mapping2-2	Default		Feb 7, 2019, 2:14 PM	Feb 7, 2019, 2:15 PM	0	Success

組織で 200 以上のジョブが実行されている場合、ジョブは複数のページにわたって表示されます。

ジョブが完了したら、ジョブをドリルダウンしてジョブの詳細を表示することができます。ジョブをドリルダウンするには、インスタンス名をクリックします。

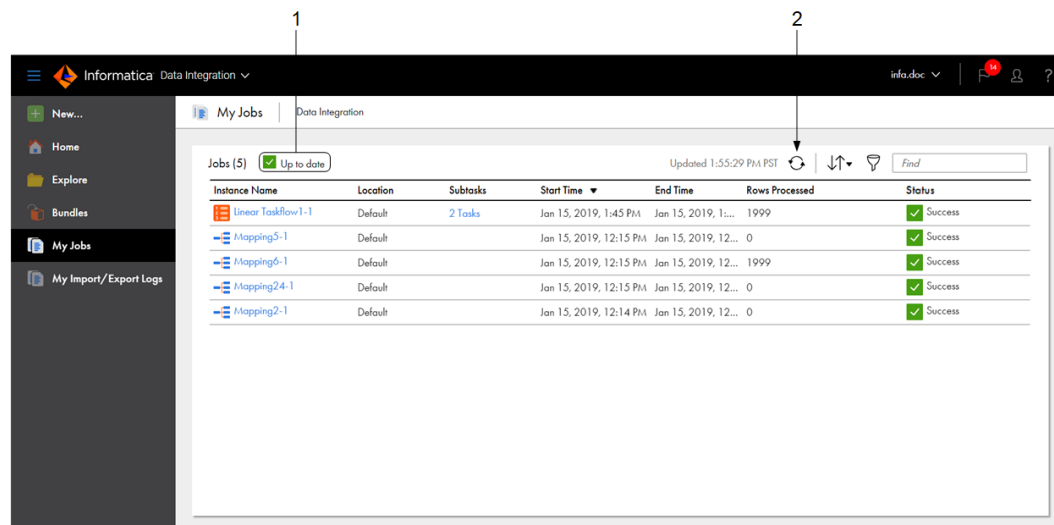
## マイジョブの監視

ジョブを開始したサービス内で、[マイジョブ] ページで開始したジョブを監視できます。[マイジョブ] ページには現在実行中のジョブと完了したジョブが一覧表示されます。

[マイジョブ] ページは、次のサービスで表示できます。

- データ統合
- データプロファイリング
- 一括取り込み

次の図に、データ統合の【マイジョブ】ページを示します。



1. このページの情報が最新であるか、更新が必要であることを示すステータスメッセージ。
2. [更新] アイコン

【マイジョブ】ページには過去 3 日間に実行したジョブと 3 日以上前に実行された最近 1000 個のジョブが一覧表示されます。

このページの情報を最新の状態に保つため、モニタは Informatica Intelligent Cloud Services リポジトリを 5 秒ごとにポーリングします。情報はジョブのステータスが変わったり、ユーザーがジョブを開始したりした際に最新ではなくなります。

ページの上部にあるステータスメッセージはこのページの情報が最新であるかどうかを示しています。情報が古くなると、「使用可能な更新」というステータスメッセージが表示されます。ページを更新するには、[使用可能な更新]メッセージまたは[更新]アイコンをクリックします。

ジョブが完了したら、ジョブをドリルダウンしてジョブの詳細を表示することができます。ジョブをドリルダウンするには、インスタンス名をクリックします。

## 監視サブタスク

サブタスクを含むタスクインスタンスを監視する場合は、サブタスクを監視することもできます。サブタスクまたはサブタスクフローを含むタスクフローインスタンスを監視する場合、サブタスクとサブタスクフローを監視することもできます。モニタの【すべてのジョブ】もしくは【実行中のジョブ】ページから、またはジョブを開始したサービスの【マイジョブ】ページからサブタスクとサブタスクフローを監視できます。

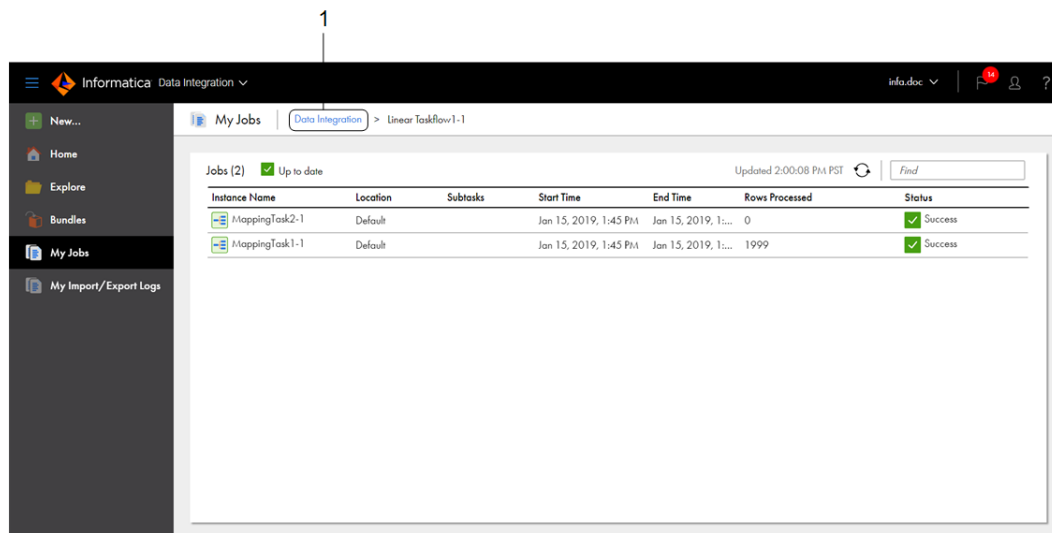
サブタスクまたはサブタスクフローを監視するには、【すべてのジョブ】、【実行中のジョブ】、または【マイジョブ】ページを開き、[サブタスク] 列でサブタスクの数をクリックします。非リニアタスクフローについては、[処理済み行]列の[サブタスクの表示]をクリックすることもできます。

次のタイプのアセットにはサブタスクがあります。

- 詳細モードのマッピング
- レプリケーションタスク
- 詳細タスクフロー

- リニアタスクフロー
- Azure のデータ同期タスク
- データプロファイリングタスク
- 動的マッピングタスク
- ファイルリスナ
- ファイル取り込みタスク

次の図は、リニアタスクフローのサブタスクを表示するときの、データ統合の【マイジョブ】ページを示しています。



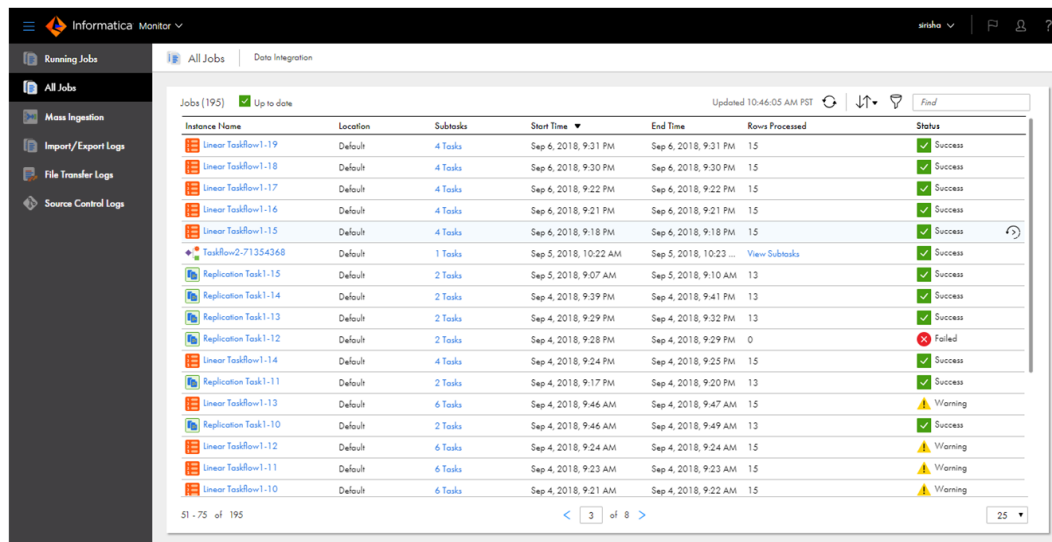
1. サブタスクビューを閉じるにはサービス名をクリックします。

サブタスクビューを閉じて【マイジョブ】ページに戻るには、ページの上部にあるメニューのサービス名をクリックします。例えば、リニアタスクフローのサブタスクビューを閉じるには、ページの上部の親タスクまたはタスクフローインスタンス名の左側にあるメニューの【データ統合】をクリックします。

# ジョブのプロパティ

【すべてのジョブ】、【実行中のジョブ】、【マイジョブ】 ページは名前、開始時刻、ステータスなどのジョブのプロパティを表示します。カラムの見出し領域を右クリックすると、特定のプロパティの表示と非表示を切り替えることができます。

次の図は、データ統合の【すべてのジョブ】 ページでマッピング、タスク、およびタスクフローインスタンスに対して表示されるデフォルトプロパティを示しています。



Instance Name	Location	Subtasks	Start Time	End Time	Rows Processed	Status
Linear Taskflow-1-19	Default	4 Tasks	Sep 6, 2018, 9:31 PM	Sep 6, 2018, 9:31 PM	15	Success
Linear Taskflow-1-18	Default	4 Tasks	Sep 6, 2018, 9:30 PM	Sep 6, 2018, 9:30 PM	15	Success
Linear Taskflow-1-17	Default	4 Tasks	Sep 6, 2018, 9:22 PM	Sep 6, 2018, 9:22 PM	15	Success
Linear Taskflow-1-16	Default	4 Tasks	Sep 6, 2018, 9:21 PM	Sep 6, 2018, 9:21 PM	15	Success
Linear Taskflow-1-15	Default	4 Tasks	Sep 6, 2018, 9:18 PM	Sep 6, 2018, 9:18 PM	15	Success
Taskflow2-71354368	Default	1 Task	Sep 5, 2018, 10:22 AM	Sep 5, 2018, 10:23 ...		Success
Replication Task-1-15	Default	2 Tasks	Sep 5, 2018, 9:07 AM	Sep 5, 2018, 9:10 AM	13	Success
Replication Task-1-14	Default	2 Tasks	Sep 4, 2018, 9:39 PM	Sep 4, 2018, 9:41 PM	13	Success
Replication Task-1-13	Default	2 Tasks	Sep 4, 2018, 9:29 PM	Sep 4, 2018, 9:32 PM	13	Success
Replication Task-1-12	Default	2 Tasks	Sep 4, 2018, 9:28 PM	Sep 4, 2018, 9:29 PM	0	Failed
Linear Taskflow-1-14	Default	4 Tasks	Sep 4, 2018, 9:24 PM	Sep 4, 2018, 9:25 PM	15	Success
Replication Task-1-11	Default	2 Tasks	Sep 4, 2018, 9:17 PM	Sep 4, 2018, 9:20 PM	13	Success
Linear Taskflow-1-13	Default	6 Tasks	Sep 4, 2018, 9:46 AM	Sep 4, 2018, 9:47 AM	15	Warning
Linear Taskflow-1-10	Default	2 Tasks	Sep 4, 2018, 9:46 AM	Sep 4, 2018, 9:49 AM	13	Success
Linear Taskflow-1-12	Default	6 Tasks	Sep 4, 2018, 9:24 AM	Sep 4, 2018, 9:24 AM	15	Warning
Linear Taskflow-1-11	Default	6 Tasks	Sep 4, 2018, 9:23 AM	Sep 4, 2018, 9:23 AM	15	Warning
Linear Taskflow-1-10	Default	6 Tasks	Sep 4, 2018, 9:21 AM	Sep 4, 2018, 9:22 AM	15	Warning

各 Informatica Intelligent Cloud Services ジョブには、<asset name>-<instance number>という名前が付けられます。例えば、最初にマッピング m\_LoadCustOrders を実行すると、ジョブは m\_LoadCustOrders-1 という名前になります。2 回目のマッピングを実行すると、ジョブは m\_LoadCustOrders-2 という名前になります。

デフォルトでは、各ジョブに対して次のプロパティが表示されます。

プロパティ	説明
インスタンス名	ジョブの名前を次の形式で指定します。 <asset name>-<instance number> 完了したジョブと失敗したジョブについては、インスタンス名をクリックすることでジョブに関する詳細情報を表示できます。
場所	アセットが存在するプロジェクトおよびフォルダパス。
サブタスク	サブタスクの数が表示されます（該当する場合）。サブタスクのジョブプロパティを表示するには、この列のエントリをクリックします。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。実行中のジョブには適用されません。

プロパティ	説明
処理済みの行数	<p>ジョブがこれまでに処理した行の合計数。この値には、ターゲットに正常に書き込まれた行の数、ならびにタスクのソース、ターゲット、トランスフォーメーションごとのエラー行の数が含まれます。</p> <p>表示しているジョブが非線形タスクフローインスタンスである場合、このフィールドに【サブタスクの表示】が表示されます。【サブタスクの表示】をクリックして、タスクフローのサブタスクとサブタスクフローを監視します。タスクフローにネストされたサブタスクとサブタスクフローが含まれている場合、このフィールドには【サブタスクの表示】が表示され、ネストされたサブタスクとサブタスクフローが表示されます。</p> <p>詳細クラスタサブタスクには適用されません。</p>
ステータス	<p>ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- キューに格納。ジョブは Secure Agent でキューに追加されますが、開始されることはありません。レプリケーションタスクおよびタスクフローインスタンスのサブタスクに適用されます。</li> <li>- 起動。ジョブが開始されました。</li> <li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li> <li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li> <li>- 停止。親ジョブは実行を停止しているため、サブタスクを開始できません。レプリケーションタスクインスタンスのサブタスクに適用されます。</li> <li>- 停止中。ジョブは停止です。クリーンに停止されたタスクに適用されます。</li> <li>- 一時停止中。ジョブは一時停止されています。タスクフローインスタンスに適用されます。</li> <li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。マッピングおよびタスクインスタンスに適用されます。</li> <li>- 強制終了。ジョブは強制終了されました。ファイル取り込みタスクインスタンスに適用されます。</li> <li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li> </ul> <p><b>ヒント:</b> ジョブのステータスが失敗の場合、ジョブのステータスの上にカーソルを置くと、エラーメッセージを表示およびコピーできます。</p>

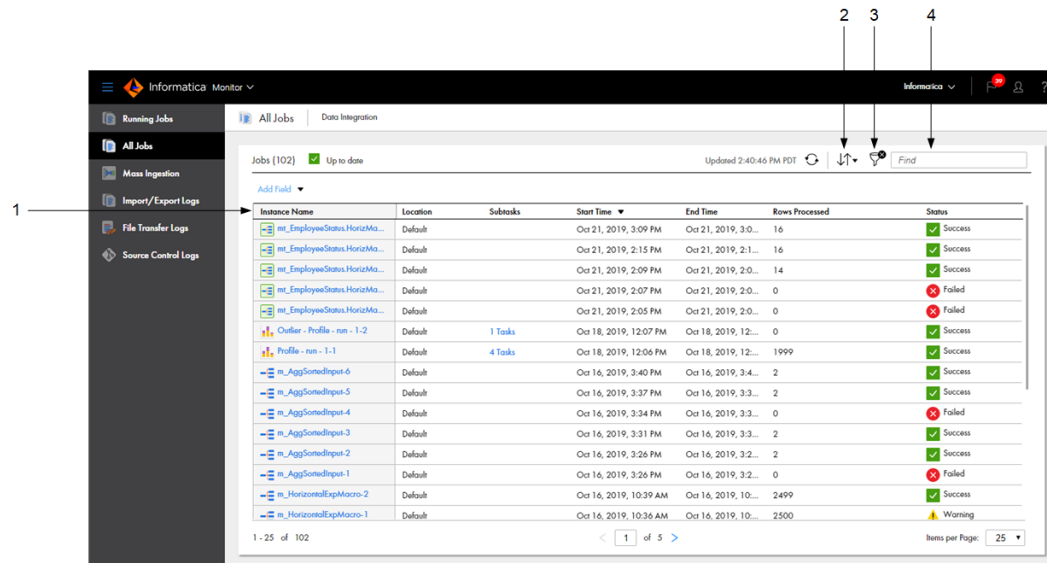
列見出し領域を右クリックして、次の追加のプロパティを表示することもできます。

プロパティ	説明
アセット名	ジョブに関連付けられているアセットの名前。例えば、ジョブがマッピングインスタンスの場合、この列には関連付けられているマッピングの名前が表示されます。
アセットタイプ	ジョブに関連付けられているアセットのタイプ。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
期間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。ファイル取り込みタスクまたは詳細クラスタサブタスクには適用されません。
失敗した行	ターゲットに書き込まれなかった行の合計数。ファイル取り込みタスクまたは詳細クラスタサブタスクには適用されません。
開始するユーザー名	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

# ジョブページのカスタマイズ

[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、および[マイジョブ]ページで表示するプロパティを選択できます。ジョブのソートやフィルタ処理、ジョブに関する詳細情報を表示するためのジョブのドリルダウン、およびサブタスクのプロパティの表示を行うこともできます。

次の図は、[すべてのジョブ] ページにデフォルトで表示されるプロパティを示しています。



1. 列見出し領域。列を追加または削除するには、この領域を右クリックします。
2. ソートアイコン
3. フィルタアイコン
4. [検索] フィールド

ジョブページは、次の方法でカスタマイズできます。

## ジョブのプロパティを表示、非表示、または再配置します。

特定のプロパティを表示または非表示にするには、列見出し領域を右クリックし、プロパティをチェックまたはオフにします。

列を再配置するには、列見出しをクリックし、別の場所にドラッグします。

## ジョブをソートします。

表示されたジョブをソートするには、ソート基準とするプロパティの列見出しをクリックします。例えば、最後に完了したジョブが先頭になるように一覧表示するには、[終了時刻] 列をクリックします。列見出しの矢印は、昇順または降順のいずれかのソート順序を示します。ソート順序を逆転させるには、列見出しをもう一度クリックします。

また、[ソート] アイコンをクリックして列名を選択することで、ジョブをソートすることもできます。

## ジョブを検索します。

[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、[マイジョブ] で特定のジョブを検索するには、検索フィールドを使用します。検索フィールドにジョブ名またはエラーメッセージ全体を入力するか、これらの一部を入力することでジョブを検索できます。



## ジョブのフィルタ。

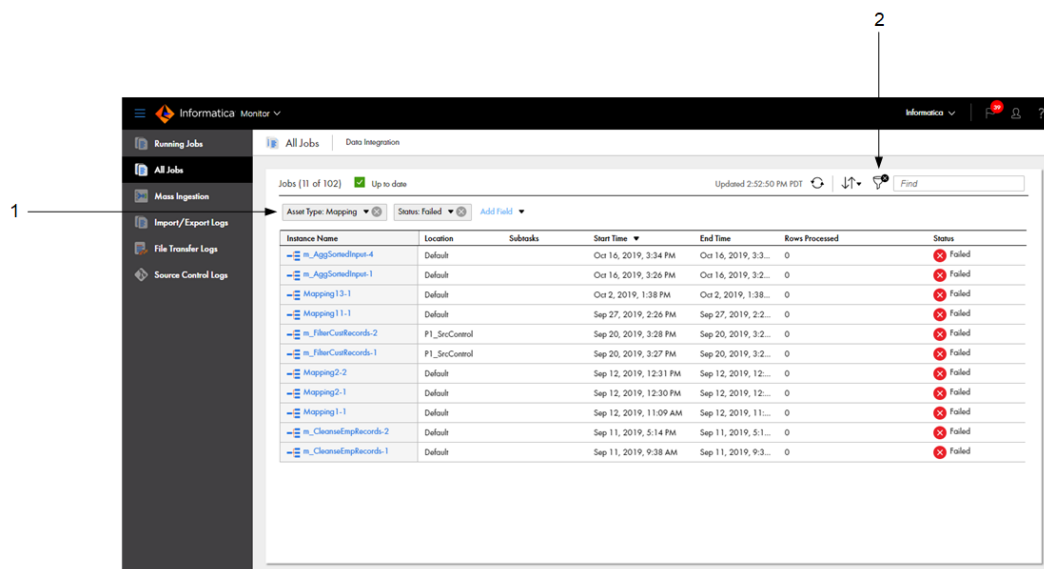
[すべてのジョブ]および[マイジョブ]ページに表示されるジョブをフィルタ処理するには、[フィルタ]アイコンをクリックします。フィルタを使用して特定のジョブを見つけます。フィルタにはキーワードおよび部分文字列を指定できます。

フィルタを指定するには、[フィールドの追加]をクリックし、フィルタ対象のプロパティを選択し、プロパティ値を入力します。例えば、文字列「Sales」を含む名前をもつジョブを検索するには、フィルタフィールドとして[アセット名]を選択し、値に「Sales」と入力します。または、文字列「Hosted Agent」を含むエラーが発生したジョブを検索するには、フィルタフィールドとして[エラーメッセージ]を選択し、値に「Hosted Agent」と入力します。

複数のフィルタを指定できます。例えば、データ統合の失敗したマッピングを検索するには、次のフィルタフィールドと値を選択します。

- アセットタイプ: マッピング
- ステータス: 失敗

次の図は、フィルタが適用された [すべてのジョブ] ページを示しています。



1. 適用したフィルタ
2. [フィルタを削除] アイコン

適用されているすべてのフィルタを削除するには、[フィルタを削除]アイコンをクリックします。

## 特定のジョブの詳細の表示

[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、または [マイジョブ] ページでジョブをドリルダウンして、ジョブに関する詳細情報を表示出来ます。

特定のジョブの詳細をドリルダウンし、表示するには、ジョブ名をクリックします。

サブタスクを含むジョブの詳細を表示するには、サブタスクビューを開き、サブタスク名をクリックします。

次の図はドリルダウンした後のリニアタスクフローインスタンスの詳細を示しています:

The screenshot shows the Informatica Data Integration interface. The left sidebar contains navigation links: New..., Home, Explore, Bundles, My Jobs, My Import/Export Logs, and lt\_Cust-2 (selected). The main panel displays the details for the job 'lt\_Cust-2'.

**Job Properties**

- Task Name: lt\_Cust
- Instance ID: 2
- Task Type: Linear Taskflow
- Started By: Itroy through UI
- Start Time: Aug 14, 2018 3:47:33 PM
- End Time: Aug 14, 2018 3:47:42 PM
- Duration: 9 seconds

**Results**

- State: Success
- Success Rows: 2761
- Errors: 0

**Individual Task Results**

#	Task Name	End Time	Status	Success Rows	Errors	Error Message	Recommendation
1	mt_Cust	Aug 14, 2018 3:47:37 PM	Success	2499	0		
	src_AllCust			2499	0		
	AllCustomers_OUT_csv			2499	0		
2	mt_CustOrders	Aug 14, 2018 3:47:42 PM	Success	262	0		
	src_CustOrders			262	0		
	CustOrders_OUT_csv			262	0		

ジョブに対して表示される詳細はジョブタイプによって異なります。

## 第 2 章

# データ統合ジョブの監視

実行中または実行されたデータ統合ジョブを監視できます。ジョブは、マッピング、タスク、またはタスクフローのインスタンスです。マッピング、タスク、またはタスクフローを開始するたびに、データ統合によって実行するジョブが作成されます。

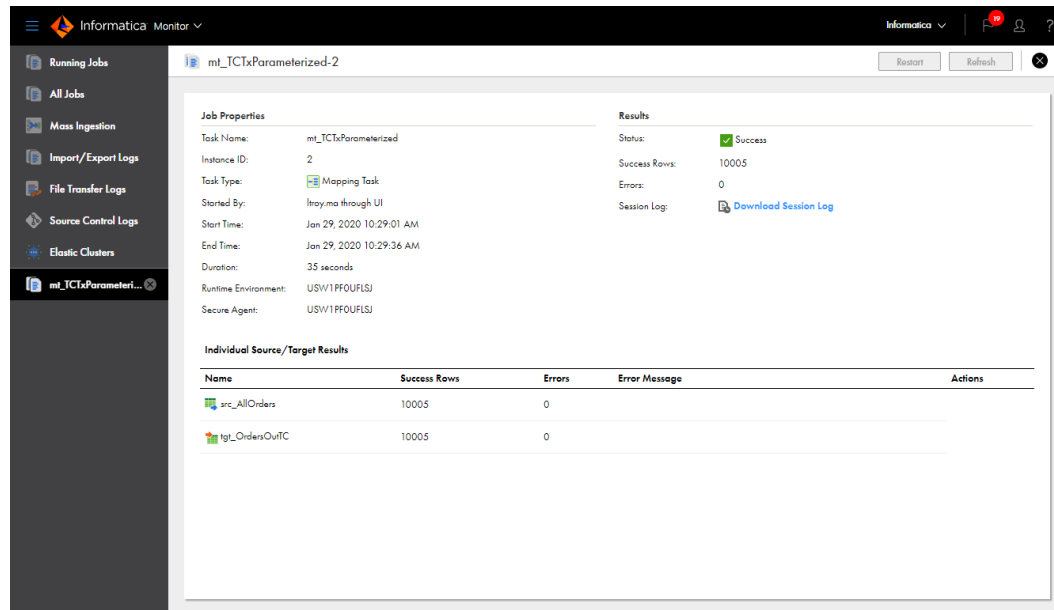
次のデータ統合ジョブのタイプを監視できます。

- マッピング
- データプレビュージョブのマッピング
- マッピングタスク
- エラスティックマッピング
- 動的マッピングタスク
- 同期タスク
- データ転送タスク
- マスキングタスク
- レプリケーションタスク
- ファイル取り込みタスク
- PowerCenter タスク
- リニアタスクフロー
- 詳細タスクフロー

# マッピングとマッピングタスクの監視

特定のマッピングインスタンス、タスクインスタンス、またはマッピングデータプレビュージョブに関する詳細情報を表示するには、[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、または [マイジョブ] ページでジョブ名をクリックします。

次の図は、マッピングタスクの [ジョブの詳細] を示しています。



各パネルにさまざまな詳細が表示されますが、実行するタスクの種類により詳細は異なります。

## ジョブのプロパティ

各マッピングインスタンス、タスクインスタンス、またはマッピングデータプレビュージョブのジョブプロパティには、インスタンスに関する一般的なプロパティが表示されます。

ジョブのプロパティには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
タスク名	タスクの名前。
インスタンス ID	タスクのインスタンス番号。例えば、タスクの 3 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「3」と表示されます。
タスクタイプ	タスクタイプ、例えばマッピングタスク。
開始したユーザー	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。

プロパティ	説明
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
Secure Agent	ジョブを実行した Secure Agent。

## ジョブの結果

各マッピングインスタンス、タスクインスタンス、またはマッピングデータプレビュージョブのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ステータス	<p>ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 起動。ジョブが開始されました。</li> <li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li> <li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li> <li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li> <li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li> </ul>
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。
セッションログ	<p>セッションログファイルをダウンロードできます。デフォルトでは、Informatica Intelligent Cloud Services は、10 回の実行のセッションログを格納してから、最新の実行でログを上書きします。10 回を超える実行のセッションログを保持する場合、タスクウィザードで <b>【ログファイルの最大数】</b> プロパティを設定できます。</p> <p>セッションログファイルは次のディレクトリに書き込まれます。</p> <p>&lt;Secure Agent installation directory&gt;/apps/Data_Integration_Server/logs</p>
要求された 1 時間あたりのコンピューティングユニット	<p>1 時間あたりのタスクが要求したサーバーレスコンピューティングユニット数。</p> <p>タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、要求されたコンピューティングユニット数を表示できます。</p>
使用されたコンピューティングユニットの合計	<p>タスクが使用したサーバーレスコンピューティングユニットの合計数。</p> <p>タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、使用されたコンピューティングユニット数を表示できます。</p>
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

## 個々のソースおよびターゲットの結果

詳細モードのマッピングに適用されないマッピングタスクインスタンスとマッピングデータプレビュージョブの個々のソースとターゲットの結果が表示されます。個々のソースおよびターゲットの結果には、個々のソースおよびターゲットの詳細が表示されます。

個々のソースおよびターゲットの詳細には、各ソースおよびターゲットの次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
名前	ソーストランスフォーメーションの名前、またはターゲットトランスフォーメーションとターゲットオブジェクトの名前。
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。
アクション	ジョブに関して行えるアクション。

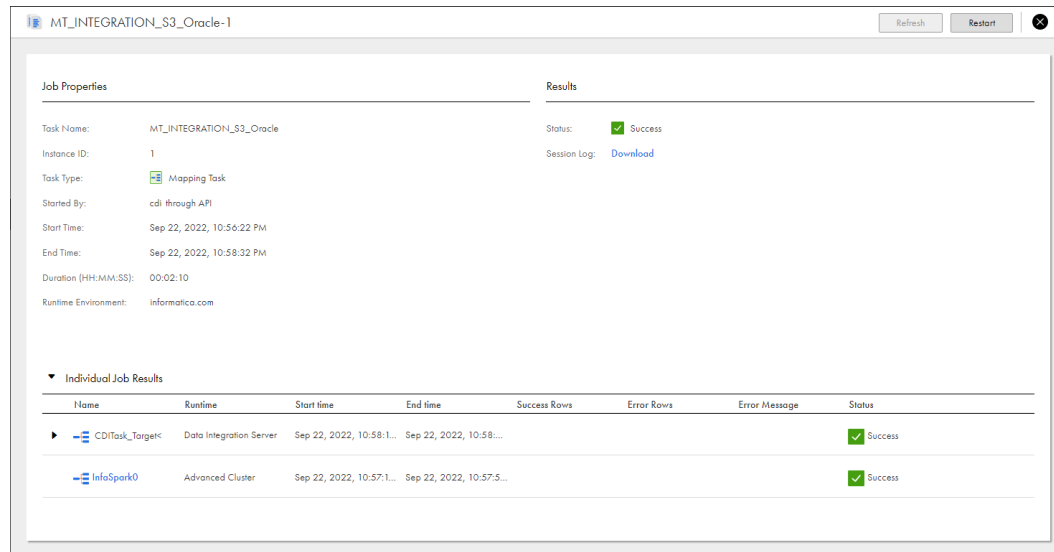
タスクに実行時にオーバーランした接続パラメータまたはオブジェクトパラメータが含まれる場合、タスクの完了後、ジョブの詳細にパラメータファイルの場所および各パラメータの値が表示されます。

タスクに入出力パラメータが含まれる場合、タスクが完了した後にジョブ詳細には各パラメータの値が表示されます。

# 詳細モードでのマッピングとタスクの監視

マッピングインスタンス、タスクインスタンス、データプレビュージョブなど、詳細モードのマッピングに関する詳細情報を表示するには、[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、または[マイジョブ] ページでジョブ名をクリックします。

次の図は、詳細モードのマッピングに関するジョブの詳細を示しています。



## ジョブのプロパティ

ジョブのプロパティには、各マッピングインスタンス、タスクインスタンス、または詳細モードのデータプレビュージョブのインスタンスに関する一般的なプロパティが表示されます。

以下の表に、ジョブのプロパティを示します。

プロパティ	説明
タスク名	タスクの名前。
インスタンス ID	タスクのインスタンス番号。例えば、タスクの 3 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「3」と表示されます。
タスクタイプ	マッピング（詳細モード）などのタスクタイプ。
開始したユーザー	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
期間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。

## ジョブの結果

ジョブの結果には、ジョブのステータス、セッションログへのダウンロードリンク、および各マッピングインスタンス、タスクインスタンス、または詳細モードのデータプレビュージョブのエラーメッセージが表示されます。

次の表に、ジョブの結果を示します。

プロパティ	説明
ステータス	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul>
セッションログ	セッションログファイルをダウンロードできます。デフォルトでは、Informatica Intelligent Cloud Services は、10 回の実行のセッションログを格納してから、最新の実行でログを上書きします。10 回を超える実行のセッションログを保持する場合、タスクウィザードで <b>【ログファイルの最大数】</b> プロパティを設定できます。 セッションログファイルは次のディレクトリに書き込まれます。 <Secure Agent installation directory>/apps/Data_Integration_Server/logs
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

## 個々のジョブの結果

個々のジョブの結果には、詳細モードでマッピングを処理するサブタスクの結果が表示されます。

各サブタスクは、データ統合サーバーまたは詳細クラスタで実行されます。

- **データ統合サーバー。** データ統合サーバーのサブタスクを展開して、ソースとターゲットの結果を表示できます。
- **詳細クラスタ。** 詳細クラスタサブタスクをドリルダウンできます。詳細については、[「詳細クラスタのサブタスクの監視」](#)（ページ 26）を参照してください。

個々のジョブ結果の各行にカーソルを合わせて、データ統合サーバーサブタスクの詳細なログをダウンロードしたり、詳細クラスタサブタスクのエージェントログやドライバログをダウンロードできます。

次の表に、個々のジョブの結果を示します。

プロパティ	説明
名前	サブタスクの名前。
ランタイム	データ統合がサブタスクを実行するために選択したランタイムプランに対応します。
開始時刻	サブタスクが開始された日時。
終了時刻	サブタスクが完了または停止した日時。



プロパティ	説明
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。 サブタスクの各ソースとターゲットに対して、このフィールドはソースからの読み取りに成功した行の数とターゲットへの書き込みに成功した行の数を表示します。
エラー行	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。 サブタスクの各ソースとターゲットに対して、このフィールドはソースからの読み取りが行われなかった行の数とターゲットへの書き込みが行われなかった行の数を表示します。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（存在する場合）。
ステータス	サブタスクのステータス。サブタスクのステータスは、以下のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [キューに格納]。ジョブは Secure Agent でキューに追加されますが、開始されることはありません。</li> <li>- 起動。ジョブが開始されました。</li> <li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li> <li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li> <li>- 停止。親ジョブは実行を停止しているため、サブタスクを開始できません。</li> <li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li> <li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li> </ul>

## 再処理ジョブの詳細

増分ロードされたソースファイルを再処理するジョブを実行すると、再処理ジョブに関する詳細を表示できます。

ジョブが設定されているソースディレクトリの新規ファイルと変更済みファイルの検索に使用する時間範囲の開始時間と終了時間を表示できます。開始時間は、詳細オプションで構成した時間です。時間間隔で再処理を構成する場合、終了時間は詳細オプションで構成した時間です。それ以外の場合は、ジョブが実行される時間によって終了時間が決まります。

次の画像は、再処理ジョブの監視詳細の例を示しています。

Advanced Options (Reprocess Incrementally Loaded Sources)

This job reprocessed incrementally loaded files. Only incrementally loaded files that were modified between the start and end times below were loaded.

Start Time: Feb 3, 2022, 12:00:00 AM

End Time: Feb 23, 2022, 12:00:00 AM

**注:** 増分ロードされたソースファイルを再処理したジョブを再開すると、新しいジョブは、詳細オプションなしで通常のジョブとして実行されます。

## 増分ファイルロードの詳細

ファイルを増分ロードするようにソースを設定すると、ファイルのロードに関する詳細を表示できます。

ジョブがディレクトリ内の新規ファイルと変更済みファイルの検索に使用する時間範囲の開始時間と終了時間を表示できます。

ロード開始時間は、前のジョブのロード終了時間から派生します。ジョブを初めて実行する場合、またはマッピングタスクで前回ロード時間をリセットする場合は、ロード開始時間は適用されません。

ジョブは、その秒の後の最大 999 ミリ秒を含むロード終了時間までに変更されたすべてのファイルを処理します。例えば、ジョブのロード終了時間が 2019 年 8 月 28 日 2:15:22 p.m.と表示された場合、ジョブは 2019 年 8 月 28 日 2:15:22.999 p.m.までに変更されたすべてのファイルを処理します。

## 詳細クラスタのサブタスクの監視

詳細クラスタで実行されるサブタスクに関する詳細情報を表示するには、詳細モードのマッピングの個々のジョブ結果からサブタスクに移動します。

**注:** ジョブの実行中に、詳細クラスタで実行されるサブタスクを監視するとき、ジョブのプロパティ、ジョブの結果、および Spark タスクの詳細に対する更新を表示するには、ページを更新する必要があります。

### ジョブのプロパティ

詳細クラスタで実行される各サブタスクのジョブのプロパティは、インスタンスに関する一般的なプロパティを表示します。

次の表に、詳細クラスタで実行されるサブタスクのジョブのプロパティを示します。

プロパティ	説明
タスク名	タスクの名前。
インスタンス ID	タスクのインスタンス番号。例えば、タスクの 3 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「3」と表示されます。
タスクタイプ	、この場合はマッピングタスク。
開始したユーザー名	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
詳細設定	詳細クラスタの作成に使用された詳細設定。
クラスタ	ジョブが実行される詳細クラスタ。 クラスタ名をクリックして、クラスタの監視の詳細に直接移動できます。

## ジョブの結果

詳細クラスタで実行される各サブタスクのジョブ結果には、ジョブのステータス、Spark 実行プランのダウンロードリンク、およびエラーメッセージ（ある場合）が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ステータス	<p>ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 失敗しました。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul> <p>ジョブを実行したときに詳細クラスタが実行されていない場合、ジョブはクラスタが開始されるまで待機します。この間、ジョブのステータスは「開始中」です。</p> <p>ジョブの実行中に Secure Agent で障害が発生した場合、ジョブのステータスは「実行中」という表示のままになります。ジョブをキャンセルして、実行し直す必要があります。</p>
実行プラン	詳細クラスタがマッピングでデータロジックを実行するために使用するランタイム Scala コードを示す Spark 実行プランをダウンロードできます。マッピングでスカラコードを使用して問題をデバッグできます。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

## ジョブの結果（チューニング用）

詳細クラスタで実行されるマッピングタスクをチューニングする場合、ジョブの結果には、チューニングジョブのステータスとサブタスクへのリンクが表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ステータス	<p>ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 停止。ジョブは停止されました。</li><li>- 失敗しました。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul> <p>SecureAgent がいずれかのサブタスクの実行中に失敗した場合、サブタスクとチューニングジョブのステータスは「実行中」と表示されます。チューニングジョブを停止し、マッピングタスクの詳細から再度チューニングを設定する必要があります。</p>
サブタスク	<p>チューニングジョブを構成するサブタスクの数。各サブタスクは、マッピングタスクの実行を表します。</p> <p>リンクが利用可能な場合は、リンクをクリックして各マッピングタスクを監視します。</p>
要求された 1 時間あたりのコンピューティングユニット	<p>1 時間あたりのタスクが要求したサーバーレスコンピューティングユニット数。</p> <p>タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、要求されたコンピューティングユニット数を表示できます。</p>

プロパティ	説明
使用されたコンピューティングユニットの合計	タスクが使用したサーバーレスコンピューティングユニットの合計数。 タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、使用されたコンピューティングユニット数を表示できます。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

## Spark タスクの詳細

詳細クラスタで実行されるサブタスクでは、マッピングは、データロジックを同時に処理する Spark タスクに変換されます。[<Spark タスク名>タスクの結果] の下にリストされている各 Spark タスクの詳細を表示できます。

次の表に、各 Spark タスクの詳細を示します。

プロパティ	説明
ステータス	Spark タスクのステータス。Spark タスクのステータスは次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 実行中。タスクは実行中です。</li> <li>- 成功しました。タスクが正常に完了しました。</li> <li>- 失敗しました。エラーが発生したため、タスクは完了しませんでした。</li> <li>- 停止。タスクは停止しました。</li> <li>- 不明。タスクのステータスは不明です。</li> </ul> ジョブの実行中に Secure Agent で障害が発生した場合、Spark タスクのステータスは「実行中」という表示のままになります。ジョブをキャンセルして、実行し直す必要があります。
開始時刻	Spark タスクの開始日時。
終了時刻	Spark タスクの終了日時。
継続時間	Spark タスクが実行された時間。
Executor あたりのメモリ	各 Spark Executor が使用するメモリの量。
Executor あたりのコア数	各 Spark Executor が使用するコアの数。
ドライバおよびエージェントジョブログ	<b>[ダウンロード]</b> を選択して、Spark ドライバとエージェントジョブログをダウンロードします。
詳細ログの場所	詳細クラスタについて、詳細設定で設定されているログの場所。詳細ログの場所に移動して、エージェントジョブログ、Spark ドライバログ、および Spark Executor ログを表示およびダウンロードできます。

それぞれの Spark タスクは Spark ジョブに変換され、さらにステージに分割されます。Spark ジョブおよびステージごとに次の詳細を表示できます。

プロパティ	説明
ジョブ名	Spark ジョブまたはステージの名前。
開始時刻	Spark ジョブまたはステージが開始された日時。強制終了されたタスクの開始時間は「NA」となる可能性があります。
終了時刻	Spark ジョブまたはステージが終了した日時。強制終了されたタスクの終了時間は「NA」となる可能性があります。
継続時間	Spark ジョブまたはステージが実行された時間。
タスクの合計	Spark ジョブまたはステージが試行したタスクの数。
成功したタスク	Spark ジョブまたはステージが正常に完了したタスクの数。
失敗したタスク	Spark ジョブまたはステージが完了できなかったタスクの数。
実行中のタスク	Spark ジョブまたはステージが現在実行しているタスクの数。
入力サイズ/レコード数	Spark ジョブまたはステージによって入力されたファイルのサイズとレコードの数。
出力サイズ/レコード数	Spark ジョブまたはステージによって出力されたファイルのサイズとレコードの数。
ステータス	<p>Spark ジョブまたはステージのステータス。ステータスは、次のいずれかの値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 実行中。ジョブまたはステージが実行中。</li> <li>- 成功。ジョブまたはステージが正常に完了。</li> <li>- 失敗しました。エラーが発生したため、ジョブまたはステージは完了しませんでした。</li> <li>- 強制終了。ユーザーがマッピングタスクを強制終了したため、ジョブまたはステージは完了しませんでした。</li> </ul> <p><b>注:</b> マッピングタスクを強制終了した後に、Monitor サービスにステータスが強制終了と表示されるまでに多少の遅延時間が発生する場合があります。</p>

# コードタスクの監視

特定のコードタスクに関する詳細情報を表示するには、**【マイジョブ】**、**【すべてのジョブ】**、または**【実行中のジョブ】** ページでインスタンス名をクリックします。

## ジョブのプロパティ

各コードタスクインスタンスのジョブのプロパティでは、タスクの全般プロパティが表示されます。

次の表に、コードタスクのジョブのプロパティを示します。

プロパティ	説明
タスク名	タスクの名前。
インスタンス ID	タスクのインスタンス番号。例えば、タスクの 3 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「3」と表示されます。
タスクタイプ	、この場合はコードタスク。
CodeTask ID	コードタスクの一意的識別子。
開始したユーザー名	ジョブを開始したユーザーの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
詳細設定	詳細設定エラスティッククラスタ詳細クラスタ。
クラスタ	詳細クラスタエラスティックジョブ詳細ジョブ。 クラスタ名をクリックして、クラスタの監視の詳細に直接移動できます。

## ジョブの結果

各コードタスクインスタンスのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

次の表に、コードタスクのジョブの結果を示します。

プロパティ	説明
ステータス	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 失敗しました。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul>
セッションログ	セッションログファイルをダウンロードできます。デフォルトでは、Informatica Intelligent Cloud Services は、10 回の実行のセッションログを格納してから、最新の実行でログを上書きします。 セッションログファイルは次のディレクトリに書き込まれます。 <Secure Agent installation directory>/apps/Data_Integration_Server/logs
要求された 1 時間あたりのコンピューティングユニット	1 時間あたりのタスクが要求したサーバーレスコンピューティングユニット数。 タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、要求されたコンピューティングユニット数を表示できます。
使用されたコンピューティングユニットの合計	タスクが使用したサーバーレスコンピューティングユニットの合計数。 タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、使用されたコンピューティングユニット数を表示できます。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

## コードタスク API 実行パラメータ

コードタスクインスタンスごとの実行パラメータは、タスクで使用される API パラメータを表示します。

次の表に、コードタスクの実行パラメータを示します。

プロパティ	必須/オプション	説明
コードタスクのタイムアウトをオーバーライド	オプション	この実行のコードタスクタイムアウト値をオーバーライドします。値-1 は、タイムアウトがないことを意味します。
ログレベル	オプション	セッションログ、エーเจントジョブログ、Spark ドライバ、およびエグゼキューターログのログレベル。有効な値は、none、terse、normal、verboseInitialization、または verboseData です。 デフォルト値は [通常] です。

次の表に、コードタスクの Spark プロパティを示します。

プロパティ	必須/オプション	説明
Main クラス	必須	Spark アプリケーションのエントリポイント。以下に例を示します。 org.apache.spark.examples.company.SparkExampleApp
Main クラスの引数	オプション	Spark アプリケーションの Main クラスに送信される順序付けされた引数。以下に例を示します。 --appTypeSPARK_PI_FILES_JARS-- classesToLoadcom.company.test.SparkTest1Class
プライマリリソース	必須	コードタスクが含まれている Scala JAR ファイル。
JAR ファイルパス	オプション	クラスタにアップロードされ、Spark ドライバとエグゼキュータークラスパスに追加される JAR ファイルのディレクトリとファイル名。
Spark ファイルパス	オプション	クラスタにアップロードされ、現在の作業ディレクトリで利用できる Spark ファイルのディレクトリとファイル名。
カスタムプロパティ	オプション	データ統合が使用する Spark プロパティまたはその他のカスタムプロパティ。

## Spark アプリケーションタスクの詳細

各コードタスクの Spark アプリケーションタスクの詳細は、**[Spark アプリケーションタスクの結果]** の下に表示されます。

各 Spark アプリケーションタスクには次の詳細が含まれます。

プロパティ	説明
ステータス	Spark タスクのステータス。Spark タスクのステータスは次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 実行中。タスクは実行中です。</li><li>- 成功。タスクが正常に完了しました。</li><li>- 失敗しました。エラーが発生したため、タスクは完了しませんでした。</li><li>- 停止。タスクは停止しました。</li><li>- 不明。タスクのステータスは不明です。</li></ul> ジョブの実行中に Secure Agent で障害が発生した場合、Spark タスクのステータスは「実行中」という表示のままになります。ジョブをキャンセルして、実行し直す必要があります。
開始時刻	Spark タスクの開始日時。
終了時刻	Spark タスクの終了日時。
継続時間	Spark タスクが実行された時間。
Executor あたりのメモリ	各 Spark Executor が使用するメモリの量。



プロパティ	説明
Executor あたりのコア数	各 Spark Executor が使用するコアの数。
ドライバおよびエーเจントジョブログ	<b>【ダウンロード】</b> を選択して、Spark ドライバとエーเจントジョブログをダウンロードします。
詳細ログの場所	詳細クラスタについて、詳細設定で設定されているログの場所。詳細ログの場所に移動して、エーเจントジョブログ、Spark ドライバログ、および Spark Executor ログを表示およびダウンロードできます。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（存在する場合）。

それぞれの Spark アプリケーションタスクは Spark ジョブに変換され、さらにステージに分割されます。Spark ジョブおよびステージごとに次の詳細を表示できます。

プロパティ	説明
ジョブ名	Spark ジョブまたはステージの名前。
継続時間	Spark ジョブまたはステージが実行された時間。
タスクの合計	Spark ジョブまたはステージが試行したタスクの数。
失敗したタスク	Spark ジョブまたはステージが完了できなかったタスクの数。
入力サイズ/レコード数	Spark ジョブまたはステージによって入力されたファイルのサイズとレコードの数。
出力サイズ/レコード数	Spark ジョブまたはステージによって出力されたファイルのサイズとレコードの数。
ステータス	<p>Spark ジョブまたはステージのステータス。ステータスは、次のいずれかの値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 実行中。ジョブまたはステージが実行中。</li> <li>- 成功。ジョブまたはステージが正常に完了。</li> <li>- 失敗しました。エラーが発生したため、ジョブまたはステージは完了しませんでした。</li> <li>- 強制終了。ユーザーがコードタスクを強制終了したため、ジョブまたはステージは完了しませんでした。</li> </ul> <p><b>注:</b> コードタスクを強制終了した後に、Monitor サービスにステータスが <b>【強制終了】</b> と表示されるまでに多少の遅延時間が発生する場合があります。</p>

## 動的マッピングタスクの監視

特定の動的マッピングタスクに関する詳細情報を表示するには、**【マイジョブ】**、**【すべてのジョブ】**、または **【実行中のジョブ】** ページでインスタンス名をクリックします。

完了したタスクの詳細を表示する際、タスクの実行を最初から再開できます。タスク内の 1 つ以上のジョブが失敗した場合は、タスクの実行を再開できます。動的マッピングタスクを再開する際は、データ統合により、前回の実行時に失敗した、またはスキップされたジョブが再実行されます。警告によりタスクの実行が停止し、

警告の発生時に停止するようタスクが設定されている場合、データ統合は、警告付きで完了したジョブも再実行します。

動的マッピングタスクの再起動または再開は、**【マイジョブ】**、**【すべてのジョブ】**、または **【実行中のジョブ】** ページからも実行できます。

## ジョブのプロパティ

それぞれの動的マッピングタスクのジョブプロパティには、タスクに関する一般的なプロパティが含まれています。

ジョブのプロパティには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
タスク名	タスクの名前。
インスタンス ID	タスクのインスタンス番号。例えば、タスクの 4 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「4」と表示されます。
タスクタイプ	タスクタイプ（動的マッピングタスクなど）。
開始したユーザー	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
期間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。

## ジョブの結果

それぞれの動的マッピングタスクのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ステータス	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul>
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。。
エラー行	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。

## 個々のジョブの結果

個々のジョブの結果には、動的マッピングタスクインスタンス内のジョブの結果と、個々のソースおよびターゲットの詳細が表示されます。

それぞれのジョブに対して、ジョブ詳細には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
名前	ジョブ、ソーストランスフォーメーション、またはターゲットオブジェクトの名前。
グループ	動的マッピングタスクでジョブが割り当てられているグループ。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー行	ターゲットに書き込まれなかった行の数。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられたエラーメッセージ（存在する場合）。
ステータス	ジョブステータス。

【マイジョブ】 ページ、【すべてのジョブ】 ページ、または【実行中のジョブ】 ページから、動的マッピングタスクで個々のジョブを再開できます。特定のジョブを再開するには、ジョブを含む行で【再開】 をクリックします。

各ジョブの詳細情報を表示するには、ジョブ名をクリックします。

## 同期タスクの監視

特定の同期タスクインスタンスに関する詳細情報を表示するには、【すべてのジョブ】、【実行中のジョブ】、または【マイジョブ】 ページでジョブ名をクリックします。

### ジョブのプロパティ

各同期タスクのジョブのプロパティでは、インスタンスの全般プロパティが表示されます。

ジョブのプロパティには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
タスク名	タスクの名前。
インスタンス ID	タスクのインスタンス番号。例えば、タスクの 3 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「3」と表示されます。
タスクタイプ	、このインスタンスでは同期タスク。

プロパティ	説明
開始したユーザー名	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
Secure Agent	ジョブを実行した Secure Agent。

## ジョブの結果

各同期タスクのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ステータス	<p>ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 起動。ジョブが開始されました。</li> <li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li> <li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li> <li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li> <li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li> </ul>
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。
セッションログ	<p>セッションログファイルをダウンロードできます。デフォルトでは、Informatica Intelligent Cloud Services は、10 回の実行のセッションログを格納してから、最新の実行でログを上書きします。10 回を超える実行のセッションログを保持する場合、タスクウィザードで <b>【ログファイルの最大数】</b> プロパティを設定できます。</p> <p>セッションログファイルは次のディレクトリに書き込まれます。</p> <p>&lt;Secure Agent installation directory&gt;/apps/Data_Integration_Server/logs</p>
エラー行ファイル	<p>エラー行があるインスタンスのエラー行ファイルをプレビューできます。<b>【エラー行ファイルのプレビュー】</b> をクリックして、最初の 25 のエラー行と最初の 50 列を CSV ファイルとしてダウンロードします。</p>
要求された 1 時間あたりのコンピューティングユニット	<p>1 時間あたりのタスクが要求したサーバーレスコンピューティングユニット数。</p> <p>タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、要求されたコンピューティングユニット数を表示できます。</p>

プロパティ	説明
使用されたコンピューティングユニットの合計	タスクが使用したサーバーレスコンピューティングユニットの合計数。 タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、使用されたコンピューティングユニット数を表示できます。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

## データ転送タスクの監視

特定のデータ転送タスクに関する詳細情報を表示するには、**【マイジョブ】**、**【すべてのジョブ】**、または**【実行中のジョブ】** ページでインスタンス名をクリックします。

### ジョブのプロパティ

それぞれのデータ転送タスクのジョブプロパティには、タスクに関する一般的なプロパティが含まれています。  
ジョブのプロパティには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
タスク名	タスクの名前。
インスタンス ID	タスクのインスタンス番号。例えば、タスクの 3 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「3」と表示されます。
タスクタイプ	タスクタイプ（データ転送タスクなど）。
開始したユーザー名	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
Secure Agent	ジョブを実行した Secure Agent。
コンテキスト名	ジョブに関連付けられているタスクの名前。

## ジョブの結果

それぞれのデータ転送タスクのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ステータス	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul>
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。
セッションログ	セッションログファイルをダウンロードできます。デフォルトでは、Informatica Intelligent Cloud Services は、10 回の実行のセッションログを格納してから、最新の実行でログを上書きします。10 回を超える実行のセッションログを保持する場合、タスクウィザードで <b>【ログファイルの最大数】</b> プロパティを設定できます。

## 個々のソースおよびターゲットの結果

個々のソースおよびターゲットの結果には、個々のソースおよびターゲットの詳細が表示されます。

個々のソースおよびターゲットの詳細には、各ソースおよびターゲットの次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
名前	ソースまたはターゲットオブジェクトの名前。
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー	ソースエラー行またはターゲットエラー行の総数。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（存在する場合）。

# マスキングタスクの監視

特定のマスキングタスクインスタンスに関する詳細情報を表示するには、**【すべてのジョブ】**、**【実行中のジョブ】**、または**【マイジョブ】** ページでジョブ名をクリックします。

## ジョブのプロパティ

各マスキングタスクインスタンスのジョブのプロパティでは、インスタンスの全般プロパティが表示されます。ジョブのプロパティには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
タスク名	タスクの名前。
インスタンス ID	タスクのインスタンス番号。例えば、タスクの 3 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「3」と表示されます。
タスクタイプ	、このインスタンスではマスキングタスク。
開始したユーザー名	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
Secure Agent	ジョブを実行した Secure Agent。

## ジョブの結果

各マスキングタスクインスタンスのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ステータス	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul>
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。

プロパティ	説明
エラー行ファイル	エラー行ファイルをプレビューできます。 <b>[エラー行ファイルのプレビュー]</b> をクリックして、最初の 25 のエラー行と最初の 50 列を CSV ファイルとしてダウンロードします。
サブセット行	ターゲットにロードされたデータサブセット行の数。
セッションログ	セッションログファイルをダウンロードできます。デフォルトでは、Informatica Intelligent Cloud Services は、10 回の実行のセッションログを格納してから、最新の実行でログを上書きします。早期の実行のセッションログが必要な場合は、セッションログファイルを保持するディレクトリのバックアップを取ります。 セッションログファイルは次のディレクトリに書き込まれます。 <Secure Agent installation directory>/apps/Data_Integration_Server/logs
要求された 1 時間あたりのコンピューティングユニット	1 時間あたりのタスクが要求したサーバーレスコンピューティングユニット数。 タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、要求されたコンピューティングユニット数を表示できます。
使用されたコンピューティングユニットの合計	タスクが使用したサーバーレスコンピューティングユニットの合計数。 タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、使用されたコンピューティングユニット数を表示できます。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

## アクティビティログの詳細

アクティビティログには、個々のサブタスクの結果が表示されます。

アクティビティログの詳細には、各サブタスクの次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
名前	サブタスクの名前
終了時刻	サブタスクが完了した日時。サブタスクのセッションログをダウンロードする事も出来ます。
ステータス	サブタスクのステータス。
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー行	ターゲットに書き込まれなかった行の合計数。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。
推奨事項	ジョブに関して行える推奨アクション。



# レプリケーションタスクの監視

特定のレプリケーションタスクインスタンスに関する詳細情報を表示するには、**【すべてのジョブ】**、**【実行中のジョブ】**、または **【マイジョブ】** ページでジョブ名をクリックします。

## ジョブのプロパティ

各レプリケーションタスクのジョブのプロパティでは、インスタンスの全般プロパティが表示されます。ジョブのプロパティには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
タスク名	タスクの名前。
インスタンス ID	タスクのインスタンス番号。例えば、タスクの 3 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「3」と表示されます。
タスクタイプ	、このインスタンスではレプリケーションタスク。
開始したユーザー名	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
Secure Agent	ジョブを実行した Secure Agent。

## ジョブの結果

各レプリケーションタスクのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ステータス	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- [キューに格納]。ジョブは Secure Agent でキューに追加されますが、開始されることはありません。</li><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 停止。親ジョブは実行を停止しているため、サブタスクを開始できません。</li><li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul>
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。

プロパティ	説明
エラー	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。
要求された 1 時間あたりのコンピューティングユニット	1 時間あたりのタスクが要求したサーバーレスコンピューティングユニット数。タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、要求されたコンピューティングユニット数を表示できます。
使用されたコンピューティングユニットの合計	タスクが使用したサーバーレスコンピューティングユニットの合計数。タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、使用されたコンピューティングユニット数を表示できます。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

## 個々のオブジェクトの結果

個々のオブジェクトの結果は個々のターゲットオブジェクトの結果を表示します。個々のサブタスクのセッションログもダウンロードできます。

ジョブの詳細には、ターゲットオブジェクトごとの次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
オブジェクト名	ターゲットオブジェクトの名前。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
ステータス	ジョブのステータス（実行中、成功、警告、失敗のいずれか）。
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。
エラーメッセージ	ターゲットへの書き込み中に検出されたエラー（ある場合）。
推奨事項	エラーに対する推奨アクション。

## PowerCenter タスクの監視

特定の PowerCenter タスクに関する詳細情報を表示するには、**[すべてのジョブ]**、**[実行中のジョブ]**、または **[マイジョブ]** ページでジョブ名をクリックします。

## ジョブのプロパティ

各 PowerCenter タスクインスタンスのジョブのプロパティでは、インスタンスの全般プロパティが表示されます。

ジョブのプロパティには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
タスク名	タスクの名前。
インスタンス ID	タスクのインスタンス番号。例えば、タスクの 3 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「3」と表示されます。
タスクタイプ	、このインスタンスでは PowerCenter。
開始したユーザー名	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
Secure Agent	ジョブを実行した Secure Agent。

## ジョブの結果

各 PowerCenter タスクインスタンスのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

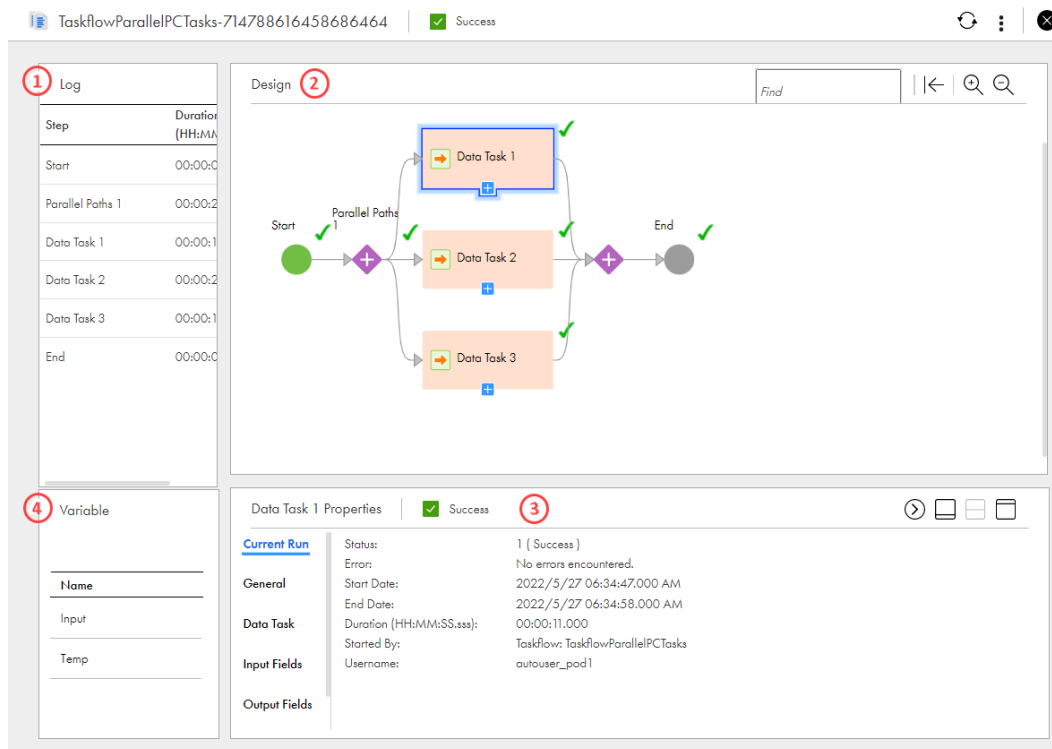
プロパティ	説明
ステータス	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul>
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。
セッションログ	セッションログファイルをダウンロードできます。デフォルトでは、Informatica Intelligent Cloud Services は、10 回の実行のセッションログを格納してから、最新の実行でログを上書きします。早期の実行のセッションログが必要な場合は、セッションログファイルを保持するディレクトリのバックアップを取ります。 セッションログファイルは次のディレクトリに書き込まれます。 <Secure Agent installation directory>/apps/Data_Integration_Server/logs

プロパティ	説明
要求された 1 時間あたりのコンピューティングユニット	1 時間あたりのタスクが要求したサーバーレスコンピューティングユニット数。 タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、要求されたコンピューティングユニット数を表示できます。
使用されたコンピューティングユニットの合計	タスクが使用したサーバーレスコンピューティングユニットの合計数。 タスクがサーバーレスランタイム環境で実行される場合、使用されたコンピューティングユニット数を表示できます。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

# タスクフローの監視

タスクフローインスタンスに関する詳細情報を表示するには、**【マイジョブ】** ページでジョブ名をクリックします。

次の図は、タスクフローインスタンスの**【ジョブの詳細】**を示しています。



1. ログパネル。タスクフローが実行したアクティビティの時系列リスト。
2. デザインパネル。タスクフローのキャンバスビュー。
3. **【プロパティ】** パネル。キャンバス上で選択したタスクフロー要素のプロパティ。現在のタスクフローインスタンスに固有のプロパティを表示するには、開始ステップをクリックします。タスクに固有のプロパティを表示するには、データタスクステップをクリックします。
4. 変数。タスクフローインスタンスの実行に使用される入力変数と一時変数。変数とそれに関連付けられた値を更新するには、**【変数】** パネルの入力変数または一時変数の横にある**【編集】** アイコンをクリックします。

## 開始ステップのプロパティ

開始ステップのプロパティには、タスクフローの現在の実行に関する情報が表示されます。

開始ステップをクリックすると、プロパティパネルに次の情報が表示されます。

プロパティ	説明
インスタンス ID	現在のタスクフローインスタンスを識別する一意の番号。
状態	タスクフローインスタンスの状態。タスクフローは、実行中、失敗、成功、または中断状態のいずれかになります。

プロパティ	説明
開始時刻	タスクフローインスタンスが開始された日時。
終了時刻	タスクフローインスタンスが終了した日時。タスクフローが成功または失敗の状態である場合は、終了時刻の値が表示されます。
期間	タスクフローインスタンスが完了するまでに実行された時間。タスクフローが成功または失敗の状態である場合は、期間値が表示されます。
ユーザー名	タスクフローのこのインスタンスを実行したユーザーの名前。
ランタイム環境	タスクフローが実行されたランタイム環境。タスクフローは、クラウド環境でのみ実行できます。

## データタスクのプロパティ

データタスクステップのプロパティは、タスクフローのデータタスクの現在の実行に関する詳細を表示します。データタスクをクリックすると、[プロパティ] パネルに次の情報が表示されます。

プロパティ	説明
現在の実行	<p>次のプロパティが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ステータス。データ統合タスクのステータスを示します。データ統合タスクは、0（<b>フォールト</b>）、1（<b>成功</b>）、または2（<b>警告</b>）のいずれかの状態になります。</li> <li>- エラー。データ統合タスクが [0（<b>フォールト</b>）] または [2（<b>警告</b>）] 状態の場合、エラーメッセージがここに表示されます。</li> <li>- 開始日。データ統合タスクが開始された日時。</li> <li>- 終了日。データ統合タスクが終了した日時、または中断された日時。</li> <li>- 期間。データ統合タスクの、完了前または中断前の実行時間。</li> <li>- 開始したユーザー。データ統合タスクを呼び出したタスクフローの名前。</li> <li>- ユーザー名。タスクフローのこのインスタンスを実行したユーザーの名前。</li> </ul>
全般	データタスクステップの名前とタイプ。
データタスク	<p>次のプロパティが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 名前。データ統合タスクの名前。</li> <li>- タイプ。データ統合タスクがデータ転送タスク、動的マッピングタスク、マッピングタスク、PowerCenter タスク、または同期タスクかどうかを指定します。</li> </ul>
入力ファイルド	<p>データタスクステップに追加したデータ統合タスクに固有のプロパティ。</p> <p>次のプロパティが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- タスクが完了するまで待ちます。データタスクステップがデータ統合タスクの完了を待機するかどうかを示します。この値は常に <b>はい</b> です。</li> <li>- 最大待機。データタスクステップがデータ統合タスクの完了を待機する最大時間（秒単位）。この値は常に 604800 秒（7 日）です。</li> <li>- タスク名。データ統合タスクの名前。</li> <li>- GUID。データ統合タスクの一意的識別番号。</li> <li>- タスクタイプ。データ統合タスクがデータ転送タスク、動的マッピングタスク、マッピングタスク、PowerCenter タスク、または同期タスクかどうかを示します。</li> <li>- 入出力パラメータの有無。データ統合タスクに入力パラメータと出力パラメータのどちらが含まれているかを示します。</li> </ul>

プロパティ	説明
出力フィールド	<p>データ統合タスクの<b>状態</b>が<b>1（成功）</b>である場合は、出力フィールドのプロパティが表示されます。</p> <p>完了したデータ統合タスクに固有のプロパティがここに表示されます。</p> <p><b>注:</b> データタスクが詳細モードのマッピングに基づいたマッピングタスクである場合、出力フィールドのプロパティには成功したターゲット行とエラーターゲット行が含まれますが、成功したソース行とエラーソース行は含まれません。</p>
フォルト	<p>データ統合タスクに障害が発生した場合は、次のプロパティが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コード。障害がエラーであるか、または警告であるかを示します。</li> <li>- 理由。エラーまたはフォルトの原因を示します。</li> <li>- 詳細。エラーまたはフォルトに関する詳細を示します。</li> </ul> <p>データ統合タスクのステータスが<b>3（失敗）</b>で、以下のいずれかの条件を満たしている場合は、出力フィールドのプロパティが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>【エラー時】</b> フィールドが<b>【無視】</b>または<b>【カスタムエラー処理】</b>に設定されている。</li> <li>- <b>【タスクフローを完了時に終了】</b> オプションが<b>【このタスクが失敗した場合】</b>に設定されている。</li> </ul>

## 通知タスクのプロパティ

通知タスクステップのプロパティは、タスクフローの通知タスクの現在の実行に関する詳細を表示します。

通知タスクをクリックすると、**【プロパティ】** パネルに次の情報が表示されます。

プロパティ	説明
全般	通知タスクステップの名前。
詳細	<p>通知タスクの次の入力フィールドを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 電子メールの宛先電子メール通知の主な受信者。</li> <li>- 電子メールの CC 電子メール通知のコピーが送信される必要のある受信者。</li> <li>- 電子メールの件名電子メールを紹介する短くてわかりやすい件名。</li> <li>- 電子メールのコンテンツタイプ電子メールのコンテンツで使用するフォーマットのタイプ。</li> <li>- 電子メールの本文電子メールに含まれるコンテンツ。</li> </ul>

## コマンドタスクステップのプロパティ

コマンドタスクステップのプロパティは、タスクフローのコマンドタスクの現在の実行に関する詳細を表示します。

タスクフローのコマンドタスクをクリックすると、**【プロパティ】** パネルに次のプロパティが表示されます。

プロパティ	説明
全般	コマンドタスクの名前が表示されます。
入力フィールド	ランタイム環境の値、スクリプトファイル名、入力引数、およびコマンドタスク用に設定した作業ディレクトリが表示されます。

プロパティ	説明
出力フィールド	実行 ID の値、開始および終了時刻、終了コード、実行ステータス、および標準エラーが表示されます。出力フィールドは、コマンドタスクが正常に実行される場合のみ表示されます。
フォールト	エラーコードおよびエラーの理由が表示されます。

コマンドタスクステップに複数のスクリプトファイルが含まれる場合は、**【すべてのジョブ】**、**【実行中のジョブ】**、または **【マイジョブ】** ページから、タスクフローインスタンス内のすべてのスクリプトをコマンドタスクのサブタスクとして表示できます。スクリプトが失敗した場合は、ログファイルをダウンロードして、スクリプト失敗の理由を探ることもできます。

## File Watch タスクステッププロパティ

File Watch タスクステップのプロパティは、タスクフローの File Watch タスクの現在の実行に関する詳細を表示します。

File Watch タスクステップをクリックすると、**【プロパティ】** パネルに次の情報が表示されます。

プロパティ	説明
今回の実行	次の詳細を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ステータス。File Watch タスクのステータス。</li> <li>- 開始したユーザー。File Watch タスクを呼び出したタスクフローの名前。</li> </ul>
全般	File Watch タスクステップの名前を表示します。
File Watch タスク	File Watch タスクステップに含まれるファイルリスナの名前とタイプを表示します。このタイプは常に MI_FILE_LISTENER に設定されます。
入力フィールド	次の入力フィールドを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- タスクが完了するまで待ちます。File Watch タスクステップがファイルリスナの完了を待機するかどうかを示します。この値は常に true に設定されます。</li> <li>- 最大待機。File Watch タスクステップがファイルリスナの完了を待機する最大時間（秒単位）。この値は常に 604800 秒（7 日）に設定されます。</li> <li>- タスク名。ファイルリスナの名前。</li> <li>- GUID。ファイルリスナの一意的識別番号。</li> <li>- タスクタイプ。File Watch タスクステップに含まれるファイルリスナのタイプを示します。この値は常に MI_FILE_LISTENER に設定されます。</li> <li>- serviceProviderId。ファイルリスナのサービスプロバイダ ID。この値は常に filelistener に設定されます。</li> <li>- serviceProviderContextPath。ファイルリスナのサービスプロバイダコンテキストのパス。この値は常に filelistener/ に設定されます。</li> </ul>



プロパティ	説明
出力フィールド	<p>File Watch タスクステップが正常に完了した場合、次の出力フィールドが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- id。File Watch タスクステップ実行の ID。</li> <li>- monitorJobId。Monitor サービスの【ファイル転送ログ】タブでファイルリスナのステータスを確認するために使用できるジョブ ID。 monitorJobId をファイルリスナ名に追加して、Monitor サービスの【ファイル転送ログ】タブでインスタンス名を確認できるようにします。 例えば、monitorJobId が 7500 で、ファイルリスナの名前が FL_Arrive の場合、Monitor サービスの【ファイル転送ログ】タブで検索する必要があるインスタンス名は FL_Arrive-7500 になります。</li> <li>- notificationTime。File Watch タスクステップが完了したときのタイムスタンプ。タイムスタンプには、日付と時刻が秒まで含まれます。</li> <li>- status。File Watch タスクのステータス。この値は常に【完了】に設定されます。</li> <li>- fileEvents。次の詳細を含めたファイルのリストを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- イベント ID。自動生成されたイベントの ID。</li> <li>- イベントのタイプ。ファイルイベントの種類を示します。次の値のいずれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ARRIVED（到着済み）</li> <li>- UPDATED（更新済み）</li> <li>- DELETED（削除済み）</li> </ul> </li> <li>- ファイル最終変更日時。ファイルが最後に変更されたときのタイムスタンプ。タイムスタンプには、日付と時刻が秒まで含まれます。</li> <li>- ファイル名。イベントの一部として到着、更新、または削除されたファイルの名前。</li> <li>- ファイルパス。ファイルの名前とファイルが存在するパス。</li> <li>- ファイルサイズ。ファイルのサイズ（KB 単位）。</li> </ul> </li> <li>- タスク ID。この値は常に空白です。</li> <li>- 実行 ID。このフィールドには monitorJobId フィールドと同じ値が含まれます。</li> </ul>
フォールト	<p>File Watch タスクに障害が発生した場合は、次のプロパティが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コード。障害がエラーであるか、または警告であるかを示します。</li> <li>- 理由。エラーまたは障害の原因。</li> <li>- 詳細。エラーまたは障害に関する詳細。</li> </ul>

File Watch タスクステップを監視するときは、次のルールとガイドラインを考慮してください。

- **【すべてのジョブ】** ページには、File Watch タスクがサブタスクとして表示されません。タスクフローに File Watch タスクステップが含まれている場合、処理された行数は常に **0** として表示されます。
- File Watch タスクに障害が発生し、**【エラー時】** プロパティが**タスクフローの一時停止**に設定されている場合、**【プロパティ】** パネルに情報は表示されません。

## 取り込みタスクステップのプロパティ

取り込みタスクステップのプロパティは、タスクフローの取り込みタスクの現在の実行に関する詳細を表示します。

取り込みタスクをクリックすると、**【プロパティ】** パネルに次の情報が表示されます。

プロパティ	説明
今回の実行	次の詳細を表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>- ステータス。ファイル取り込みタスクのステータス。</li><li>- 開始日。ファイル取り込みタスクの開始日時。</li><li>- 終了日。ファイル取り込みタスクが終了した、または一時停止された日時。</li><li>- 期間。ファイル取り込みタスクが完了または一時停止される前に実行された時間（秒単位）。</li><li>- 開始したユーザー。ファイル取り込みタスクを呼び出したタスクフローの名前。</li></ul>
全般	取り込みタスクステップの名前を表示します。
取り込みタスク	取り込みタスクステップに含まれている取り込みタスクの名前とタイプを表示します。 ファイル取り込みタスクの場合、このタイプは MI_TASK に設定されます。
入力フィールド	次の入力フィールドを表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>- タスクが完了するまで待ちます。取り込みタスクステップがファイル取り込みタスクの完了を待機するかどうかを示します。この値は常に true に設定されます。</li><li>- 最大待機。取り込みタスクステップがファイル取り込みタスクの完了を待機する最大時間（秒単位）。この値は常に 604800 秒（7 日）に設定されます。</li><li>- タスク名。ファイル取り込みタスクの名前。</li><li>- GUID。ファイル取り込みタスクの一意の識別番号。</li><li>- タスクタイプ。取り込みタスクのステップに含まれるタスクのタイプを示します。ファイル取り込みタスクの場合、この値は常に MI_TASK に設定されます。</li><li>- serviceProviderId。ファイル取り込みタスクのサービスプロバイダ ID。この値は常に filelistener に設定されます。</li><li>- serviceProviderContextPath。ファイル取り込みタスクのサービスプロバイダコンテキストのパス。この値は常に mitask/ に設定されます。</li></ul>

プロパティ	説明
出力フィールド	<p>取り込みタスクステップが正常に完了した場合、次の出力フィールドが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- endTime。ファイル取り込みタスクが完了した日時。</li> <li>- failedFiles。ファイル取り込みタスクの実行で失敗したファイルの数。</li> <li>- jobNumber。ファイル取り込みタスクの実行のID。</li> <li>- messageText。ジョブが正常に完了したかどうかを示します。この値は常に【ジョブが正常に完了しました】に設定されます。</li> <li>- startTime。ファイル取り込みタスクの開始日時。</li> <li>- status。取り込みタスクのステップが完了したかどうかを示します。この値は常に【成功】に設定されます。</li> <li>- successFiles。ファイル取り込みタスクで正常に処理されたファイルの数。</li> <li>- fileDetails。次の詳細を含むオブジェクトのリストを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 期間。ファイル取り込みタスクが完了する前に実行された時間（秒単位）。</li> <li>- 最終変更日時。ファイルが最後に変更された日時。</li> <li>- パス。ファイルの名前とファイルが存在するパス。</li> <li>- サイズ。ファイルのサイズ（KB 単位）。</li> <li>- ステータス。ファイル転送のステータスを示します。この値は常に【成功】に設定されます。</li> <li>- 転送方向。ファイルの転送方向を示します。次の値のいずれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- DOWNLOAD。ファイルがソースからダウンロードされます。</li> <li>- UPLOAD。ファイルがターゲットにアップロードされます。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
フォールト	<p>取り込みタスクに障害が発生した場合は、次のプロパティが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コード。障害がエラーであるか、または警告であるかを示します。</li> <li>- 理由。エラーまたは障害の原因。</li> </ul>

取り込みタスクのステップを監視するときは、次のルールとガイドラインを考慮してください。

- 【すべてのジョブ】 ページには、取り込みタスクがサブタスクとして表示されません。タスクフローに取り込みタスクステップが含まれている場合、処理された行数は常に **0** として表示されます。
- 取り込みタスクに障害が発生し、【エラー時】 プロパティが**タスクフローの一時停止**に設定されている場合、【プロパティ】 パネルに情報は表示されません。

## サブタスクフローステップのプロパティ

サブタスクフローステップのプロパティには、サブタスクフローの現在の実行に関する詳細が表示されます。

サブタスクフローステップをクリックすると、【プロパティ】 パネルに次の情報が表示されます。

プロパティ	説明
入力フィールド	設定した入力フィールドとそれに関連付けられた値を表示します。
フォールト	<p>サブタスクフローステップにフォールトが発生した場合は、次のプロパティが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コード。フォールトがエラーであるか、または警告であるかを示します。</li> <li>- 理由。エラーまたはフォールトの原因を示します。</li> <li>- 詳細。エラーまたはフォールトに関する詳細を示します。</li> </ul>
出力フィールド	サブタスクフローの出力フィールドと、関連する値を表示します。

## スローステップのプロパティ

スローステップのプロパティには、タスクフローまたはスローステップに関連付けられたステップの障害の詳細が表示されます。

スローステップより前のステップまたはスローステップが関連付けられたステップに障害が発生した場合、**【プロパティ】** パネルの **【フォルト】** フィールドに以下の詳細が表示されます。

- **コード**。障害コードを表示します。
- **理由**。障害の原因を表示します。
- **詳細**。障害の詳細を表示します。

## 終了ステッププロパティ

終了ステッププロパティには、タスクフローの現在の実行に関する詳細が表示されます。

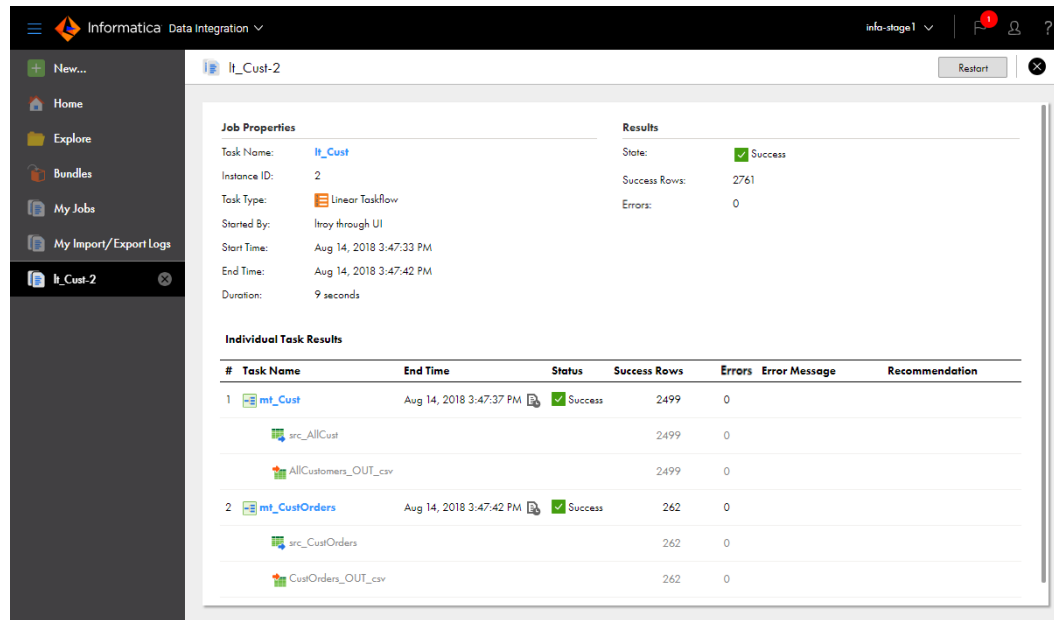
終了ステップをクリックすると、**【プロパティ】** パネルに次の情報が表示されます。

プロパティ	説明
フォールト	終了ステップにフォールトが発生した場合は、次のプロパティが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>- コード。フォールトコードを表示します。サブタスクフローステップに関連付けられたサブタスクフローが失敗したか実行されなかった場合、コードは <code>faultDueToNotRunOrFaulted</code> に設定されます。</li><li>- 理由。エラーまたはフォールトの原因を示します。</li><li>- ソース。フォールトが発生したステップのパスを表示します</li></ul>

# リニアタスクフローの監視

リニアタスクフローインスタンスに関する詳細情報を表示するには、[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、または [マイジョブ] ページでジョブ名をクリックします。

次の図は、リニアタスクフローの [ジョブの詳細] を示しています。



各パネルにさまざまな詳細が表示されます。

## ジョブのプロパティ

各リニアタスクフローインスタンスのジョブのプロパティでは、インスタンスの全般プロパティが表示されます。

ジョブのプロパティには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
タスク名	リニアタスクフローの名前。
インスタンス ID	リニアタスクフローのインスタンス番号。例えば、タスクフローの 3 番目の実行を見ている場合、このフィールドには「3」と表示されます。
タスクの種類	タスクタイプ、つまりリニアタスクフロー。
開始したユーザー	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
期間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。

## ジョブの結果

各リニアタスクフローインスタンスのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ステータス	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul>
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー	ターゲットに書き込まれなかった行の合計数。

## 個々のタスクの結果

個々のタスクの結果では、リニアタスクフローインスタンスの個々のサブタスクの結果が表示されます。

各サブタスクに対して、ジョブ詳細には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
タスク名	サブタスクの名前。
終了時刻	サブタスクが完了または停止した日時。
ステータス	サブタスクのステータス。サブタスクのステータスは、以下のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- [キューに格納]。ジョブは Secure Agent でキューに追加されますが、開始されることはありません。</li><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 停止。親ジョブは実行を停止しているため、サブタスクを開始できません。</li><li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li><li>- 強制終了: ジョブは強制終了されました。一括取り込みサブタスクに適用されます。</li></ul>
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。 サブタスクの各ソースとターゲットに対して、このフィールドはソースからの読み取りに成功した行の数とターゲットへの書き込みに成功した行の数を表示します。
エラー	ソースエラー行、ターゲットエラー行、およびトランスフォーメーションエラーの総数。 サブタスクの各ソースとターゲットに対して、このフィールドはソースからの読み取りが行われなかった行の数とターゲットへの書き込みが行われなかった行の数を表示します。
エラーメッセージ	ターゲットへの書き込み中に検出されたエラー（ある場合）。
推奨事項	エラーに対する推奨アクション。

## マッピングとタスクインスタンスの停止と再起動

[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ] または [マイジョブ] ページで、マッピングとタスクインスタンスを停止および再起動できます。[すべてのジョブ] または [マイジョブ] ページまたはジョブ詳細からマッピングまたはタスクインスタンスを再起動します。

次のアクションを実行できます。

**マッピングインスタンスまたはタスクインスタンスを停止します。**

開始中、実行中、またはキューに格納されているマッピングインスタンスまたはタスクインスタンスを停止できます。

次のいずれかの方法を使用して、ジョブを停止します。

- クリーンな停止。DTM プロセスを正常にシャットダウンします。
- 停止。DTM プロセスを強制的に停止します。

マッピングまたはタスクインスタンスを停止するには、[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、または [マイジョブ] ページを開きます。次に、停止するジョブが含まれている行で [クリーンな停止] アイコン、または [停止] アイコンをクリックします。

[クリーンな停止] をクリックすると、ジョブステータスが [停止中] に変わります。ジョブの停止に時間がかかりすぎる場合は、[停止] をクリックして、ジョブを停止します。

**マッピングインスタンスまたはタスクインスタンスを再起動します。**

正常に実行された、または実行に失敗したマッピングインスタンスまたはタスクインスタンスを再起動できます。

[すべてのジョブ] または [マイジョブ] ページでマッピングまたはタスクインスタンスを再起動するには、再起動するジョブが含まれている行の [再起動] アイコンをクリックします。

ジョブの詳細でマッピングまたはタスクインスタンスを再起動するには、ページの上にある [再起動] をクリックします。

## タスクフローインスタンスの停止、一時停止、再開、再起動

[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、[マイジョブ] ページで、タスクフローインスタンスを停止、中断、再開、再起動することができます。

次のアクションを実行できます。

**タスクフローインスタンスの停止。**

中断中または実行中の状態のタスクフローインスタンスを停止できます。

タスクフローインスタンスを停止するには、[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、または [マイジョブ] ページを開き、タスクフローインスタンスを含む行で [停止] アイコンをクリックします。

**タスクフローインスタンスの中断。**

タスクフローインスタンスを中断するには、[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、または [マイジョブ] ページを開き、タスクフローインスタンスを含む行で [中断] アイコンをクリックします。

**フォールトが発生したステップからタスクフローインスタンスを再開します。**

フォールトが発生したステップから中断されたタスクフローインスタンスを再開するには、**【すべてのジョブ】**、**【実行中のジョブ】**、または **【マイジョブ】** ページを開いてから、タスクフローインスタンスをクリックします。**【タスクフローステータス】** ページで、**【フォールトが発生したステップから再開】** アイコンをクリックします。タスクフローは、フォールトが発生したステップから再開します。

データ統合タスクのフォールトによって中断されたタスクフローを再開すると、タスクは再実行されます。データタスクフォールトでのタスクフローの中断については、データ統合サービスのヘルプの「**タスクフロー**」を参照してください。

**フォールトが発生したステップをスキップし、次のステップからタスクフローインスタンスを再開します。**

フォールトが発生したステップをスキップし、中断されたタスクフローインスタンスを次のステップから再開するには、**【すべてのジョブ】**、**【実行中のジョブ】**、または **【マイジョブ】** ページを開いてから、タスクフローインスタンスをクリックします。**【タスクフローステータス】** ページで、**【フォールトが発生したステップをスキップして再開】** アイコンをクリックします。タスクフローは、フォールトが発生したステップをスキップし、次のステップから再開します。他のすべてのステップが正常に実行されると、タスクフローのステータスは成功に設定されます。

**タスクフローインスタンスを再起動します。**

管理者、デザイナー、またはオペレータのロールを持つユーザーは、Monitor とデータ統合からタスクフローを再起動できます。

次の条件を満たすタスクフローを再起動できます。

- タスクフローは少なくとも 1 回実行されました。
- タスクフローは次のいずれかの状態です。
  - 成功
  - 失敗
  - 一時停止中

**【バインディング】** プロパティが **【イベント】** に設定されているタスクフローインスタンスを再起動することもできます。

タスクフローインスタンスを再起動するには、**【すべてのジョブ】**、**【実行中のジョブ】**、または **【マイジョブ】** ページを開き、タスクフローインスタンスを含む行で **【再起動】** アイコンをクリックします。

## タスクフローの実行ステップからのインスタンス

Monitor の **【すべてのジョブ】** ページまたはデータ統合の **【マイジョブ】** ページで、特定のステップからタスクフローインスタンスを実行できます。

次の条件を満たすタスクフローを実行できます。

- タスクフローが少なくとも 1 回実行された。
- タスクフローが次のいずれかの状態である。
  - 成功
  - 失敗
  - 警告

特定のステップからタスクフローインスタンスを実行するときに、後続のステップが以前に実行されたステップからの入力を使用する場合、値は NULL になります。この問題を回避するには、ステップからタスクフロー



インスタンスを実行する前に、入力変数と一時変数を更新します。変数の更新の詳細については、「[ステップからタスクフローインスタンスを実行するための変数の更新](#)」(ページ 58)を参照してください。

次の図は、選択したデータタスクステップからタスクフローインスタンスを実行するための【**ここから実行**】アイコンを示しています。

The screenshot displays the 'TaskflowParallelPCTasks-714788616458686464' interface. On the left, a 'Log' table shows the execution progress of various steps. The main area features a 'Design' view with a task flow diagram. The diagram starts with a 'Start' node, followed by a 'Parallel Paths' node that branches into three parallel tasks: 'Data Task 1', 'Data Task 2', and 'Data Task 3'. These tasks converge at a 'Merge' node, which then leads to an 'End' node. All tasks and the flow are marked with green checkmarks, indicating successful completion. Below the design view, the 'Data Task 1 Properties' panel is open, showing details for the current run, including status, dates, duration, and input/output fields. A red box highlights the 'Run from here' button in the top right corner of the properties panel.

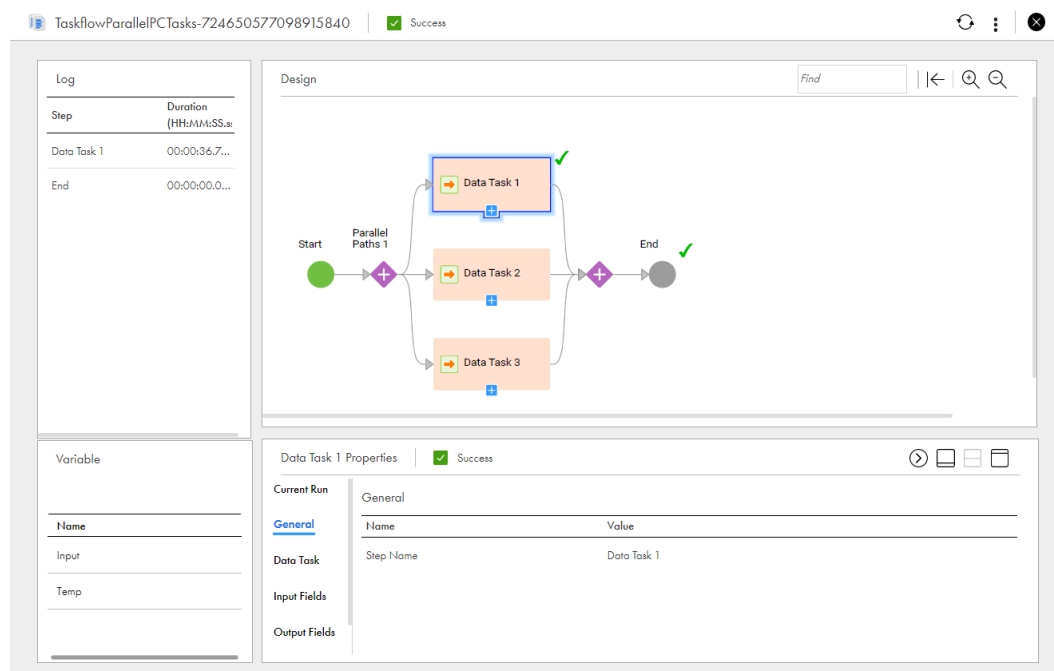
Step	Duration (HH:MM:SS)
Start	00:00:00
Parallel Paths 1	00:00:02
Data Task 1	00:00:11
Data Task 2	00:00:02
Data Task 3	00:00:11
End	00:00:00

Variable	Name	Input	Temp

Current Run	Status	1 (Success)
General	Error:	No errors encountered.
	Start Date:	2022/5/27 06:34:47.000 AM
	End Date:	2022/5/27 06:34:58.000 AM
Data Task	Duration (HH:MM:SS.sss):	00:00:11.000
	Started By:	Taskflow: TaskflowParallelPCTasks
Input Fields	Username:	autouser_pod1
Output Fields		

ステップからタスクフローインスタンスを実行するには、Monitor の【**すべてのジョブ**】ページまたはデータ統合の【**マイジョブ**】ページを開き、タスクフローインスタンスをクリックします。タスクフローステータスページで、タスクフローを実行するステップを選択し、【**ここから実行**】アイコンをクリックします。

次の図は、データタスク 1 から実行された後のタスクフローインスタンスを示しています。



**注:** 特定のステップからタスクフローを実行し、タスクフローに親タスクフローがある場合、親タスクフローにはタスクフローのステータスが通知されません。正常に実行されたステップからタスクフローを実行できます。データタスクステップ、取り込みタスクステップ、コマンドタスクステップなどの失敗したタスクからタスクフローを実行することもできますが、そのタスクのエラー処理がエラー時に無視するように設定されている場合に限りです。開始、終了およびジャンプステップからタスクフローを実行することはできません。

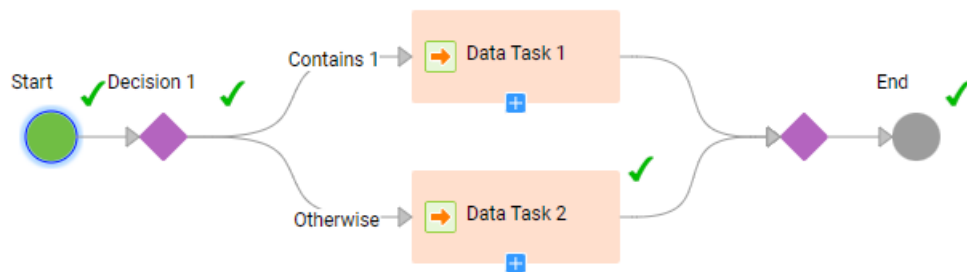
## ステップからタスクフローインスタンスを実行するための変数の更新

【変数】タブを使用して、入力変数と一時変数またはフィールド、およびそれらに関連付けられた値を更新し、特定のステップから複雑なタスクフローインスタンスを実行します。

【変数】タブには、タスクフローの開始ステップで設定されたすべての入力変数とフィールドが含まれています。また、タスクフローの実行に使用されたデータタスクステップ、取り込みタスクステップ、コマンドタスクステップなどのタスクを含む一時変数とフィールドも含まれます。

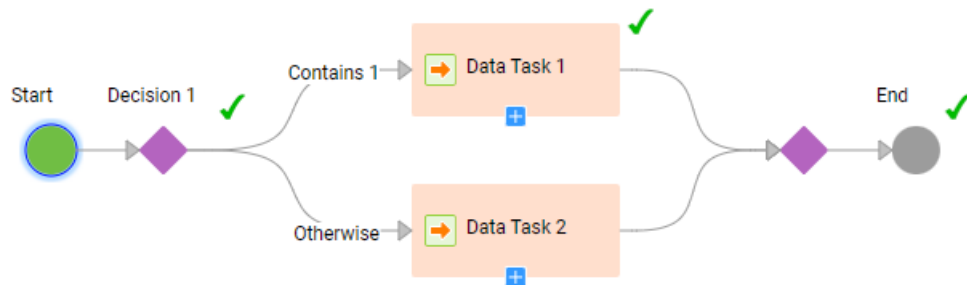
入力変数と一時変数またはフィールド、およびそれらに関連付けられた値を更新するには、Monitorの【すべてのジョブ】および【実行中のジョブ】ページ、またはデータ統合の【マイジョブ】ページを開き、タスクフローインスタンスをクリックします。[タスクフローステータス] ページで、入力変数または一時変数の横にある【編集】アイコンをクリックします。タスクフローで渡された値に基づいて、変数はJSONまたはXML形式で【変数入力】と【変数一時】ダイアログボックスにそれぞれ表示されます。変数を更新し、【更新】をクリックします。

一度も実行されていないタスクを実行することはできません。例えば、次の図に示すように、データタスク1からタスクフローインスタンスを実行することはできません。



この場合、ディシジョン 1 ステップで使用される変数値を更新し、その後でディシジョン 1 ステップから再度実行する必要があります。

次の図は、ディシジョン 1 ステップから実行された後のタスクフローインスタンスを示しています。



入力フィールドと一時フィールドの詳細については、タスクフローのドキュメントを参照してください。

## 第 3 章

# データ統合ジョブログファイル

データ統合は、実行中、失敗、および完了したジョブの監視に役立つログファイルを生成します。一部のログファイルには、[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、[マイジョブ] ページ、およびジョブの詳細からアクセスできます。

データ統合は、次のタイプのログファイルを生成します。

### エラー行ファイル

データ統合では、同期タスクおよびマスキングタスクインスタンスのエラー行ファイルが生成されます。エラー行ファイルには、失敗した行と各行の失敗の理由が表示されます。エラー行ファイルには、ソースエラー行の最初の 50 個のフィールドが含まれます。

例えば、タスクで同じ外部 ID の 2 つのレコードを Salesforce ターゲットに挿入しようすると、エラー行ファイルに次のエラーが表示されます。

```
Error loading into target [HouseholdProduct__c] : Error received from salesforce.com.Fields  
[ExternalId__c].Status code [DUPLICATE_VALUE].Message [Duplicate external id specified: 1.0].
```

### セッションログファイル

データ統合では、各ジョブのセッションログファイルが生成されます。ジョブが失敗した場合は、ジョブのトラブルシューティングに役立つログファイルをダウンロードします。

### 拒否ファイル

データ統合は、エラー行を含むマッピングまたはマッピングタスクで、フラットファイルと Oracle ターゲットごとに拒否ファイルを作成します。拒否ファイルには、拒否されたそれぞれのターゲット行とその行が拒否された理由に関する情報が含まれます。データ統合は、拒否ファイルを次のデフォルトフォルダに保存します。

```
$PMBadFileDir/<task federated ID>
```

### 実行プラン

データ統合は、詳細クラスタが詳細モードのマッピングでデータロジックを実行するために使用する Scala コードを示す実行プランを生成します。マッピングでスカラコードを使用して問題をデバッグできます。

### エージェントジョブログ

データ統合は、Secure Agent が詳細モードのマッピングの Spark 実行ワークフローを詳細クラスタにプッシュして処理するために使用するロジックを示すエージェントジョブログを生成します。

### Spark ドライバおよび Spark エグゼキュータログ

詳細クラスタは、Spark ドライバと Spark エグゼキュータログを生成して、クラスタがジョブの実行に使用するロジックを表示します。

### 初期化スクリプトログ

初期化スクリプトが詳細クラスタで実行される場合、クラスタはスクリプト出力を表示する init スクリプトログを生成します。

### cloud-init ログ

初期化スクリプトが詳細クラスタで実行される場合、クラスタは、クラスタノードがどのように初期化およびブートストラップされたかに関する情報を含む cloud-init ログを生成します。cloud-init ログを使用して、初期化スクリプトの実行に失敗したかどうかを確認できます。

**注:** cloud-init ログは、AWS 環境でのみ表示できます。

### Spark イベントログ

詳細クラスタは、クラスタで実行されるタスクのランタイムイベントをストリーミングする Spark イベントログを生成します。

## エラー行ファイルの表示

次のいずれかの方法を使用して、エラー行ファイルを表示できます。

### エラー行ファイルのプレビュー

【すべてのジョブ】、【実行中のジョブ】、または【マイジョブ】 ページまたはジョブの詳細からエラー行ファイルをプレビューします。エラー行ファイルをプレビューする時、データ統合は、最初の 25 行のエラー行と、最初の 50 列を含む CSV ファイルを生成します。

エラー行ファイルをプレビューするには、ユーザーロールにデータ統合の「CDI エラーログへのアクセス」機能特権が必要です。

モニタで【すべてのジョブ】または【実行中のジョブ】を選択するか、データ統合で【マイジョブ】を選択します。

次のいずれかの手順に従います。

- タスクインスタンスを含む行の【エラー行ファイルのプレビュー】アイコンをクリックします。
- ジョブ名をクリックしてジョブの詳細を開き、[結果] エリアで【エラー行ファイルのプレビュー】をクリックします。

### エラー行ファイルの表示

ジョブのエラー行ファイル全体を表示するには、テキストエディタでファイルを開きます。エラー行ファイルにソースからの Unicode データが含まれている場合、Unicode 文字を表示できるアプリケーションでエラー行ファイルを開きます。

エラー行ファイルは次のディレクトリに書き込まれます。

<Secure Agent のインストールディレクトリ>/apps/Data\_Integration\_Server/data/error

エラー行ファイルには、ジョブの開始時刻を示すタイムスタンプが付いています。正しいエラー行ファイルを特定するには、ジョブの開始時刻を使用します。

# セッションログファイルのダウンロード

実行中、完了、または失敗したジョブのログファイルをダウンロード出来ます。**[すべてのジョブ]**、**[実行中のジョブ]**、または**[マイジョブ]**ページまたはジョブの詳細からログファイルをダウンロードします。

1. モニタで **[すべてのジョブ]** または**[実行中のジョブ]**を選択するか、データ統合で **[マイジョブ]** を選択します。
2. 次のいずれかの手順に従います。
  - ジョブを含む行の **[ログのダウンロード]** アイコンをクリックします。
  - ジョブ名をクリックしてジョブの詳細を開き、**[結果]**エリアで**[セッションログのダウンロード]**をクリックします。

## 詳細クラスタサブタスクのログファイルの表示

詳細クラスタで実行されるサブタスクを監視する際は、実行プラン、セッションログ、エーエージェントジョブログ、Spark ドライバログ、および Spark エグゼキュータログを表示できます。クラスタで初期化スクリプトが実行されている場合は、初期化スクリプトログと cloud-init ログを表示することもできます。

ジョブの特定のログファイルにアクセスするには、Monitor またはクラウドプラットフォームからログのダウンロードが必要になることがあります。

次の表に、各ログを Monitor、クラウドプラットフォームまたはその両方からダウンロードできるかどうかを示します。

ログ	ダウンロードの場所
実行プラン	Monitor
セッションログ	Monitor
エーエージェントジョブログ	Monitor、クラウドプラットフォーム <sup>1</sup>
Spark ドライバログ	Monitor、クラウドプラットフォーム <sup>1</sup>
Spark エグゼキュータログ	Monitor <sup>2</sup> 、クラウドプラットフォーム <sup>1</sup>
初期化スクリプトログ	クラウドプラットフォーム
Cloud-init ログ	クラウドプラットフォーム
Spark イベントログ	クラウドプラットフォーム
<p>1 サーバーレスランタイム環境を使用している場合、クラウドプラットフォームからのダウンロードは利用できません。</p> <p>2 サーバーレスランタイム環境を使用していない場合、Monitor からダウンロードは利用できません。表示されたログの場所を使用して、クラウドプラットフォームからログをダウンロードします。</p>	

### 実行計画とセッションログのダウンロード

Monitor ではジョブの結果から実行プランおよびセッションログをダウンロードできます。

## 詳細ログのダウンロード

Monitor の Spark タスクの詳細でエージェントジョブログと Spark ドライバログをダウンロードできます。詳細ログの場所をコピーして、クラウドプラットフォーム上の場所に移動することもできます。Spark エグゼキュータログをダウンロードするには、詳細ログの場所に移動する必要があります。

サーバーレスランタイム環境を使用している場合は、Monitor から詳細ログをダウンロードできます。**[ダウンロード]** オプションは、ジョブが完了すると使用できるようになります。

## 初期化スクリプトと cloud-init ログのダウンロード

初期化スクリプトログまたは cloud-init ログをダウンロードするには、クラウドプラットフォームの次の場所に移動します。

<Log location>/ClusterLogs/<cluster ID>/<timestamp>/<cluster node instance ID>/

ログの場所は、詳細設定で指定されたログファイルの場所です。

**注:** cloud-init ログは、AWS 環境でのみダウンロードできます。

## Spark イベントログのダウンロード

Spark イベントログをダウンロードするには、次の場所へ移動します。

<Log location>/eventLogs/atscaleagent

ログの場所は、詳細設定で指定されたログファイルの場所です。

ジョブが開始できない場合は、イベントログファイルに次のようなテキストが表示されます。

```
{"Event": "SparkListenerLogStart", "Spark Version": "3.0.0"}
```

ジョブの失敗の詳細については、Spark ドライバログを参照してください。

## ルールおよびガイドライン

ログファイルを表示するときは、次のルールとガイドラインを参照してください。

- ジョブの実行中に Spark ドライバおよびエージェントジョブログをダウンロードする場合、ファイルはジョブの現在の状態を反映しています。
- マッピング名が数字または空白で始まる、詳細クラスタで実行されるサブタスクのログファイルを表示する場合、ログファイルではマッピング名にアンダースコアがプレフィックスとして付きます。

例えば、ログファイルで 123Mapping という名前のマッピングを参照する場合、ログファイルでは名前 \_123Mapping が使用されます。

## 第 4 章

# Azure のデータアクセラレータジョブの監視

実行中または実行されたジョブを監視出来ます。ジョブは、マッピング、タスク、またはタスクフローのインスタンスです。Azure のデータ同期タスクを開始するたびに、Azure のデータアクセラレータはそれを実行するジョブを作成します。

次のページで Azure のデータ同期ジョブを監視出来ます。

### 【すべてのジョブ】 ページ

実行中または組織内で実行されているすべてのジョブを一覧表示します。このページでジョブを停止および再起動出来ます。Azure のデータ同期ジョブのサブタスクを開く場合、ログファイルをダウンロード出来ます。

【すべてのジョブ】 ページを開くには、モニタで **【すべてのジョブ】** を選択します。

### 【実行中のジョブ】 ページ

実行中または過去 5 分間に完了したすべてのジョブが一覧表示されます。このページでジョブを停止および再起動出来ます。Azure のデータ同期ジョブのサブタスクを開く場合、ログファイルをダウンロード出来ます。

【実行中のジョブ】 ページを開くには、モニタで **【実行中のジョブ】** を選択します。

### 【マイジョブ】 ページ

現在ログインしているユーザーによって開始されたすべてのジョブを一覧表示します。このページでジョブを停止および再起動出来ます。Azure のデータ同期ジョブのサブタスクを開く場合、ログファイルをダウンロード出来ます。

【マイジョブ】 ページを開くには、Azure のデータアクセラレータで **【マイジョブ】** を選択します。

### ジョブの詳細ページ

特定のジョブに関する詳細情報を表示します。完了したジョブまたは失敗したジョブの詳細を表示出来ます。Azure のデータ同期ジョブの詳細を表示した際、ジョブを再起動し、ログファイルをダウンロード出来ます。

Azure のデータ同期ジョブの詳細を開くには、**【すべてのジョブ】**、**【実行中のジョブ】** または **【マイジョブ】** ページのジョブのサブタスクを開いてから、ジョブ名をクリックします。



## ジョブのプロパティ

【すべてのジョブ】、【実行中のジョブ】、【マイジョブ】 ページは名前、開始時刻、ステータスなどのジョブのプロパティを表示します。カラムの見出し領域を右クリックすると、特定のプロパティの表示と非表示を切り替える事ができます。

各 Azure のデータ同期ジョブの名前は<task name>-<instance number>のように付けられます。例えば、Azure のデータ同期タスク ads\_LoadOrders を最初に実行する場合、ジョブは ads\_LoadOrders-1 という名前になります。2 回目にタスクを実行する場合、ジョブは ads\_LoadOrders-2 という名前になります。

デフォルトでは、各 Azure のデータ同期ジョブに対して次のプロパティが表示されます。

プロパティ	説明
インスタンス名	ジョブの名前を次の形式で指定します。 <task name>-<instance number>
場所	タスクが存在するプロジェクトおよびフォルダパス。
サブタスク	サブタスクの数。各 Azure のデータ同期ジョブには、1 つのサブタスク（マッピング）が含まれます。サブタスクビューを開くには、このカラムのエントリをクリックします。 サブタスクビューを閉じるには、ページの上部にあるメニューから【データ統合】をクリックします。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。実行中のジョブには適用されません。
処理された行数	ジョブがこれまでに処理した行の合計数。この値には、ターゲットに正常に書き込まれた行の数、ならびにソースおよびターゲットのエラー行の数が含まれます。
ステータス	ジョブステータス。Azure のデータ同期ジョブは、次のいずれかのステータスになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul> <b>ヒント:</b> ジョブのステータスが失敗の場合、ジョブのステータスの上にカーソルを置くと、エラーメッセージを表示およびコピーできます。

カラムの見出し領域を右クリックして、次の追加のプロパティを表示する事ができます。

プロパティ	説明
アセット名	ジョブに関連付けられているアセットの名前。Azure のデータ同期ジョブの場合、このカラムには関連する Azure のデータ同期タスクの名前が表示されます。サブタスクビューでは、このカラムには基になるマッピングの名前が表示されます。
アセットタイプ	ジョブに関連付けられているアセットのタイプ。Azure のデータ同期タスクジョブの場合、このカラムには「Azure データ同期タスク」と表示されます。サブタスクビューでは、このカラムには「マッピング」と表示されます。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
期間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。

プロパティ	説明
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
失敗した行	ターゲットに書き込まれなかった行の合計数。
開始したユーザー	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

## Azure のデータ同期ジョブの詳細の表示

特定の Azure のデータ同期ジョブの詳細を表示するには、[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、または [マイジョブ] ページを開き、ジョブを含む行のサブタスクの数をクリックします。次に、サブタスクビューでインスタンス名をクリックします。

ジョブの詳細には、Azure のデータ同期ジョブの次のプロパティが表示されます。

プロパティ	説明
タスク名	Azure のデータ同期タスクに基づくマッピングの名前。
インスタンス ID	マッピングが実行した回数。
タスクタイプ	タスクのタイプ。Azure のデータ同期ジョブの場合、このフィールドには「マッピング」が表示されます。これは、Azure のデータ同期ジョブが、基盤となるマッピングに基づくためです。
開始したユーザー	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
Secure Agent	ジョブを実行した Secure Agent。
コンテキスト名	ジョブと関連する Azure のデータ同期タスクの名前。
ステータス	ジョブステータス。Azure のデータ同期ジョブは、次のいずれかのステータスになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 起動。ジョブが開始されました。</li> <li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li> <li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li> <li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li> <li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li> </ul>

プロパティ	説明
成功した行	ターゲットに正常に書き込まれた行の数。
エラー	ターゲットに書き込まれなかった行の合計数。
セッションログ	<p>セッションログファイルをダウンロードできます。</p> <p>デフォルトでは、Azure のデータアクセラレータは、10 回の実行分のセッションログを格納した後、最新の実行でログを上書きします。早期の実行のセッションログが必要な場合は、セッションログファイルを保持するディレクトリのバックアップを取ります。</p> <p>セッションログファイルは、次のディレクトリに書き込まれます。</p> <p>&lt;Secure Agent installation directory&gt;/apps/Data_Integration_Server/logs</p>
エラーメッセージ	ジョブが失敗した場合の、ジョブに関連付けられたエラーメッセージ。
個々のソース/ターゲットの結果	Azure のデータ同期タスクのソースおよびターゲットの名前、成功した行数、エラー行数。ソースまたはターゲットにエラーがある場合、この領域にもエラーメッセージと推奨アクションが表示されます。
ジョブペイロード	基盤となるマッピングおよび関連するマッピングタスクを実行するのに使用されたランタイムパラメータが表示されます。ジョブのトラブルシューティングに使用されます。

## Azure のデータ同期ジョブの停止と再起動

Azure のデータ同期ジョブを停止および再起動出来ます。【すべてのジョブ】、【実行中のジョブ】または【マイジョブ】 ページで、ジョブを停止します。【すべてのジョブ】 または 【マイジョブ】 ページまたはジョブ詳細からジョブを再起動します。

次のアクションを実行出来ます。

### ジョブを停止します。

開始中、実行中、またはキューに格納されている Azure のデータ同期ジョブを停止出来ます。

ジョブを停止するには、【すべてのジョブ】、【実行中のジョブ】 または 【マイジョブ】 ページを開きます。次に、停止するジョブが含まれている行で **【停止】** アイコンをクリックします。

### ジョブを再起動します。

正常に実行された、または実行に失敗した Azure のデータ同期ジョブを再起動出来ます。

【すべてのジョブ】 または 【マイジョブ】 ページでジョブを再起動するには、再起動するジョブが含まれている行の **【再起動】** アイコンをクリックします。

ジョブの詳細でジョブを再起動するには、ページの上部にある **【再起動】** をクリックします。

# ログファイルのダウンロード

完了または失敗した Azure のデータ同期ジョブのログファイルをダウンロード出来ます。[すべてのジョブ]、[実行中のジョブ]、または [マイジョブ] ページのサブタスクビューまたはジョブの詳細からログファイルをダウンロードします。

1. モニタで [すべてのジョブ] または [実行中のジョブ] を選択するか、Azure のデータアクセラレータで [マイジョブ] を選択します。
2. サブタスクビューを開くには、[サブタスク] 列でサブタスクの数をクリックします。
3. 次のいずれかの手順に従います。
  - ジョブを含む行の [ログのダウンロード] アイコンをクリックします。
  - ジョブ名をクリックしてジョブの詳細を開き、[結果] エリアで [セッションログのダウンロード] をクリックします。

## 第 5 章

# データプロファイリングジョブの監視

実行中または実行されたジョブを監視できます。ジョブとはタスクのインスタンスのことです。データプロファイリングタスクを実行するたびに、データプロファイリングがジョブを作成して実行します。

次のページでデータプロファイリングジョブを監視できます。

### 【すべてのジョブ】 ページ

実行中または組織内で実行されているすべてのジョブを一覧表示します。このページでジョブを停止および再起動できます。データプロファイリングジョブのサブタスクを開くと、サブタスクの詳細を表示できます。

【すべてのジョブ】 ページを開くには、モニタで **【すべてのジョブ】** を選択します。

### 【実行中のジョブ】 ページ

実行中または過去 5 分間に完了したすべてのジョブが一覧表示されます。このページでジョブを停止および再起動できます。データプロファイリングジョブのサブタスクを開くと、サブタスクの詳細を表示できます。

【実行中のジョブ】 ページを開くには、モニタで **【実行中のジョブ】** を選択します。

### 【マイジョブ】 ページ

現在ログインしているユーザーによって開始されたすべてのジョブを一覧表示します。このページでジョブを停止および再起動できます。データプロファイリングジョブのサブタスクを開くと、サブタスクの詳細を表示できます。

【マイジョブ】 ページを開くには、データプロファイリングで **【マイジョブ】** を選択します。

## ジョブのプロパティ

【すべてのジョブ】、【実行中のジョブ】、【マイジョブ】 ページは名前、開始時刻、ステータスなどのジョブのプロパティを表示します。カラムの見出し領域を右クリックすると、特定のプロパティの表示と非表示を切り替えることができます。

デフォルトでは、各データプロファイリングジョブに対して次のプロパティが表示されます。

プロパティ	説明
インスタンス名	ジョブの名前。
場所	タスクが存在するプロジェクトおよびフォルダパス。
サブタスク	ジョブに対して作成されたサブタスク数を表示します。ジョブのプロパティを表示するには、このカラムのエントリをクリックします。 サブタスクビューを閉じるには、ページの上部にあるメニューから「データ統合」をクリックします。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。実行中のジョブには適用されません。
処理された行数	ジョブによって処理されたソース行数。
ステータス	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 起動。ジョブが開始されました。</li><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 警告。ジョブがエラーで完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li></ul> ジョブが実行中ステータスのとき、[停止] アイコンが「ステータス」プロパティに表示されます。アイコンをクリックすると、ジョブが停止します。

カラムの見出し領域を右クリックして、次の追加のプロパティを表示する事ができます。

プロパティ	説明
アセット名	データプロファイリングタスクの名前。
アセットタイプ	ジョブに関連付けられているアセットのタイプ。データプロファイリングタスクジョブの場合、このカラムには「データプロファイリングタスク」と表示されます。
ランタイム環境	ジョブが実行されたランタイム環境。
期間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
成功した行	ジョブによって処理が成功したソース行数。
失敗した行	ジョブで失敗したソース行数。

プロパティ	説明
開始したユーザー	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

インスタンス名をクリックすると、データプロファイリングジョブのジョブの詳細が表示されます。ジョブの詳細には、インスタンス名、アセット名、アセットタイプ、開始したユーザー、開始時刻、終了時刻、継続時間、状態、およびエラーメッセージが含まれます。

## サブタスクタイプ

データプロファイリングタスクを実行すると、プロファイル実行に対してジョブインスタンスが作成されます。データプロファイリングは、プロファイルの実行に対して選択したオプションに基づいてサブタスクを作成します。

ジョブのサブタスクを表示するには、**[サブタスク]** カラムのサブタスクリンクをクリックします。ジョブに作成されているサブタスクが表示されます。

データプロファイリングは、プロファイル実行に対して選択したプロファイルオプションに基づいて次のサブタスクを作成します。

サブタスク名	説明
ソース行数のフェッチ	プロファイル実行の行数をフェッチします。 このサブタスクは、プロファイル実行につき 1 回のみ作成されます。
データプロファイリングマッピングの生成	プロファイル実行に対して選択される詳細オプションに基づいて統計を収集します。 このサブタスクは、プロファイル実行につき 1 回のみ作成されます。
s_profiling	プロファイルを実行し、結果を安全で暗号化されたステージング領域に保存します。このサブタスクは、データプロファイリングタスクの詳細オプションに基づいて複数回作成されます。詳細オプションについては、「データプロファイリング」を参照してください。 ステージング領域とは、Informatica Intelligent Cloud Services リポジトリ内の一時的な場所です。
ステージング領域からメトリックストアへのデータロード	ステージング領域からメトリックストアにデータをロードします。このサブタスクは、プロファイル実行につき 1 回のみ作成されます。 メトリックストアは、Informatica Intelligent Cloud Services リポジトリ内にある、暗号化されたプロファイル結果が格納される場所です。プロファイル実行番号を選択して結果を表示すると、リポジトリからプロファイル結果が取得されます。

各サブタスクの結果を表示するには、**[インスタンス名]** カラムのサブタスクリンクをクリックします。サブタスクの詳細には、インスタンス名、アセット名、アセットタイプ、開始したユーザー、開始時刻、終了時刻、継続時間、状態、およびエラーメッセージが含まれます。s\_profiling サブタスクでは、処理された行数、成功した行、エラー行、セッションログなど追加の詳細が表示されます。**[セッションログのダウンロード]** をクリックすると、セッションログファイルがダウンロードされます。

データプロファイリング、モニタ、オペレーションインサイトで次のサブタスクのランタイム環境と Secure Agent を表示できます。

- ソース行数のフェッチ
- s\_profiling
- ドリルダウン
- クエリ

**注:** [ランタイム環境] フィールドに、Secure Agent グループの名前が表示されます。

プロファイルマッピングジョブのセッションログファイルで、Secure Agent の次の詳細を表示できます。

- タスク名。プロファイリングタスクの名前。
- エージェントグループ ID。Secure Agent グループの ID。
- エージェントグループ名。Secure Agent グループの名前。
- エージェント ID。Secure Agent の ID。
- エージェント名。Secure Agent の名前。

## データプロファイリングジョブの停止と再起動

データプロファイリングジョブを停止および再起動できます。**[すべてのジョブ]**、**[実行中のジョブ]** または **[マイジョブ]** ページで、ジョブを停止します。**[すべてのジョブ]** または **[マイジョブ]** ページまたはジョブ詳細からジョブを再起動します。

次のアクションを実行できます。

### ジョブを停止します。

実行中またはキューに格納されたデータプロファイリングジョブを停止できます。

ジョブを停止するには、**[すべてのジョブ]**、**[実行中のジョブ]** または **[マイジョブ]** ページを開きます。次に、停止するジョブが含まれている行で **[停止]** アイコンをクリックします。

### ジョブを再起動します。

失敗したデータプロファイリングジョブを再起動できます。

**[すべてのジョブ]** または **[マイジョブ]** ページでジョブを再起動するには、再起動するジョブが含まれている行の **[再起動]** アイコンをクリックします。

ジョブの詳細でジョブを再起動するには、ページの上部にある **[再起動]** をクリックします。

## ログファイルのダウンロード

完了または失敗したデータプロファイリングジョブのログファイルをダウンロードできます。

1. モニタで **[すべてのジョブ]** または **[実行中のジョブ]** を選択するか、データプロファイリングで **[マイジョブ]** を選択します。
2. サブタスクビューを開くには、**[サブタスク]** 列でサブタスクの数をクリックします。



3. **s\_profiling** サブタスクをクリックします。
4. **【結果】** 領域で、**【セッションログのダウンロード】** をクリックします。

## 第 6 章

# インポートとエクスポートの監視

組織内で実行中または実行されたインポートおよびエクスポートを監視できます。オブジェクトをインポートまたはエクスポートするたび、Informatica Intelligent Cloud Services はインポートまたはエクスポートに対するログエントリを作成します。

次のページでインポートログおよびエクスポートログを表示できます：

### インポート/エクスポートログページ

組織内で実行中または実行されたすべてのインポートおよびエクスポートを一覧表示します。エクスポートを表示した場合、このページからエクスポートファイルをダウンロードできます。

[インポート/エクスポートログ] ページを開くには、モニタを開き [インポート/エクスポートログ] を選択します。

### インポート/エクスポートログページ

現在ログインしているユーザーによって開始されたすべてのインポートまたはエクスポートを一覧表示します。エクスポートを表示した場合、このページからエクスポートファイルをダウンロードできます。

[マイインポート/エクスポートログ] ページを開くには [マイインポート/エクスポートログ] を選択します。

### 詳細ページ

特定のインポートまたはエクスポートインスタンスに関する詳細情報を表示します。また、インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスログファイルをダウンロードすることもできます。ログには、インスタンスおよびオブジェクトレベルの詳細が含まれます。ログをダウンロードできるのは 7 日間です。エクスポートインスタンスの詳細を表示した場合、このページからエクスポートファイルをダウンロードできます。

詳細ページを開くには、[インポート/エクスポートログ] または [マイインポート/エクスポートログ] のインポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスをクリックします。

## ログプロパティのインポートとエクスポート

インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスのプロパティを表示するには、[インポート/エクスポートログ] または [マイインポート/エクスポートログ] ページの上部にある [インポート] または [エクスポート]

タブをクリックします。デフォルトでは、これらのページには過去 7 日間に開始されたインポートインスタンスおよびエクスポートインスタンスが一覧表示されます。

各インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスについて次のプロパティが表示されます：

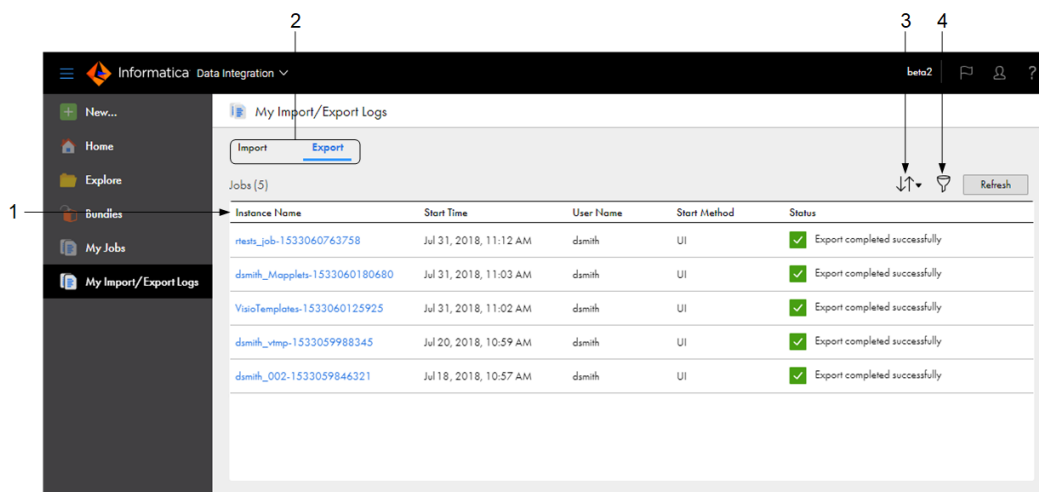
プロパティ	説明
インスタンス名	インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスの名前。
開始時刻	インポートまたはエクスポートが開始された日時。
ユーザ名	インポートまたはエクスポートを開始したユーザーの名前。
開始メソッド	インポートまたはエクスポートが開始された方法。インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスの開始メソッドは次のいずれかです： <ul style="list-style-type: none"> <li>- UI。インポートまたはエクスポートはユーザーインターフェイスから開始された。</li> <li>- API。インポートまたはエクスポートは REST API から開始された。</li> </ul>
ステータス	インポートまたはエクスポートのステータス(正常に完了または失敗など)

成功したエクスポートジョブについては、エクスポートインスタンスを含む行の[ダウンロード]アイコンをクリックすることでエクスポートファイルをダウンロード出来ます。

## インポートおよびエクスポートログのカスタマイズ

[インポート/エクスポートログ]および[マイインポート/エクスポートログ]ページに表示するプロパティを決定できます。インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスをソートおよびフィルタすることが出来ます。インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスをドリルダウンして詳細情報を表示することもできます。

次の図は、データ統合にデフォルトで表示されるプロパティを示しています。



1. 列見出し領域。列を追加または削除するには、この領域を右クリックします。
2. インポートログまたはエクスポートログのいずれかを表示するタブ
3. ソートアイコン
4. フィルタアイコン

次の方法でインポートログおよびエクスポートログをカスタマイズできます：

### プロパティを表示、非表示、または再配置します。

特定のプロパティを表示または非表示にするには、列見出し領域を右クリックし、プロパティをチェックまたはオフにします。

列を再配置するには、列見出しをクリックし、別の場所にドラッグします。

### インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスをソートします。

インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスをソートするには、ソート基準とするプロパティの列見出しをクリックします。例えば、最新のジョブが先頭になるように一覧表示するには、[開始時刻] 列をクリックします。列見出しの矢印は、昇順または降順のいずれかのソート順序を示します。ソート順序を逆転させるには、列見出しをもう一度クリックします。

また、[ソート] アイコンをクリックして列名を選択することで、インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスをソートすることもできます。

### インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスをフィルタします。

1つ以上のフィルタ条件を使用してインポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスをフィルタできます。ページに表示されるインスタンスをフィルタ処理するには、[フィルタ] アイコンをクリックします。

フィルタ条件を指定するには、[フィールドの追加] をクリックし、フィルタフィールドを選択して、値を入力します。例えば、成功したエクスポートまたはインポートのみを表示するには、[ステータス] カラムを選択し、[成功] を選択します。フィルタフィールドとして [インスタンス名] または [ステータス] を選択できます。

フィルタに別の条件を追加するには、[フィールドの追加] をもう一度クリックします。例えば、失敗した「SalesProject\_1533326631921」という名前のインスタンスを表示するには、次のフィルタ列と値を選択します。

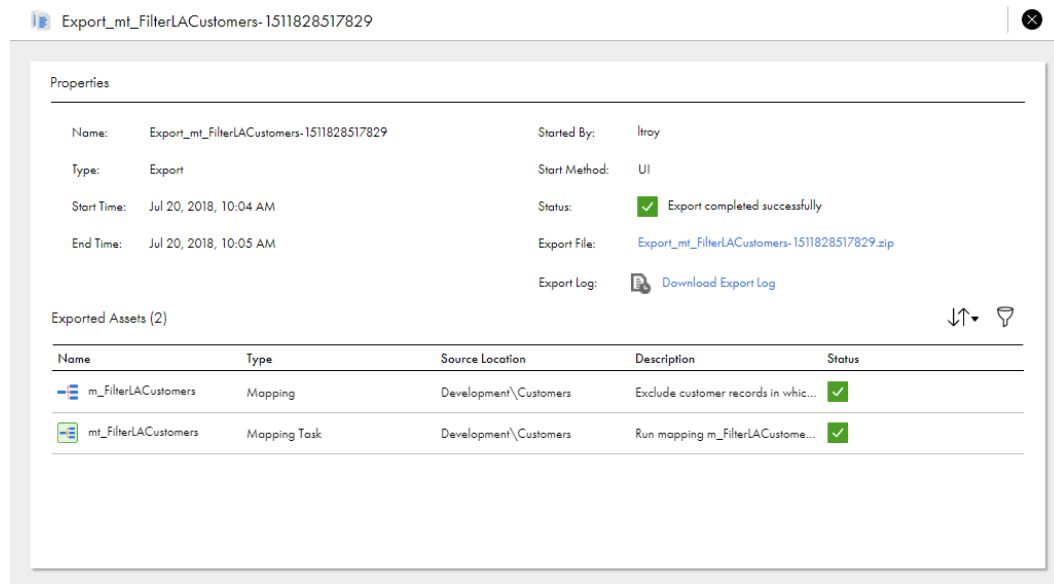
- インスタンス名: SalesProject\_1533326631921
- ステータス: 失敗

適用されているすべてのフィルタを削除するには、[フィルタを削除] アイコンをクリックします。

# インポートまたはエクスポートの詳細の表示

インポートまたはエクスポートの詳細を表示するには、[インポート/エクスポートログ] または [マイインポート/エクスポートログ] ページの上部にある [インポート] または [エクスポート] タブをクリックします。次に、インポートまたはエクスポートインスタンス名をクリックします。

次の図は、エクスポートインスタンスの詳細を示しています。



詳細には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
名前	インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスの名前。
タイプ	インスタンスのタイプ（インポートまたはエクスポートのいずれか）。
開始時刻	インポートまたはエクスポートが開始された日時。
終了時刻	インポートまたはエクスポートが完了または停止した日時。
開始したユーザー	インポートまたはエクスポートを開始したユーザーの名前。
開始メソッド	インポートまたはエクスポートが開始された方法。インポートまたはエクスポートの開始メソッドは次のいずれかです： <ul style="list-style-type: none"><li>- UI。インポートまたはエクスポートはユーザーインターフェイスから開始された。</li><li>- API。インポートまたはエクスポートは REST API から開始された。</li></ul>
ステータス	インポートまたはエクスポートのステータス(正常に完了または失敗など)
ソース組織	インポートの場合、アセットのインポート元の組織の名前。
エクスポートファイル	エクスポートの場合は、生成されたエクスポートファイルの名前。ファイル名をクリックして、ファイルをダウンロードします。

プロパティ	説明
インポートログ/ エクスポートログ	インスタンスおよびオブジェクトレベルのプロパティが含まれる詳細ログファイル。 [インポートログのダウンロード] または [エクスポートログのダウンロード] をクリックしてファイルをダウンロードします。
インポート対象の アセット / エクスポート対象 のアセット	インポート対象またはエクスポート対象の各アセットの名前、タイプ、場所、説明、 およびステータス。インポート対象のアセットまたはエクスポート対象のアセットを 表示出来るのは、1 日のみです。

## エクスポートファイルのダウンロード

エクスポートが完了したら、エクスポートファイルをダウンロード出来ます。[インポート/エクスポートログ] または[マイインポート/エクスポートログ]ページ、またはエクスポートインスタンスの詳細からエクスポートファイルをダウンロードします。

1. [インポート/エクスポートログ] を選択して組織のインポート/エクスポートログを開くか、[マイインポート/エクスポートログ] を選択して自身のインポート/エクスポートログを開きます。
2. [エクスポート] タブをクリックします。
3. 次のいずれかの手順に従います。
  - エクスポートインスタンスを含む行の [ダウンロード] アイコンをクリックします。
  - インスタンス名をクリックしてエクスポートインスタンスの詳細を開き、エクスポートファイル名をクリックします。

## インポート/エクスポートログのダウンロード

インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスが完了したら、ログファイルをダウンロード出来ます。インポートまたはエクスポートインスタンスの詳細からログファイルをダウンロードします。

1. [インポート/エクスポートログ] を選択して組織のインポート/エクスポートログを開くか、[マイインポート/エクスポートログ] を選択して自身のインポート/エクスポートログを開きます。
2. [インポート] または [エクスポート] タブをクリックします。
3. インスタンス名をクリックして、インポートインスタンスまたはエクスポートインスタンスの詳細を開きます。
4. [インポートログのダウンロード] または [エクスポートログのダウンロード] をクリックします。

## 第 7 章

# ファイル転送ジョブの監視

組織内で実行中または実行された、ファイル転送およびファイルリスナジョブを監視できます。

ファイル転送ジョブを監視するには、**【ファイル転送ログ】** をクリックします。

## AS2 ファイル転送の監視

AS2 接続を使用してファイルを送信するたび、または AS2 サーバーがファイルを受信するたびに、ファイル転送サービスはログファイルを生成します。AS2 ファイル転送ログにはモニタからアクセスできます。

次のページで AS2 ファイル転送ログを表示できます。

**【ファイル転送ログ】 ページ**

進行中または完了したすべてのファイル転送が一覧表示されます。

**詳細ページ**

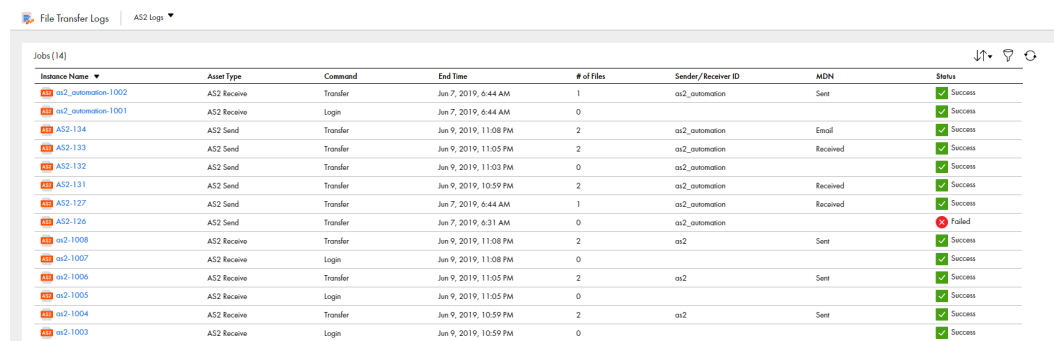
特定のファイル転送ログの詳細情報が表示されます。ファイル転送ログファイルはダウンロードすることもできます。

## AS2 ファイル転送ログの表示

完了した AS2 ファイル転送のリストを表示するには、モニタで **【ファイル転送ログ】** をクリックします。

AS2 ファイル転送ログのリストをフィルタするには、**【AS2 ログ】** を選択します。

**【ファイル転送ログ】** ページには、送信/受信ファイル転送用の AS2 ファイル転送ログが一覧表示され、ステータス情報が次の図のように表示されます。



The screenshot shows the 'File Transfer Logs' interface with a dropdown menu set to 'AS2 Logs'. Below the header, there is a table with 14 jobs. The table columns are: Instance Name, Asset Type, Command, End Time, # of Files, Sender/Receiver ID, MDN, and Status. The status column uses green checkmarks for 'Success' and a red X for 'Failed'.

Instance Name	Asset Type	Command	End Time	# of Files	Sender/Receiver ID	MDN	Status
as2_automation-1002	AS2 Receive	Transfer	Jun 7, 2019, 6:44 AM	1	as2_automation	Sent	Success
as2_automation-1001	AS2 Receive	Login	Jun 7, 2019, 6:44 AM	0	as2_automation		Success
AS2-134	AS2 Send	Transfer	Jun 9, 2019, 11:08 PM	2	as2_automation	Encl	Success
AS2-133	AS2 Send	Transfer	Jun 9, 2019, 11:05 PM	2	as2_automation	Received	Success
AS2-132	AS2 Send	Transfer	Jun 9, 2019, 11:03 PM	0	as2_automation		Success
AS2-131	AS2 Send	Transfer	Jun 9, 2019, 10:59 PM	2	as2_automation	Received	Success
AS2-127	AS2 Send	Transfer	Jun 7, 2019, 6:44 AM	1	as2_automation	Received	Success
AS2-126	AS2 Send	Transfer	Jun 7, 2019, 6:31 AM	0	as2_automation		Failed
as2-1008	AS2 Receive	Transfer	Jun 9, 2019, 11:08 PM	2	as2	Sent	Success
as2-1007	AS2 Receive	Login	Jun 9, 2019, 11:08 PM	0	as2		Success
as2-1006	AS2 Receive	Transfer	Jun 9, 2019, 11:05 PM	2	as2	Sent	Success
as2-1005	AS2 Receive	Login	Jun 9, 2019, 11:05 PM	0	as2		Success
as2-1004	AS2 Receive	Transfer	Jun 9, 2019, 10:59 PM	2	as2	Sent	Success
as2-1003	AS2 Receive	Login	Jun 9, 2019, 10:59 PM	0	as2		Success

[ファイル転送ログ] ページには、AS2 ファイル転送ログごとに次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
インスタンス名	AS2 ファイル転送インスタンスの名前。
アセットタイプ	AS2 ファイル転送ログのタイプ。 ファイルをリモート AS2 サーバーに送信する場合、タイプは AS2 送信です。 ファイルをリモート AS2 サーバーから受信する場合、タイプは AS2 受信です。
コマンド	転送、ログイン、受信した MDN などのアクティビティのタイプ。
終了時刻	ファイル転送が終了した日時。
ファイル数	転送に含まれるファイルの数。
送信者/受信者 ID	AS2 送信のファイル転送の場合、受信者の AS2 ID。 AS2 受信のファイル転送の場合、送信者の AS2 ID。
MDN	MDN メッセージのステータス。 AS2 送信の場合、ステータスは以下の値のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 受信日時。MDN を受信済みです。</li><li>- 電子メール。MDN 配信モードは電子メール経由です。</li><li>- URL。MDN 配信モードは URL 経由です。</li><li>- なし。MDN は要求されません。</li></ul> AS2 受信の場合、ステータスは以下の値のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 保留中。MDN はまだ送信されていません。</li><li>- 送信日時。MDN はクライアントに送信済みです。</li><li>- なし。MDN は要求されません。</li></ul>
ステータス	AS2 ファイル転送のステータス（正常に完了または失敗など）。 転送が失敗した理由をすばやく調べるには、カーソルを [失敗] アイコンの上に置きます

## AS2 ファイル転送の詳細表示

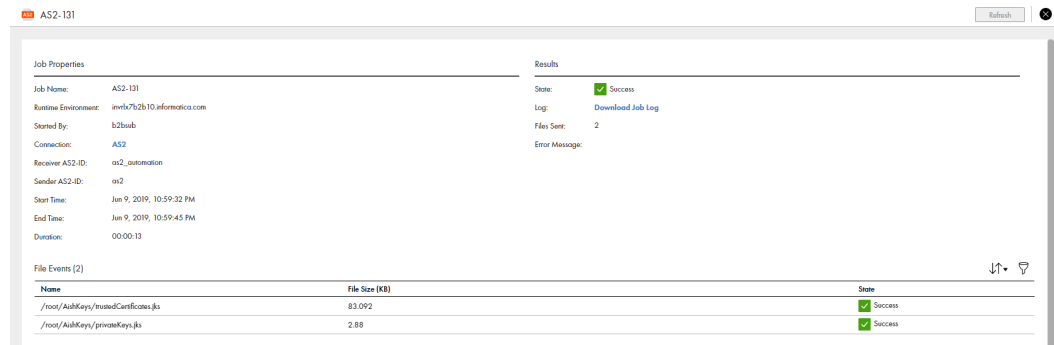
転送済みファイルのリストを含む AS2 ファイル転送の詳細情報を表示するには、[ファイル転送ログ] ページでインスタンス名をクリックします。

インスタンス名をクリックすると、ファイル転送に関する詳しい説明が表示されます。ページに表示される情報のタイプは、インスタンスタイプが AS2 送信か AS2 受信かによって、およびコマンドタイプによって異なります。

ログには、メッセージのプロパティ、および AS2 ファイル転送に含まれる各ファイルのステータスなどの詳細が含まれます。AS2 送信の転送では、ログファイルをダウンロードしてジョブのトラブルシューティングを行うことができます。



AS2 ファイル転送の詳細ページを開くには、[ファイル転送ログ] ページでインスタンス名をクリックします。次の図は、AS2 送信の転送の詳細を示しています。



Job Properties		Results	
Job Name:	AS2-131	State:	Success
Runtime Environment:	nvda762b10.informatica.com	Log:	<a href="#">Download Job Log</a>
Started By:	b2lsuab	Files Sent:	2
Connection:	AS2	Error Message:	
Receiver AS2-ID:	as2_authentication		
Sender AS2-ID:	as2		
Start Time:	Jun 9, 2019, 10:59:32 PM		
End Time:	Jun 9, 2019, 10:59:43 PM		
Duration:	00:00:13		

File Events (2)		
Name	File Size (KB)	State
/root/.sshKeys/transferCertCompu.jks	83.092	Success
/root/.sshKeys/privateKeys.jks	2.88	Success

## AS2 送信のファイル転送に関する詳細

AS2 送信の転送では、ログの詳細にジョブのプロパティ、ジョブの結果、およびジョブに含まれるファイルに関する情報が含まれます。

### ジョブのプロパティ

ジョブの詳細には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ジョブ名	ジョブの名前。
ランタイム環境	ジョブの実行に使用される Secure Agent を含むランタイム環境。
開始するユーザー名	ジョブを開始したユーザー、またはジョブを開始したファイルリスナの名前。
接続	ファイルの送信に使用された AS2 接続。
受信者 AS2-ID	ファイルを受信したリモート AS2 サーバーの ID。
送信者 AS2-ID	ファイルを送信した AS2 サーバーの ID。
開始時刻	ファイル転送が開始された日時。
終了時刻	ファイル転送が終了した日時。
継続時間	ファイル転送が実行された時間。

### 比較結果

ジョブの結果情報には、次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
状態	ジョブのステータス（成功または失敗）。
ログ	ジョブログをダウンロードするためのリンク。

プロパティ	説明
ファイルが送信されました	ジョブで送信されたファイルの数。
エラーメッセージ	ジョブが失敗した場合のエラーメッセージ。

## ファイル

AS2 サーバーに送信されたファイルの詳細には、ファイルごとに次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
名前	ファイルの完全パスと名前。
ファイルサイズ	ファイルのサイズ（キロバイト単位）。
ステータス	ファイル転送のステータス（成功または失敗）。

## AS2 受信のファイル転送に関する詳細

AS2 受信タイプのファイル転送には、ログの詳細にイベントのプロパティ、メッセージのプロパティ、およびファイル転送に含まれるファイルについての情報が含まれます。

イベント詳細には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
サーバー IP	ファイルを受信する AS2 サーバーの IP アドレス。
サーバーポート	ファイルを受信する AS2 サーバーのポート番号。
受信者 AS2-ID	受信者が使用する ID。
リモート IP	ファイルを送信するクライアントの IP アドレス。
リモートポート	ファイルを送信するクライアントのポート番号。
送信者 AS2-ID	送信者が使用する名前または ID。
ユーザー名	ファイルサーバーのユーザーのユーザー名。
コマンド	転送、ログイン、受信した MDN などのアクティビティのタイプ。
件名	メッセージの件名。
暗号化アルゴリズム	メッセージの暗号化に使用されるアルゴリズム。
署名アルゴリズム	メッセージの署名に使用されるアルゴリズム。
圧縮	メッセージが圧縮されているかどうかを示します。

プロパティ	説明
コンテンツタイプ	メッセージのコンテンツタイプ。
メッセージ ID	メッセージの ID。

MDN の詳細には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
MDN タイプ	MDN が同期か非同期かを示します。
MDN 署名済み	MDN がデジタル署名で署名済みかどうかを示します。
MDN 送信済み	MDN が送信済みかどうかを示します。
MDN 配信	MDN の配信方法（電子メール、URL、ジョブログ、ファイル）。
MDN	MDN を表示するためのリンク。
MIC	メッセージ統合性チェックコード。
MIC アルゴリズム	署名に使用される MIC アルゴリズム。
状態	転送のステータス（成功または失敗）。
エラーメッセージ	転送に失敗した場合のエラーメッセージ。

ファイルの詳細には、ファイルごとに次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
名前	ファイルの完全パスと名前。
ファイルサイズ	ファイルのサイズ（キロバイト単位）。
ステータス	ファイル転送のステータス（成功または失敗）。

## SFTP ファイル転送の監視

リモートパートナーとファイルを交換するときは、ファイル転送サービスによって常にログファイルが生成されます。SFTP ファイル転送ログにはモニタからアクセスできます。

次のページで SFTP ファイル転送ログを表示できます。

### 【ファイル転送ログ】 ページ

【ファイル転送ログ】 ページですべてのファイル転送ログを表示すると、すべての SFTP アップロードおよびダウンロードコマンドのログが表示されます。SFTP ログを表示するようにフィルタすると、すべての SFTP コマンド（ログイン、接続、切断など）のログが表示されます。

## 【イベントのプロパティ】 ページ

特定のファイル転送ログの詳細情報が表示されます。

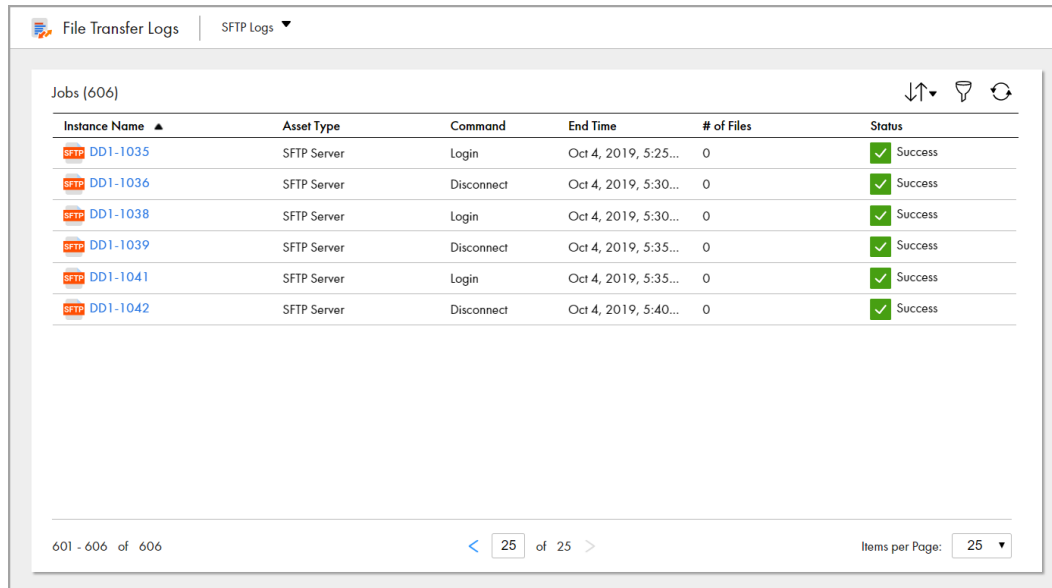
## SFTP ファイル転送ログの表示

SFTP ファイル転送ログのリストを表示するには、モニタで【ファイル転送ログ】をクリックします。

SFTP ファイル転送ログのリストをフィルタするには、【SFTP ログ】を選択します。

【ファイル転送ログ】 ページには、SFTP ファイル転送ログのリストが表示され、ステータス情報が示されます。【ファイル転送ログ】 ページで SFTP ログをフィルタすると、SFTP コマンドも表示されます。

次の図は、SFTP ログがフィルタされた【ファイル転送ログ】 ページを示しています。



The screenshot shows the 'File Transfer Logs' interface with the 'SFTP Logs' filter selected. It displays a table of 606 jobs. The table has columns for Instance Name, Asset Type, Command, End Time, # of Files, and Status. The first six rows are visible, showing successful login and disconnect actions for various SFTP servers. The interface includes sorting and filtering icons at the top right and pagination controls at the bottom.

Instance Name	Asset Type	Command	End Time	# of Files	Status
SFTP DD1-1035	SFTP Server	Login	Oct 4, 2019, 5:25...	0	Success
SFTP DD1-1036	SFTP Server	Disconnect	Oct 4, 2019, 5:30...	0	Success
SFTP DD1-1038	SFTP Server	Login	Oct 4, 2019, 5:30...	0	Success
SFTP DD1-1039	SFTP Server	Disconnect	Oct 4, 2019, 5:35...	0	Success
SFTP DD1-1041	SFTP Server	Login	Oct 4, 2019, 5:35...	0	Success
SFTP DD1-1042	SFTP Server	Disconnect	Oct 4, 2019, 5:40...	0	Success

【ファイル転送ログ】 ページで SFTP ログをフィルタすると、各 SFTP ログについて次のプロパティが含まれます。

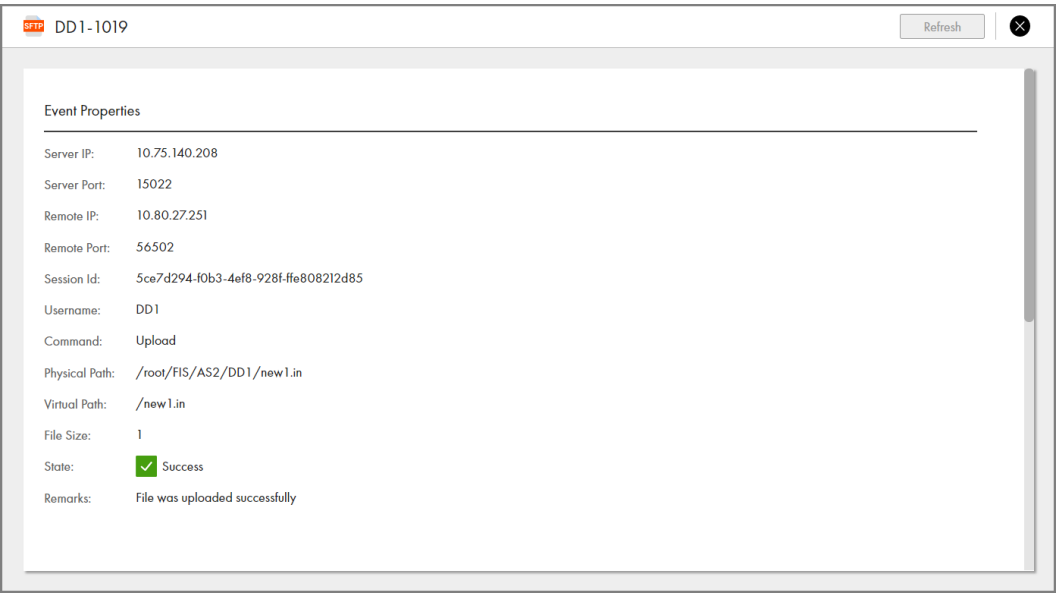
プロパティ	説明
インスタンス名	SFTP ファイル転送インスタンスの名前。
アセットタイプ	SFTP サーバー。
コマンド	コマンドタイプ（接続、ログイン、アップロードなど）。
終了時刻	コマンドで実行されたアクションの終了日時。
ファイル数	アクションに含まれるファイルの数。
ステータス	アクションのステータス（成功または失敗）。

# SFTP ファイル転送ログの詳細の表示

SFTP ファイル転送の詳細情報を表示するには、[ファイル転送ログ] ページでインスタンス名をクリックします。

インスタンス名をクリックすると、SFTP イベントに関する詳しい説明が表示されます。ページに表示される情報は、SFTP コマンドタイプによって異なります。

次の図は、アップロードコマンドの詳細を示しています。



## SFTP イベントの詳細

SFTP イベントのプロパティは、SFTP コマンドのタイプによって異なります。例えば、物理パスと仮想パスはログインコマンドには適用されず、ログインコマンドのログでは空白のままになります。

イベント詳細には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
サーバー IP	コマンドが実行された SFTP サーバーの IP アドレス。
サーバーポート	コマンドが実行された SFTP サーバーのポート番号。
リモート IP	コマンドが開始されたクライアントの IP アドレス。
リモートポート	コマンドが開始されたクライアントのポート番号。
セッション ID	SFTP セッションの ID。
ユーザー名	ファイルサーバーのユーザーのユーザー名。
コマンド	SFTP コマンドのタイプ。
物理パス	ランタイム環境でコマンドが実行されたファイルへの絶対パス。

プロパティ	説明
仮想パス	ファイルサーバーユーザーのホームディレクトリでコマンドが実行されたファイルへの相対パス。
ファイルサイズ	コマンドが実行されたファイルのサイズ。
状態	コマンドによって実行されたアクションのステータス。
コメント	コマンドによって実行されたアクションに関する追加の詳細。

## HTTPS ファイル転送の監視

リモートパートナーとファイルを交換するときは、ファイル転送サービスによってログファイルが生成されます。HTTPS ファイル転送ログにはモニタからアクセスできます。

【ファイル転送ログ】 ページで HTTPS ファイル転送ログを表示します。ページをフィルタして HTTPS ログのみを表示すると、【ファイル転送ログ】 ページには、ログイン、ログアウト、削除、名前変更、アップロード、ダウンロードなどのすべての HTTPS コマンドのログが表示されます。

### HTTPS ファイル転送ログの表示

ファイル転送ログを表示するには、モニタで【ファイル転送ログ】 をクリックします。HTTPS ファイル転送ログのリストをフィルタするには、【HTTPS ログ】 を選択します。HTTPS ファイル転送ログには、ファイル転送と HTTPS コマンドのステータスが表示されます。

次の図は、HTTPS ログがフィルタされたサンプル【ファイル転送ログ】 ページを示しています。

File Transfer Logs   HTTPS Logs ▼					
Jobs (2821)					
Instance Name	Asset Type	Command	End Time	# of Files	Status
https_automation-6370	HTTPS Server	Login	Jan 29, 2020, 5:10 PM	0	Success
https_automation-6368	HTTPS Server	Login	Jan 29, 2020, 5:10 PM	0	Success
https_automation-6369	HTTPS Server	Login	Jan 29, 2020, 5:10 PM	0	Success
https_automation-6367	HTTPS Server	Logout	Jan 29, 2020, 5:10 PM	0	Success
https_automation-6364	HTTPS Server	Login	Jan 29, 2020, 5:10 PM	0	Success
https_automation-6365	HTTPS Server	Upload	Jan 29, 2020, 5:10 PM	1	Success
https_automation-6366	HTTPS Server	Upload	Jan 29, 2020, 5:10 PM	1	Success
https_automation-6363	HTTPS Server	Logout	Jan 29, 2020, 5:10 PM	0	Success
https_automation-6360	HTTPS Server	Login	Jan 29, 2020, 5:10 PM	0	Success
https_automation-6361	HTTPS Server	Upload	Jan 29, 2020, 5:10 PM	1	Success
https_automation-6362	HTTPS Server	Upload	Jan 29, 2020, 5:10 PM	1	Success
https_automation-6359	HTTPS Server	Logout	Jan 29, 2020, 5:10 PM	0	Success
https_automation-6357	HTTPS Server	Upload	Jan 29, 2020, 5:10 PM	1	Success
https_automation-6358	HTTPS Server	Upload	Jan 29, 2020, 5:10 PM	1	Success
https_automation-6356	HTTPS Server	Login	Jan 29, 2020, 5:09 PM	0	Success
ai2_cloud-6355	HTTPS Server	Login	Jan 29, 2020, 5:07 PM	0	Success
https_automation-6327	HTTPS Server	Logout	Jan 29, 2020, 11:28 AM	0	Success

1801 - 1825 of 2821      < 73 of 113 >      Items per Page: 25 ▼

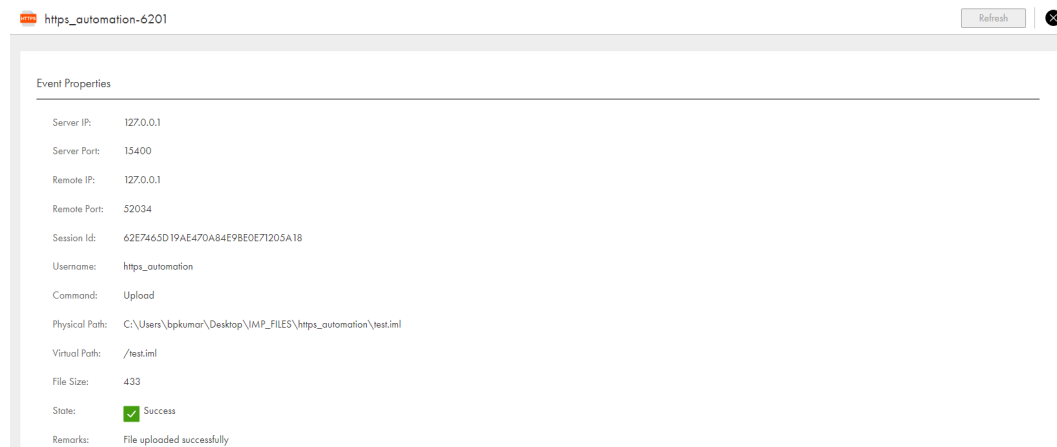
【ファイル転送ログ】 ページには、HTTPS ファイル転送ログごとに次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
インスタンス名	HTTPS ファイル転送インスタンスの名前。
アセットタイプ	HTTPS サーバー。
コマンド	ログイン、アップロード、名前変更などのコマンドタイプ。
終了時刻	コマンドで実行されたアクションの終了日時。
ファイル数	アクションに含まれるファイルの数。
ステータス	アクションのステータス（成功または失敗）。

## HTTPS ファイル転送ログの詳細の表示

HTTPS ファイル転送の詳細情報を表示するには、【ファイル転送ログ】 ページでインスタンス名をクリックします。インスタンス名をクリックすると、HTTPS イベントの詳細が表示されます。ページに表示される情報は、HTTPS コマンドタイプによって異なります。

次の図は、サンプルアップロードコマンドの詳細を示しています。



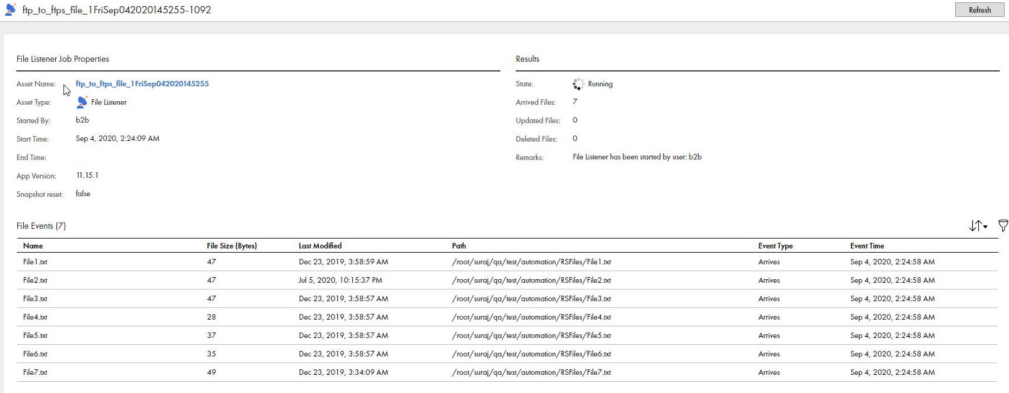
## ファイルリスナの監視

ファイルリスナの実行や、ファイルリスナの各実行ジョブで発生するイベントを監視する事ができます。Monitor の【ファイル転送ログ】 ページには、ファイルリスナのログエントリが一覧表示されます。

1. Monitor で、【ファイル転送ログ】 を選択します。  
【ファイル転送ログ】 ページには、ファイルリスナログが一覧表示されます。
2. ファイルリスナのログのリストをフィルタするには、【ファイル転送ログ】 ページの【ファイルリスナログ】 を選択します。

3. ファイルリスナをクリックします。

ファイルリスナのジョブの詳細が表示されます。このページには、ファイルリスナジョブの詳細、ファイルリスナの監視の結果、および定義した場所で発生したファイルイベントの詳細が含まれます。次の図に、ファイルリスナの状態およびファイルイベントの詳細を示します。



## ファイルリスナジョブの詳細

ファイルリスナはファイルリスナジョブを作成し、[ファイル転送ログ] ページに表示します。ファイルリスナは指定したフォルダのファイルをリスニングし、[ファイルリスナジョブのプロパティ] ページにイベントを記録します。ファイルリスナジョブのプロパティの [ステータス] フィールドは、ファイルリスナジョブの変更を示します。

### ジョブのプロパティ

各ファイルリスナジョブインスタンスのジョブのプロパティでは、インスタンスの全般プロパティが表示されます。

ジョブのプロパティには次のプロパティが含まれます。

ステータス	理由
アセット名	アセットの名前。
アセットタイプ	アセットのタイプ。この場合、ファイルリスナ。
開始するユーザー名	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
アプリケーションバージョン	ファイルリスナインスタンスが実行されているエージェントのバージョン。
スナップショットのリセット	ランタイム環境、コネクタタイプ、接続、リスナルールプロパティなどのファイルリスナ定義を更新する場合は、ファイルリスナをリセットする必要があります。このアクションでは、過去に追跡されたファイルのリストがクリアされます。ファイルリスナがリセットされると、スナップショットリセット値が True になります。



## ジョブの結果

各ファイルリスナジョブインスタンスのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

ステータス	理由
状態	ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 失敗: ファイルリスナが正常に実行されませんでした。</li><li>- 完了: ファイルリスナが正常に実行を完了しました。</li><li>- 停止: 停止状態は次の理由で発生します。<ul style="list-style-type: none"><li>- ファイルリスナが手動で停止した。</li><li>- ファイルリスナが手動で開始した後の実行中に、スケジュールされた実行が開始した。スケジュールされた実行が開始するときに、手動で開始したジョブが停止した。</li><li>- エージェントが同じアプリケーションバージョンで再起動すると、ファイルリスナは自動的に停止します。更新されたアプリケーションバージョンが利用可能な場合、ファイルリスナはアプリケーションバージョンでの実行も停止します。</li></ul></li><li>- 実行中（エラーあり）: ファイルリスナでエラーが発生しました。</li><li>- 実行中: ファイルリスナが実行中です。</li></ul>
到着済みファイル	ターゲットに到着したファイルの数。
更新済みファイル	更新されたファイルの数。
削除済みファイル	削除されたファイルの数。
コメント	自動入力されます。ジョブの状態に基づきます。例えば、ファイルリスナが失敗ステータスの場合、メッセージには失敗の理由が記載されます。

**注:** 到着、更新、削除などのファイルイベントの数がイベントの上限を超えた場合、ファイルリスナは失敗します。

## ファイルイベント

[ファイルイベント] セクションには、ファイルリスナジョブが転送したファイルの合計数と各ファイルの情報が表示されます。

[ファイルイベント] セクションは、ファイルリスナジョブがファイルを転送するたびに更新され、ファイル転送プロセス全体でファイルの状態が更新されます。ファイルの転送の進行状況は、ファイルの状態に基づいて追跡できます。

[ファイルイベント] セクションには、各ファイルの次のプロパティが表示されます。

ステータス	理由
名前	ファイルの名前。
ファイルサイズ（バイト）	ファイルのサイズ（バイト単位）。
最終変更日	ファイルが最後に変更された日時。
パス	ファイルのパス。

ステータス	理由
イベントのタイプ	ファイル転送イベントのタイプ。
イベントの時刻	ファイルイベントが発生した日時。

## 統合 API の監視

統合ログには、ファイルサーバーを呼び出してタスクを転送するために B2B ゲートウェイなどの外部アプリケーションによって使用される収集コマンドやリリースコマンドなどの統合 API のステータスが表示されます。**【ファイル転送ログ】** ページで統合ログのリストをフィルタするには、**【統合ログ】** を選択します。統合ログは**【すべてのログ】** フィルタでは表示されません。統合ログを表示するには、**【統合ログ】** フィルタを使用する必要があります。

## 統合ログの表示

モニタで統合ログを表示するには、**【ファイル転送ログ】** をクリックします。統合ログのリストをフィルタするには、**【統合ログ】** を選択します。

次の図は、統合ログがフィルタされたサンプル **【ファイル転送ログ】** ページを示しています。

File Transfer Logs   Integration Logs ▼					
Jobs (224)					
Instance Name	Asset Type	Command	End Time	# of Files	Status
Decrypt-558	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 3:13 PM	0	Success
Decrypt-557	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 3:10 PM	0	Failed
Decrypt-556	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 3:09 PM	0	Failed
Encrypt-555	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 3:06 PM	0	Success
Decrypt-554	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:44 PM	0	Success
Encrypt-553	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:43 PM	0	Success
Decrypt-552	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:33 PM	0	Success
Decrypt-551	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:32 PM	0	Failed
Decrypt-550	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:32 PM	0	Failed
Encrypt-549	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:29 PM	0	Success
PKI-548	API	Release	Mar 5, 2020, 2:35 PM	2	Success
spider_man-547	API	Release	Mar 4, 2020, 2:22 PM	2	Success
spider_man-546	API	Release	Mar 4, 2020, 2:18 PM	4	Success
spider_man-545	API	Release	Mar 4, 2020, 2:17 PM	4	Success
https_automation-544	API	Release	Mar 2, 2020, 1:52 PM	2	Success
https_automation-543	API	Collect	Mar 2, 2020, 1:46 PM	2	Success
https_automation-542	API	Collect	Mar 2, 2020, 12:34 PM	0	Failed

**【ファイル転送ログ】** ページには、統合ログごとに次のプロパティが表示されます。

プロパティ	説明
インスタンス名	統合ログの名前。
アセットタイプ	API、ファイル転送タスク、FTP クライアント、FTPS クライアント、または SFTP クライアント。

プロパティ	説明
コマンド	収集、リリース、ファイル転送タスク、アップロード、ダウンロードなどのコマンドタイプ。
終了時刻	コマンドで実行されたアクションの終了日時。
ファイル数	アクションに含まれるファイルの数。
ステータス	アクションのステータス（成功または失敗）。

## 統合ログの詳細の表示

統合ログの詳細情報を表示するには、【ファイル転送ログ】 ページでインスタンス名をクリックします。

アセットタイプに応じて、統合ログの詳細を表示するには、次のいずれかの手順を実行します。

- アップロード、ダウンロード、リリース、収集、またはファイル転送タスクのコマンドログを表示するには、ジョブを含む行の【アクション】アイコンをクリックし、【ジョブログのダウンロード】を選択します。ログは.txt ファイルとしてダウンロードされます。

次の図は、サンプルのファイル転送タスクコマンドジョブのダウンロードオプションを示しています。

The screenshot shows the 'File Transfer Logs' page with a table of 224 jobs. The table has columns: Instance Name, Asset Type, Command, End Time, # of Files, and Status. A red box highlights the 'Download Job Log' button next to the 'Failed' status of job 'Decrypt-556'.

Instance Name	Asset Type	Command	End Time	# of Files	Status
Decrypt-538	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 3:13 PM	0	Success
Decrypt-537	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 3:10 PM	0	Failed
Decrypt-556	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 3:09 PM	0	Failed
Encrypt-555	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 3:06 PM	0	Success
Decrypt-554	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:44 PM	0	Success
Encrypt-553	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:43 PM	0	Success
Decrypt-552	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:33 PM	0	Success
Decrypt-551	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:32 PM	0	Failed
Decrypt-550	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:32 PM	0	Failed
Encrypt-549	File Transfer Task	File Transfer Task	Mar 6, 2020, 2:29 PM	0	Success
PK1-548	API	Release	Mar 5, 2020, 2:35 PM	2	Success
spider_mon-547	API	Release	Mar 4, 2020, 2:22 PM	2	Success
spider_mon-546	API	Release	Mar 4, 2020, 2:18 PM	4	Success
spider_mon-545	API	Release	Mar 4, 2020, 2:17 PM	4	Success
https_automation-544	API	Release	Mar 2, 2020, 1:52 PM	2	Success

- 収集、リリース、アップロード、およびダウンロードの API コマンドのログを表示するには、インスタンス名をクリックします。インスタンスのログをダウンロードするには、[結果] 領域の **【ジョブログのダウンロード】** をクリックします。または、インスタンスを含む行の **【アクション】** アイコンをクリックして、**【統合ログ】** ページの **【ジョブログのダウンロード】** を選択します。  
次の図は、サンプルリリースコマンド API のログを示しています。



### ジョブのプロパティ

ジョブのプロパティには、インスタンスの全般プロパティが表示されます。

ジョブのプロパティには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
ジョブ名	ジョブの名前。API、FTP クライアント、FTPS ライアント、および SFTP クライアントのアセットタイプ用です。
ランタイム環境	タスクを実行するランタイム環境の名前。
タスク名	タスクの名前。 <b>ファイル転送タスク</b> アセットタイプのみで使用します。
タスクタイプ	タスクのタイプ。ファイル取り込みタスクのみで使用します。
接続	ファイルの送信に使用する接続。
開始するユーザー名	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブの開始日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。
パターン	転送されたファイルのパターン。
コマンド	コマンドのタイプ

### 比較結果

ジョブの結果には、ジョブのステータスおよびエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
状態	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 実行中。ジョブは継続して実行中です。</li><li>- 成功。ジョブが正常に完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。</li><li>- 強制終了。ジョブは強制終了されました。</li></ul>
ログ	セッションログファイルのダウンロードができます。デフォルトでは Informatica Intelligent Cloud Service には、最新の実行結果でログを上書きする前に、10 回の実行結果のセッションログが保存されます。それ以前の実行結果のセッションログが必要な場合は、セッションログファイルがあるディレクトリをバックアップします。 セッションログファイルは、次のディレクトリに書き込まれます。 <Secure Agent installation directory>/apps/Data_Integration_Server/logs
送信されたファイルの数	ターゲットへ転送、ダウンロードまたはアップロードされたファイルの数。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（ある場合）。

## ファイルイベント

このセクションには、転送したファイルの合計数と各ファイルの情報が表示されます。

[ファイルイベント] セクションは、ファイルが転送されるたびに更新され、ファイル転送プロセス全体でファイルの状態が更新されます。ファイルの転送の進行状況は、ファイルの状態に基づいて追跡できます。

[ファイルイベント] セクションには、各ファイルの次のプロパティが表示されます。

プロパティ	説明
ソースファイルのパス	ファイルの転送元のパス。
ターゲットファイルのパス	ファイルの転送先のパス。
ファイルサイズ	ファイルのサイズ（バイト単位）。
状態	ファイル転送の状態。ファイルは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 成功。ファイル転送は正常に完了しました。</li><li>- 失敗。エラーが発生したため、ファイル転送は完了しませんでした。</li><li>- 処理中*。ファイル転送が実行中です。</li><li>- 重複*。以前に同じ名前、ディレクトリの場所、サイズのファイルを転送したタスクです。</li><li>- 不明*。ファイルの転送中に、前のタスクインスタンスがエラーを検出しました。ソースが重複ファイルをスキップするように設定されているタスクに適用できます。</li></ul> <p>* これらの状態は、ダウンロードコマンドのみで使用できます。</p> <p>状態プロパティを監視して、各ファイルのファイル転送の進行状況を追跡できます。</p>

## 第 8 章

# 詳細クラスタの監視

組織内で実行中の詳細クラスタを監視できます。詳細クラスタは、ジョブを実行するための分散処理環境をクラウド上で実現する Kubernetes クラスタです。

Monitor の【**詳細クラスタ**】ページに移動すると、組織内のすべての詳細クラスタのリストが表示されます。各クラスタをドリルダウンして、次のタブにクラスタの詳細を表示できます。

### アクティビティログ

クラスタの開始時刻、スケールアップ時刻、スケールダウン時刻、停止時刻、および詳細設定の更新に基づいて変更される時刻を含む、クラスタイベントのリストです。また、クラスタが使用不可になったイベント、クラスタのリカバリイベントも含まれます。

### ライフサイクルグラフ

クラスタ上のワーカーノードの数を時系列で視覚的に表したものです。

### 設定

詳細設定を作成するために Secure Agent が使用する詳細クラスタです。詳細設定を編集するには、Administrator を使用する必要があります。

### ジョブ

クラスタで実行されているすべてのジョブのリストです。マッピングのインスタンスとマッピングタスクは、停止および再開できます。また、ログファイルのダウンロードも可能です。

クラスタインスタンスにドリルダウンすると、各ページのヘッダのかわりに一意のクラスタ ID が表示されます。クラスタ ID を使用して、ログファイルでクラスタインスタンスを識別できます。

**注:** Monitor のクラスタ ID は、クラウドリソースに割り当てられている KubernetesCluster タグの値として表示されるクラスタ ID と一致しない場合があります。

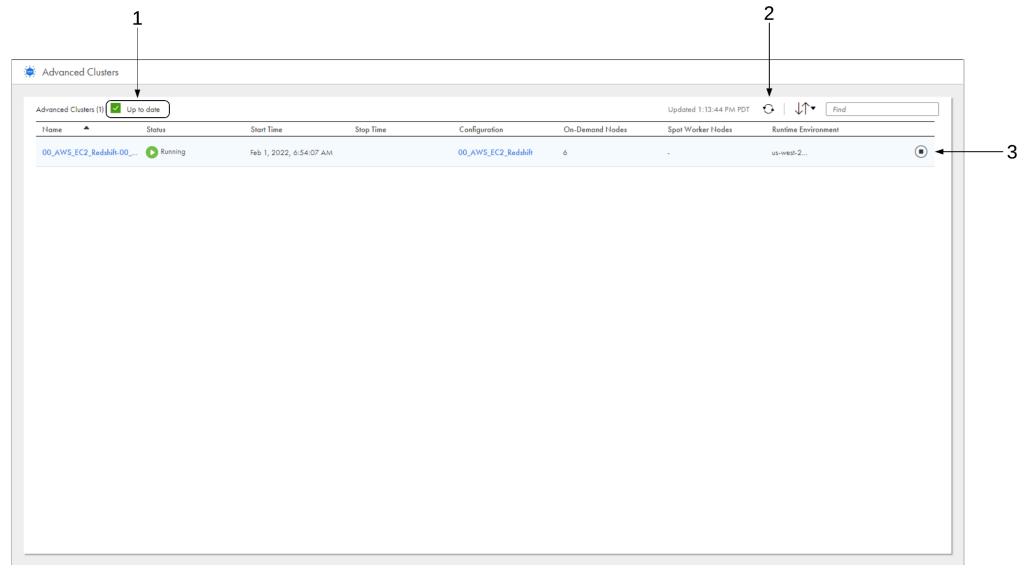
## すべてのクラスタの監視

【**詳細クラスタ**】ページで、組織内のすべての詳細クラスタを監視できます。

【**詳細クラスタ**】ページを使用すると、ジョブの実行に利用できるすべての詳細クラスタを表示できます。現在実行中のクラスタについては、このページを使用して、クラウドプラットフォーム上のリソース消費状況の概要を表示できます。

【**詳細クラスタ**】ページでクラスタを監視するには、管理者またはデザイナのロールが必要です。これらのロールのいずれかをもつユーザーは組織内のすべてのクラスタを監視できます。また、カスタムロールを作成して詳細設定を読み取る特権をロールに割り当てることもできます。

次の図は、【詳細クラスタ】 ページを示しています。



1. このページの情報が最新であるか、更新が必要であることを示すステータスメッセージ
2. 【更新】 アイコン
3. 【停止】 アイコン

各詳細クラスタの名前は、次の形式で表示されます。

<詳細設定>-<runtime environment>

ページの上部にあるステータスメッセージはこのページの情報が最新であるかどうかを示しています。情報が古くなると、「使用可能な更新」というステータスメッセージが表示されます。ページを更新するには、[使用可能な更新]メッセージまたは【更新】アイコンをクリックします。

詳細ジョブを実行してクラスタを開始したときやクラスタがスケールアップしてワーカーノード数が増えたときなど、クラスタの状態が変化した場合に情報が最新でなくなる場合があります。

クラスタが実行中の場合、【停止】アイコンをクリックしてクラスタを停止できます。クラスタを停止するには、少なくとも詳細設定の更新特権が必要です。

クラスタインスタンスをドリルダウンして、追加の詳細を表示できます。クラスタインスタンスをドリルダウンするには、クラスタインスタンス名をクリックします。クラスタインスタンスの作成に使用する詳細設定に直接ドリルダウンすることもできます。設定でドリルダウンするには、設定名をクリックします。

## クラスタのステータス

【詳細クラスタ】 ページに表示される各クラスタのステータスを表示できます。

次の表に、クラスタのステータスを示します。

ステータス	説明
開始中	クラスタは開始中です。ジョブを実行すると、すぐにクラスタが起動します。
実行中	クラスタは実行中で、ジョブを処理しています。

ステータス	説明
停止中	クラスタは停止中です。クラスタで実行していたジョブが完了し、クラスタが詳細設定のアイドルタイムアウトに到達したか、ユーザーが最近 Monitor でクラスタを停止しました。 クラスタの停止にかかる時間は、クラウドプラットフォームによって異なります。クラスタの停止中にジョブを実行すると、クラスタは起動せず、ジョブは失敗します。
停止	クラスタは停止しました。
エラー	クラスタにエラーが 1 つあります。エラーの間、Secure Agent はクラスタをリカバリしようとしています。 開始失敗例外や停止失敗例外を受信した場合など、ユーザー側のアクションが必要になる場合があります。
不明	クラスタのステータスは不明です。 ステータスが不明な場合、Secure Agent が実行していることを確認します。Secure Agent が実行していない場合、Secure Agent を有効にしてクラスタが開始するかどうか確認します。 クラスタが開始しない場合、管理者はクラスタを一覧表示するコマンドを実行できます。コマンド出力でそのクラスタの状態が一部利用中または完全使用中と示された場合、管理者はクラスタを削除するコマンドを実行できます。 コマンドの詳細については、Administrator ヘルプを参照してください。

次の条件が真の場合、Monitor では現在のクラスタのステータスが反映されない場合があります。

- Secure Agent マシンがシャットダウンされている。
- 詳細設定を更新し、その設定を保存するときに詳細クラスタの無効化を選択した。

クラスタのステータスが変化してからエージェントがクラスタのステータスに関する情報を受信するまでの間に遅延も発生します。そのため、クラスタが停止しているか停止されたときに、エージェントがクラスタにジョブを送信する場合があります。ジョブが失敗します。クラスタを再起動するには、ジョブを再度実行する必要があります。

例えば、エージェントにクラスタが実行中であることが通知され、その後すぐにクラスタがアイドルタイムアウトに達した場合、エージェントはジョブをクラスタに送信し、ジョブは失敗します。

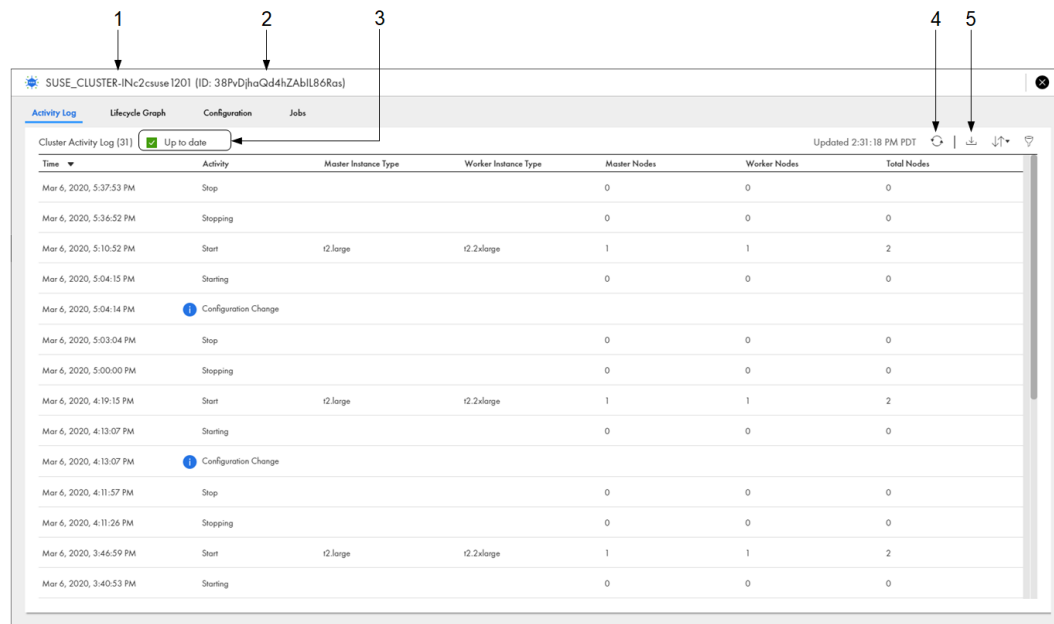
## アクティビティログの監視

**【詳細クラスタ】** ページからクラスタインスタンスにドリルダウンした後、**【アクティビティログ】** タブでクラスタインスタンスのアクティビティログを監視できます。

アクティビティログを使用してクラスタのイベントを監視します。イベントは、クラスタが起動した時間、スケールアップまたはスケールダウンした時間、停止した時間、または詳細設定への更新に基づき変更された時間を示します。表示できるカラムは、クラウドプラットフォームによって異なります。



次の図は、[アクティビティログ] タブを示しています。



1. クラスタ名
2. クラスタ ID
3. このページの情報が最新であるか、更新が必要であることを示すステータスメッセージ
4. [更新] アイコン
5. [ダウンロード] アイコン

ページの上部にあるステータスメッセージはこのページの情報が最新であるかどうかを示しています。情報が古くなると、「使用可能な更新」というステータスメッセージが表示されます。ページを更新するには、[使用可能な更新]メッセージまたは[更新]アイコンをクリックします。

情報は、ジョブを実行してクラスタを起動したり、クラスタがスケールアップしてワーカーノードの数が増加するなど、新しいクラスタイイベントが発生した際に最新ではなくなる場合があります。

アクティビティログをダウンロードするには、[ダウンロード] アイコンをクリックします。

## クラスタイイベント

クラスタインスタンスのアクティビティログを監視するときに、クラスタイイベントのリストを表示できます。イベントは特定の時点にクラスタで発生します。

次の表に、クラスタで発生する可能性のあるイベントについて説明します。

クラスタイイベント	説明
開始中	クラスタは開始中です。
開始	クラスタが開始しました。
停止中	クラスタは停止中です。
停止	クラスタが停止しました。
スケールアップ	クラスタのワーカーノードの数が増加しました。

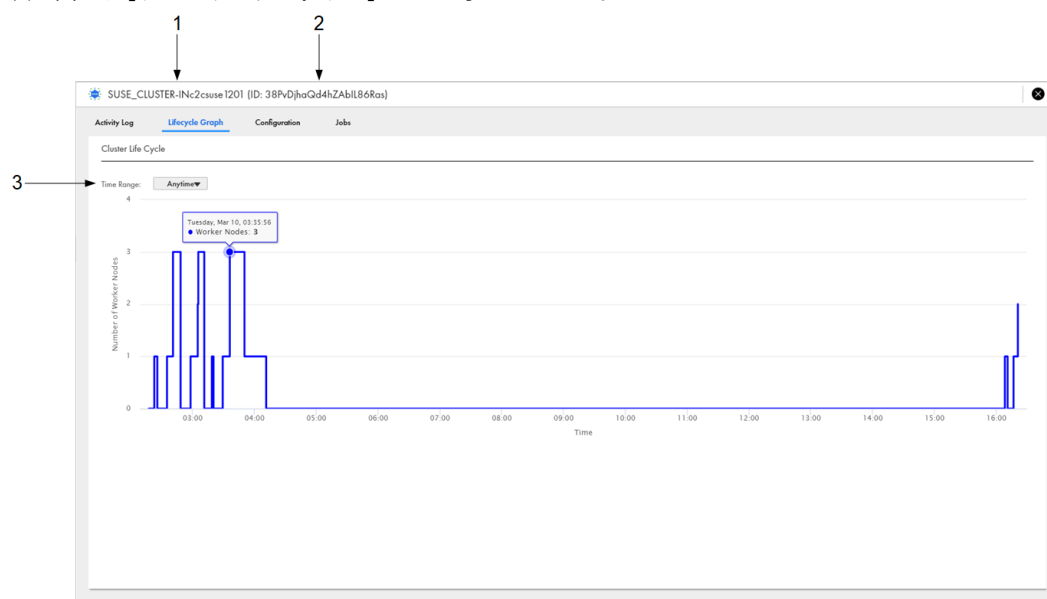
クラスタイベント	説明
スケールアップに失敗しました	クラスタがスケールアップに失敗しました。 クラスタに追加されたワーカーノードで初期化スクリプトが失敗すると、クラスタはスケールアップに失敗する可能性があります。
スケールダウン	クラスタのワーカーノードの数が減少しました。
設定変更	詳細設定が変更されました。設定変更時、クラスタは停止します。設定の変更は、次回クラスタを起動したときに反映されます。
使用不可	クラスタはエラーステータスになりました。
リカバリ	クラスタがエラー発生後にリカバリされました。 Secure Agent が予期せず停止し、別のマシンで再開した場合、エージェントは新しいエージェントのエラスティックサーバーのバージョンが前のエージェントのエラスティックサーバーのバージョンと同じ場合のみクラスタをリカバリできます。

## ライフサイクルグラフの表示

【詳細クラスタ】 ページからクラスタインスタンスにドリルダウンした後、【ライフサイクルグラフ】 タブでクラスタインスタンスのライフサイクルグラフを表示できます。

ライフサイクルグラフは、クラスタ上のワーカーノードの数を時系列に視覚的に表したものです。時間範囲を変更することによって、ワーカーノード数の変更に関する詳細レベルを表示する事ができます。

次の図は、【ライフサイクルグラフ】 タブを示しています。



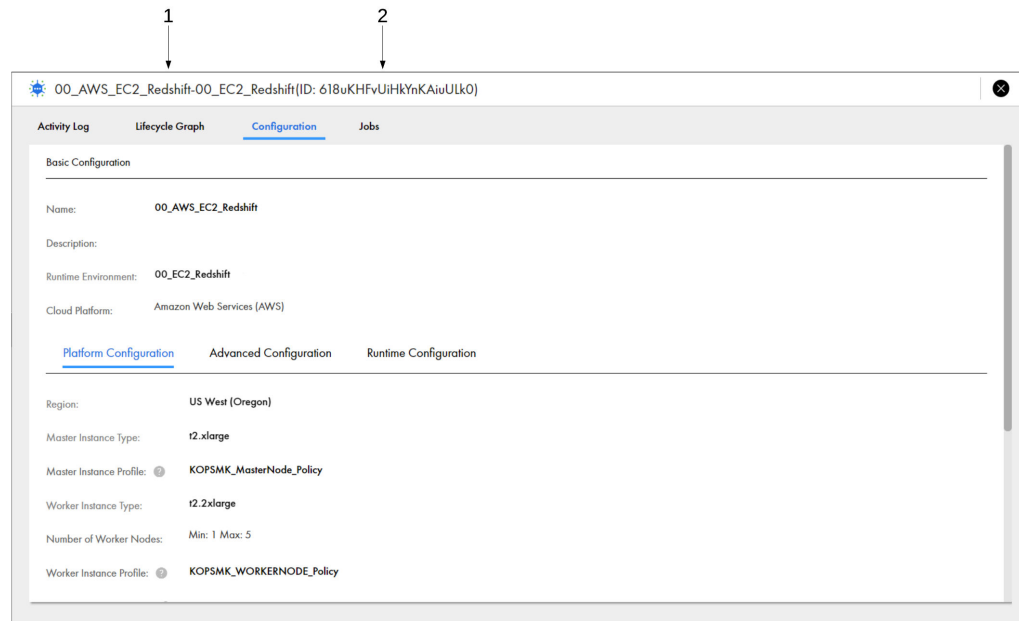
1. クラスタ名
2. クラスタ ID
3. 時間範囲

## 設定の表示

**【詳細クラスタ】** ページからクラスタインスタンスにドリルダウンした後、**【設定】** タブでクラスタインスタンスの設定を表示できます。表示される設定は、詳細クラスタのリソースをプロビジョニングするために使用する詳細設定です。

**【設定】** タブを使用して設定を参照します。表示できるプロパティは、クラウドプラットフォームによって異なります。設定を編集するには Administrator を使用します。

次の図は、**【設定】** タブを示しています。



1. クラスタ名
2. クラスタ ID

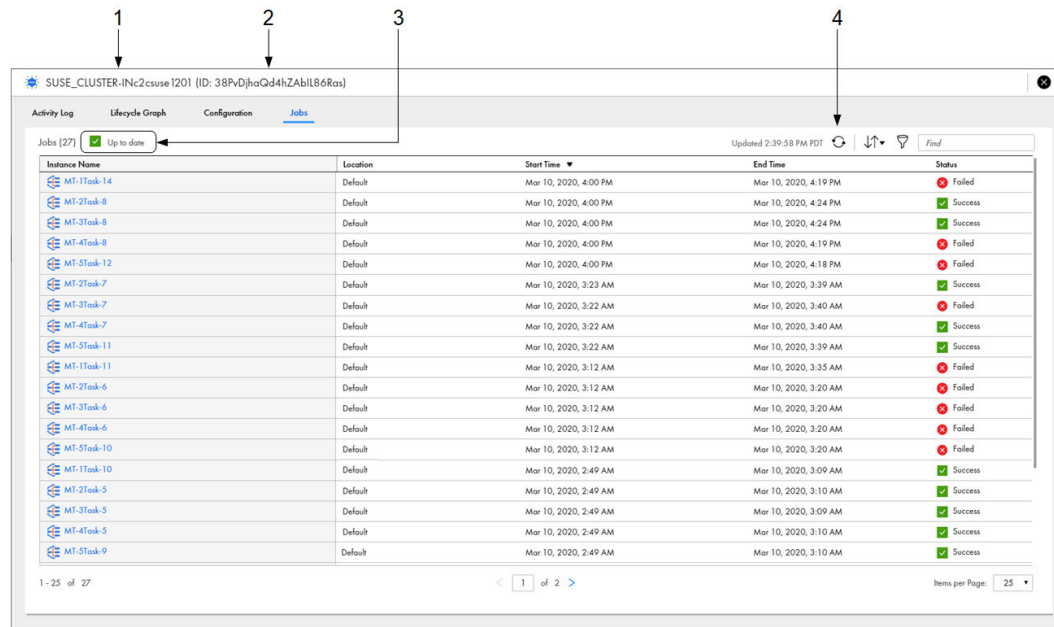
## クラスタ上のジョブの監視

**【詳細クラスタ】** ページからクラスタインスタンスにドリルダウンした後、クラスタで実行中のすべてのジョブを **【ジョブ】** タブで監視できます。**【ジョブ】** タブには、現在実行中のジョブと完了したジョブが一覧表示されます。

**【ジョブ】** タブを使用すると、ジョブの失敗を分析したり、ジョブや詳細クラスタをデバッグできます。

不要なエラーを防ぐため、詳細クラスタのステータスを確認してから、クラスタでジョブを実行します。クラスタは、存在しない、実行中、または停止のいずれかである必要があります。

次の図は、[ジョブ] タブを示しています。



1. クラスタ名
2. クラスタ ID
3. このページの情報が最新であるか、更新が必要であることを示すステータスメッセージ
4. [更新] アイコン

[ジョブ] タブには過去 3 日間に実行したジョブと 3 日以上前に実行された最近 1000 個のジョブが一覧表示されます。

ページの上部にあるステータスメッセージはこのページの情報が最新であるかどうかを示しています。情報が古くなると、「使用可能な更新」というステータスメッセージが表示されます。ページを更新するには、[使用可能な更新]メッセージまたは[更新]アイコンをクリックします。

情報はジョブのステータスが変わったり、ユーザーがジョブを開始したりした際に最新ではなくなります。

ジョブが完了したら、ジョブをドリルダウンしてジョブの詳細を表示することができます。ジョブをドリルダウンするには、インスタンス名をクリックします。

ジョブの詳細については、[「詳細クラスタのサブタスクの監視」](#) (ページ 26)を参照してください。

## 第 9 章

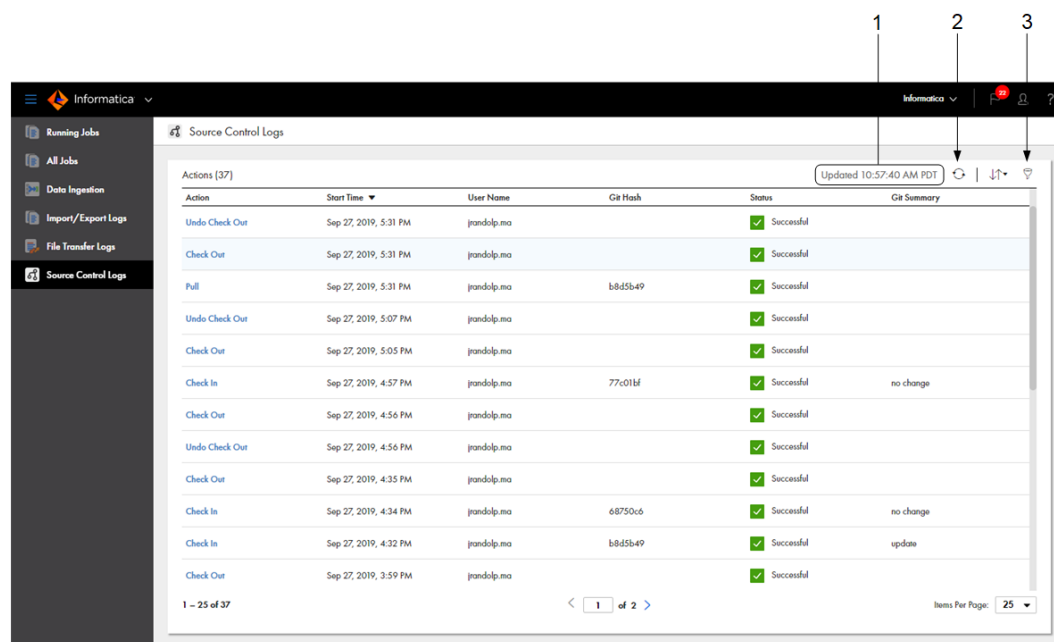
# ソース管理ログの監視

組織がソース管理に対応している場合は、組織内のユーザーがソース管理対象オブジェクトで実行するアクションを監視できます。ユーザーがソース管理対象オブジェクトでアクションを実行するたびに、Informatica Intelligent Cloud Services は【ソース管理ログ】 ページにアクションのログを記録します。ログは 7 日間保持されます。

ソース管理アクションを監視するには、【アセット - ソース管理ログ】 特権が必要です。次のロールを持つユーザーは、デフォルトで【アセット - ソース管理ログ】 を持っています。

- Administrator
- Designer
- Monitor

次の図は、【ソース管理ログ】 ページを示しています。



1. ページが最後に更新された時刻。
2. 【更新】 アイコン。
3. 【フィルタ】 アイコン。

デフォルトでは、【ソース管理ログ】 ページには最新のものから始まるアクションのリストが表示されます。ページを並べ替えるには、ソート基準とするプロパティのカラム名をクリックします。次のプロパティでアクションをソートできます。

- アクション

- 開始時刻
- ユーザー名
- ステータス

ページを更新するには、**【更新】** をクリックします。

**【ソース管理ログ】** ページに表示されるアクションをフィルタ処理するには、**【フィルタ】** アイコンをクリックします。フィルタにはキーワードおよび部分文字列を指定できます。

フィルタを適用するには、**【フィルタの追加】** をクリックし、フィルタ対象のプロパティを選択し、プロパティ値を入力します。例えば、文字列「b8d」が含まれる Git ハッシュですべてのチェックインを検索するには、**【アクション】** フィルタを追加し、**【チェックイン】** を選択します。次に、**【Git のハッシュ】** フィルタを追加し、値として「b8d」を入力します。

アクションの詳細を表示するには、アクション名をクリックします。

## アクションプロパティ

**【ソース管理ログ】** ページには、名前、開始時刻、Git のハッシュなどのアクションプロパティが表示されます。

アクションプロパティには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
アクション	実行された Git アクション。
開始時刻	アクションが開始された日時。
ユーザー名	アクションを実行したユーザー。
Git のハッシュ	改訂の Git 識別子。 Informatica Intelligent Cloud Services では、Git ハッシュの最初の 7 文字が表示されます。 次のアクションに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- チェックイン</li> <li>- プル</li> </ul>
ステータス	アクションステータス。アクションのステータスは、次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 成功。アクションが正常に完了しました。</li> <li>- 実行中。アクションが現在進行中です。</li> <li>- 警告。アクションが完了し、警告が検出されました。詳細については、アセットのサマリを参照してください。</li> <li>- エラー。エラーが発生したため、アクションは完了しませんでした。</li> </ul>
Git のサマリ	改訂の説明。 次のアクションに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- チェックイン</li> <li>- プル</li> </ul>

# ソース管理アクションの詳細の表示

ソース管理アクションの詳細を表示するには、[アクション] カラムのアクション名をクリックします。  
次の図は、チェックインの詳細を示しています。

Source Control Check In

Summary

Action: Check In

User Name: jrandolp.ma

Start Time: Sep 27, 2019, 3:38 PM

Git Hash: 5447588

End Time: Sep 27, 2019, 3:38 PM

Status: Success

Git Summary: consolidated from NC.

Check In Asset (3)

Name	Type	Location	Git Hash	Status Message
NCDist_SC	Project		5447588	<span>Checkin Successful</span>
m_NCDistNew	Mapping	NCDist_SC	5447588	<span>Checkin Successful</span>
mt_NCDistNew	Mapping Task	NCDist_SC	5447588	<span>Checkin Successful</span>

## アクションのサマリ

【サマリ】領域には、アクションの全般情報が表示されます。

アクションのサマリには次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
アクション	ソース管理リポジトリで実行されたアクション。
開始時刻	アクションが開始された日時。
終了時刻	アクションが終了した日付および時刻。
Git のサマリ	改訂の説明。 次のアクションに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>- チェックイン</li><li>- プル</li></ul>
ユーザー名	アクションを実行したユーザー。
Git のハッシュ	改訂の Git 識別子。 Informatica Intelligent Cloud Services では、Git ハッシュの最初の 7 文字が表示されます。 次のアクションに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>- チェックイン</li><li>- プル</li></ul>
ステータス	アクションのステータス。アクションのステータスは、次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>- 成功。アクションが正常に完了しました。</li><li>- 実行中。アクションが進行中です。</li><li>- 警告。アクションが完了し、警告が検出されました。詳細については、アセットのサマリを参照してください。</li><li>- エラー。エラーが発生したため、アクションは実行されませんでした。</li></ul>

## アセットのサマリ

【アセット】領域には、アクションが実行されたプロジェクト、フォルダ、およびアセット、および各オブジェクトの詳細が表示されます。

アセットのサマリには、オブジェクトごとに次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
名前	プロジェクト、フォルダ、アセットの名前。
タイプ	オブジェクトのタイプ。
場所	アセットが存在するプロジェクトまたはフォルダ。
Git のハッシュ	アクションの Git 識別子。 次のアクションに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>- チェックイン</li><li>- プル</li></ul>
ステータスメッセージ	個別のオブジェクトのステータス、およびステータスの詳細。



# 索引

## A

AS2 ファイル転送  
AS2 ログのプロパティ [79](#)  
ジョブの詳細 [80](#)  
Azure のデータ同期ジョブ  
監視 [64](#)

## C

Cloud Application Integration コミュニティ  
URL [7](#)  
Cloud 開発者コミュニティ  
URL [7](#)

## H

HTTPS ファイル転送  
HTTPS ログのプロパティ [86](#)

## I

InfraSpark0  
Spark タスクの詳細の表示 [28](#)  
Informatica Intelligent Cloud Services  
Web サイト [7](#)  
Informatica グローバルカスタマサポート  
連絡先情報 [8](#)

## S

SFTP ファイル転送  
SFTP ログのプロパティ [84](#)  
イベントの詳細 [85](#)

## W

Web サイト [7](#)

## あ

アップグレード通知 [8](#)

## い

インポート  
ソート [75](#)  
フィルタリング [75](#)  
プロパティ [75](#)

インポート (続く)

プロパティのカスタマイズ [75](#)  
ログファイルのダウンロード [78](#)  
監視 [74](#)  
詳細の表示 [77](#)

## え

エクスポート  
エクスポートファイルのダウンロード [75](#), [77](#)  
エクスポートファイルをダウンロード [78](#)  
ソート [75](#)  
フィルタリング [75](#)  
プロパティ [75](#)  
プロパティのカスタマイズ [75](#)  
ログファイルのダウンロード [78](#)  
監視 [74](#)  
詳細の表示 [77](#)  
エクスポートファイル  
ダウンロード [78](#)  
エラー行ファイル  
同期タスク [60](#)  
表示 [61](#)  
エラスティッククラスタ  
クラスタイメント [97](#)  
エラスティックマッピング  
増分ファイルロード詳細の表示 [25](#)

## こ

コードタスク  
Spark アプリケーションタスクの詳細の表示 [32](#)  
監視 [30](#)

## し

システムステータス [8](#)  
ジョブ  
AS2 ログのプロパティ [79](#)  
HTTPS ログのプロパティ [86](#)  
SFTP ログのプロパティ [84](#)  
Spark アプリケーションタスクの詳細の表示 [32](#)  
Spark タスクの詳細の表示 [28](#)  
エラー行ファイル [60](#)  
エラー行ファイルの表示 [61](#)  
コードタスクの監視 [30](#)  
サブタスクの表示 [12](#)  
ジョブのプロパティの表示 [20](#)  
ジョブの結果の表示 [21](#), [27](#)  
すべてのジョブの監視 [9](#)  
ソート [16](#)  
タスクの詳細の表示 [20](#)  
タスクフローの詳細の表示 [45](#)

ジョブ (続く)

フィルタリング [16](#)  
プロパティ [14](#), [65](#), [70](#)  
プロパティのカスタマイズ [16](#)  
プロパティの表示 [14](#)  
マイジョブの監視 [11](#)  
マスキングタスクの監視 [39](#)  
マッピングタスクの詳細の表示 [22](#)  
マッピングの詳細の表示 [20](#)  
リニアタスクフローのジョブのプロパティの表示 [53](#)  
リニアタスクフローのジョブの結果の表示 [54](#)  
リニアタスクフローの個々のタスクの結果の表示 [54](#)  
リニアタスクフローの詳細の表示 [53](#)  
レプリケーションタスクの詳細の表示 [42](#)  
ログファイル [60](#)  
ログファイルのダウンロード [62](#), [68](#), [72](#)  
監視 [9](#)  
再起動 [55](#), [67](#), [72](#)  
再処理詳細の表示 [25](#)  
実行中のジョブの監視 [10](#)  
詳細クラスタのログ [62](#)  
詳細の表示 [66](#)  
詳細情報の表示 [17](#)  
増分ファイルロード詳細の表示 [25](#)  
停止 [55](#), [67](#), [72](#)  
命名規則 [65](#), [70](#)

## す

ステータス

Informatica Intelligent Cloud Services [8](#)

## そ

ソース管理アクションの詳細 [103](#)  
ソース管理アクションの詳細の表示 [103](#)  
ソース管理ログの監視 [101](#)

## た

タスク

Spark タスクの詳細の表示 [28](#)  
ジョブのプロパティの表示 [20](#)  
ジョブの結果の表示 [21](#)  
ジョブの詳細の表示 [20](#), [66](#)  
すべてのタスクの監視 [9](#)  
マイタスクの監視 [11](#)  
マッピングタスクの詳細の表示 [22](#)  
レプリケーションタスクの詳細の表示 [42](#)  
監視 [9](#)  
再処理詳細の表示 [25](#)  
実行中のタスクの監視 [10](#)  
増分ファイルロード詳細の表示 [25](#)

タスクフロー

ジョブの詳細の表示 [45](#)

タスクフロー (続く)

すべてのタスクフローの監視 [9](#)  
マイタスクフローの監視 [11](#)  
監視 [9](#)  
再開 [55](#)  
実行中のタスクフローの監視 [10](#)  
中断中 [55](#)

## て

データプロファイリングジョブ  
監視 [69](#)

## ふ

ファイル転送ジョブ  
詳細の表示 [80](#), [85](#)  
ファイル転送ログ  
プロパティ [79](#), [84](#), [86](#)

## ま

マイジョブ  
サブタスクの詳細の表示 [71](#)  
マッピング  
Spark タスクの詳細の表示 [28](#)  
ジョブのプロパティの表示 [20](#)  
ジョブの結果の表示 [21](#)  
ジョブの詳細の表示 [20](#)  
マッピングタスクの詳細の表示 [22](#)  
レプリケーションタスクの詳細の表示 [42](#)

## め

メンテナンスの停止 [8](#)

## り

リニアタスクフロー

ジョブのプロパティの表示 [53](#)  
ジョブの結果の表示 [54](#)  
ジョブの詳細の表示 [53](#)  
個々のタスクの結果の表示 [54](#)

## ろ

ログファイル

ダウンロード [62](#), [68](#), [72](#)  
失敗したジョブ [60](#)